

昭和56年度

学校教育要覧



日野市教育委員会

日野市立図書館 ☎81-7354



1374804

目 次

◇ 日野市全図	1
◇ 東京都教育委員会の教育目標、学校教育の指導目標	3
◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点施策	5
◇ 学校教育の指導目標	6
◇ 市教委の学校訪問について	10
◇ 学校教育課の年間行事計画	12
◇ 日野市教育委員会学校教育課指導関係及び幼小中学校行事予定表	20
◇ 日野市教育相談室	32
◇ 日野市心身障害教育推進協議会	35
◇ 日野市立小学校科学教育センター	37
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	41
◇ 指導主事分担表	42
◇ 市教委委嘱事業等担当者	44
◇ 日野市教育委員会事務局組織	46
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧表	48
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧表	50
◇ 授業研究主題	56
◇ 都教育研究員・教育開発委員・道徳助言者・研究奨励	58
◇ 就業・進学状況の推移	59
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒の数	60
◇ 日野市職業分類	60
◇ 園児・児童・生徒・学級数調べ	61
◇ 避難所一覧表・避難所位置図	63
◇ 市立小中学校施設一覧	64
◇ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	
日野市立第一幼稚園	66
" 第二 "	67
" 第三 "	68
" 第四 "	69
" 第五 "	71
" 第六 "	72
日野市立第一小学校	73
" 第二 "	76
" 第三 "	79
" 第四 "	81
" 第五 "	84
" 第六 "	87
" 潤徳 "	90
" 平山 "	93
" 第七 "	95
" 第八 "	98
" 百草台"	101
" 滝合 "	104
" 高幡台"	107
" 南平 "	110
" 程久保"	113
" 旭が丘"	115
" 平山台"	117
" 東光寺"	119
" 三沢台"	121
日野市立第一中学校	123
" 第二 "	125
" 七生 "	127
" 第三 "	130
" 第四 "	133
" 三沢 "	136
" 大坂上"	138
" 平山中"	140

日野市全図

昭和五十五年三月

1
3
5
6
10
12
20
32
35
37
41
42
44
46
48
50
56
58
59
60
60
61
63
64

66
67
68
69
71
72
73
76
79
81
84
87
90
93
95
98
101
104
107
110
113
115
117
119
121
123
125
127
130
133
136
138
140



日野市役所

1 : 30,000

東京都板橋区舟渡 1-1117-5 ☎ (967) 178100 中央地図株式会社

昭和56年度教育目標及び指導目標

東京都教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな都民を目指し、家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携のもとに教育を推進する。

学校教育の指導目標

東京都公立学校においては、未来への展望に立ち、教育の本質と現代の教育的課題とを深く考え、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、社会連帯意識をもった心身ともに健康な幼児・児童・生徒・学生の育成を目指し、一人一人を生かす学校教育を推進する。

指導の重点

東京都教育委員会の教育目標及び学校教育の指導目標達成のため、重点事項を設定し、指導の徹底を図る。

これらの重点事項は、それぞれが独立したものでなく、相互に有機的な関連をもつものである。

各学校においては、これらの重点事項を十分考慮し、幼児・児童・生徒・学生（以下児童・生徒という）の実態を的確に把握して、教育内容・方法の改善に努めるとともに、指導組織を整備し、教師の識見・能力を高め、学校経営に創意工夫をこらして、父母の信頼にこたえるよう学校教育の充実、向上に努めることが大切である。

○ 人権尊重の教育

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校の教育活動全体をとおして、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、同和対策審議会答申並びに同和対策事業特別措置法の趣旨を体して、同和教育の推進に努めることが必要である。

心身に障害をもつ児童・生徒については、その障害の種類や程度に応じて、一人一人の能力、適性が十分伸長されるような教育活動を行うことが必要である。各学校においては、心身障害者に対する理解を深めるとともに、連帯感の育成に努めることが大切である。

なお、人種、民族、性別等を異にすることによって、児童・生徒の人権が損なわれることのないよう十分配慮することが大切である。

○ 基礎的・基本的内容の指導

児童・生徒の個性や能力を十分伸長するためには、自ら進んで学習する態度を養い、基礎的・基本的内容を確実に身に付けさせることが重要である。

各学校においては、各教科等の基礎的・基本的事項を明らかにするとともに、一人一人の児童・生徒に応じた指導の徹底を図ることが必要である。

その際、特に、ゆとりのある充実した学習が展開できるよう配慮することが大切である。

○ 健康・安全の教育

生命を尊び、明るく豊かな生活を築くためには、児童・生徒の心身の調和のとれた発達や健康の保持増進を図ることが重要である。

各学校においては、安全管理の徹底に努めるとともに、学校の教育活動全体をとおして、健康・安全に関する望ましい態度や能力を身に付けさせるよう安全指導の推進を図ることが必要である。

特に、体育活動における事故、交通や地震等による事故・災害に対して、児童・生徒の安全を確保するよう配慮することが大切である。

○ 生活指導・進路指導

人間性豊かな児童・生徒を育成するためには、個性を伸長し、社会の一員としての自覚を高め、自己実現を図る態度や能力を身に付けさせることが重要である。

各学校においては、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、父母の要望を十分に把握するとともに、全校的な指導体制を一層強化して、全体計画のもとに生活指導・進路指導の充実を図ることが必要である。

特に、家庭、社会及び関係諸機関との連携を密にして、児童・生徒の健全育成に努めるとともに、問題行動の要因を把握し、これを未然に防止する指導の徹底を図ることが大切である。

昭和56年度 日野市教育委員会教育目標と重点施策

1. 日野市教育委員会の教育目標

教育基本法に基づき、生涯教育をふまえて、人間尊重の精神を養い、広く国際社会において、信頼と尊敬の得られる国民的資質を高め、地域の文化・自然を大切に、市民相互の信頼による社会連帯意識を育て、心身共に健康で個性豊かな人間形成をめざす教育を、市民の理解と協力を深めながら推進する。

2. 重点施策

上の教育目標を達成するために、本年度は下の重点施策を定め、各課の連携をいっそう密にし、各項相互の有機的な関連を図りこれを推進する。

- (1) 教育施設・環境の整備充実と有効な管理と運用
- (2) 学校教育の内容の充実と家庭・地域との連携
- (3) 生涯教育に立脚した市民に対する教育の充実と芸術・文化の振興
- (4) 健康と体力向上に対する教育活動の充実と推進
- (5) 市民のための資料の充実と図書館サービス活動の促進

昭和 56 年度 学校教育の指導目標

日野市公立学校（園を含む）においては、公教育の本質と現代の教育的課題について深く考え、幼児児童・生徒（以下児童・生徒という）の資質・特性に応じて一人一人を生かす教育を推進する。

教育を進めるにあたって、児童・生徒は人間形成のうえで、さまざまな影響を地域社会から受けている実態をとらえ、地域住民・父母の協力を得て望ましい教育環境を整え、学校と地域の相互の理解と協力の下に公教育の使命を自覚し「開かれた学校」づくりに努める。

今年度は、更に新学習指導要領の趣旨を日々の指導に生かし、教育内容の充実を図る。

そのため、次の事項に重点をおく。

1. 人権・人命尊重の教育
2. 健康・安全の教育
3. 教育内容の充実と指導方法の改善
 - (1) 授業研究の推進と交流
 - (2) 公共施設を大事に活用し、勤労を尊ぶ教育
 - (3) 心身障害教育の推進
4. 生活指導・進路指導の充実
5. 幼児教育の充実

この重点事項を学校、学年、学級経営に生かすため、教師自らが、自己の研究及び研修を深め、日々の教育活動を活力あるものとし「子供・父母・地域」の期待に応えられる教育を具現する。

1. 人権・人命尊重の教育

すべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法を根拠とし、教育基本法に示された公教育の使命を自覚し、その職責の遂行に努める。

学校教育にあっては、教育の全体を通じて、あらゆる差別や偏見をなくして基本的人権を尊重する教育を推進する。さらに、かけがえのない生命を尊び、自他を慈しみ、一切の暴力的行為・言動を許さない校風を樹立するため、教師自らが範を示すとともに、自主・自律の精神に充ちた児童・生徒を育成する。

- (1) 学校の教育活動全体を通して、一人一人の人格が尊重され、教師と児童・生徒及び児童・生徒の間の「心のふれ合い」を大切に、仲間意識を育てる教育を基本とする。
- (2) 同和教育の視点に立った人権尊重教育について全職員の認識を深めこれを教育課程に生かす。
- (3) 自他の生命を尊び、人権を無視した暴力行為等反社会的事象を起さない自律の精神に充ちた児童・生徒の育成に努める。

- (4) 教師自らが、児童・生徒の人権を尊ぶ立場から、子供の「心の悩み」を、己のこととしてとらえ、社会の規範に反する子供の更生に努める。

2. 健康・安全の教育

生命を尊び、健康の保持とその増進を図ることは、心身の調和的発達のうちにも重要である。また都市化が進んでいる地域の実態や緊急災害の発生が予測される昨今にあって、「子供自らが、自己の生命を守るために訓練」を行うことは重要である。

- (1) そのため、保健委員会の組織を確立し、校内における健康・安全の教育計画を立て、適切な指導を行う。
- (2) 心身の健康の増進を図り、節度と調和のある生活ができるように、教育活動全体を通して指導する。
- (3) 災害発生に対処するための方策を確立し、保護者に周知し、児童・生徒の安全が図れるよう訓練する。

3. 教育内容の充実と指導方法の改善

1. 授業研究の推進と交流

一人一人の能力を最大に発揮させ、これを伸ばす教育を旨とし児童・生徒自らが主体的にとり組み、「わかる授業」の創造に努める。

- (1) 教師自らが指導内容について精通し、ゆとりをもって教え、充実した授業が展開できるよう指導技術を高めるよう努力する。
- (2) 校内及び学校の間で、お互いに授業を参観し合い、「子供のわかる授業」について研究する。
- (3) 授業記録をとり、「わかる授業」の成立条件を明らかにする。
- (4) 新学習指導要領の目標・内容について分析研究し、「自らの力で思考し正しく判断し行動できる子」の育成に努める。

2. 公共施設を大事に活用し、勤労を尊ぶ教育

最近の児童・生徒は物を大事にする考えが乏しく、労を惜しむ傾向が強い。また公共物を故意に破損したり、誤って破損した場合でも責任感の薄い子供が増えている。

この実態の中で、学校と家庭の連携を密にしながら、勤労の意欲や労作の喜びを体験させるとともに、心の内に感動を与え「心の糧」となる指導を工夫することが重要である。その事を通して物の有効な活用や、公共物を大事にする公民的資質を育てる必要がある。

- (1) 学校生活において、勤労体験の場を計画し児童・生徒に奉仕の喜びや成就感を得させ、望ましい勤労観を身につけさせる。
- (2) 教師と児童・生徒が一体となって労作活動を行い、共に作り出す実践を通して、公共の施設を大切にすることを育てる。

3. 心身障害教育の推進

心身に障害をもつ児童・生徒の障害を正しくとらえ、適切な教育を施す方策を、更に推進する。

一方、障害の程度は重度・重複化の傾向を示す中で、適切な教育措置について更に研究しなければならない。

こうした現況の中で、改めて心身障害教育の重要性と課題を深く考え、障害をもつ児童・生徒が障害を越えて、発達の可能性を最大に引き出す教育を推進する。

- (1) 心身障害教育について、全教職員の共通理解をいっそう深め一人一人を生かす教育を進める。
- (2) 心身障害学級を設置する学校においては、交流の教育を積極的に進める。その他の学校においても、障害をもつ児童・生徒についての正しい認識と理解をもち、共に助け合う教育を推進する。
- (3) 学校と家庭、医療及び福祉機関との連携をいっそう密にし、心身障害教育の望ましい相談活動のあり方を研究する。

4. 生活指導・進路指導

豊かな人間性を育成するためには、児童・生徒の個性を伸ばし、社会の一員としての自覚を高め、自らよりよい生き方を求める態度や能力及び生活習慣を身につける指導が重要である。

各学校においては、児童・生徒に対する理解を深め、一人一人が自己の価値を発見し、その能力や適性を最大限に発揮できるよう適切な生活指導及び進路指導の充実を図ることが必要である。

- (1) 児童・生徒の理解を深め、一人一人を生かす指導を進めるとともに、基本的な生活習慣の充実を図る。
- (2) 家庭・地域社会及び関係機関との連携をいっそう密接するとともに、児童・生徒の健全育成について、教職員の共通理解に基づく全校的な指導体制を強化する。
- (3) 問題をもつ児童・生徒について、その原因を適確にとらえ、指導の効果をあげるとともに、教育相談活動をいっそう充実させ、問題行動の防止に努める。
- (4) 一人一人の能力・適性を正しく把握し、適切な進路指導を組織的、計画的、積極的に実施する。

5. 幼児教育の充実

幼児期は、心身が著しく成長・発達し、人間形成の基礎が培われる重要な時期である。このことをふまえ、幼児の実態を把握し、父母との連携のもとに、幼児教育の充実に努める。

- (1) 幼児の心身の発達や人格形成の上から考えて、正しい家庭教育のあり方を父母とともに考え、推進する。
- (2) 幼児の生活の実態や心身の発達と環境とのかかわりについての研究を深め、教育計画に生かす。
- (3) 幼児一人一人が活力に充ちた活動ができるよう、授業記録をとり、幼児理解を深める。
- (4) 幼稚園教育と小学校教育との関連について研究を深め、幼児教育のあり方を追求する。
- (5) 幼稚園と保育園との連携を深め、教育内容の充実を図る。

- (6) 心身に障害のある幼児について、身の自立、基本的生活習慣の形成および、集団への適応・参加の状況を正しくとらえ、望ましい就学のあり方を保護者とともに考える。

市教委の学校訪問について

1. 趣 旨

学校訪問は教育委員会の教育長及び各課の課長・指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通して、①学校の当面する教育指導上の諸問題への対応、②学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況の把握、③日野市の全般的な教育活動を把握して、教育行政の参考にするとともに、各校の教職員との協議懇談を行い相互の理解を深め、日野市の教育内容方法の充実・発展に資する。

(1) 市教委訪問A

2年間に一度、教育長、各課長及び指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容充実のため協議する。

①概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況 ④諸帳簿閲覧 ⑤協議懇談 等も含む。

尚、教育委員も時間のゆるす範囲で、教職員との協議に出席し懇談する。

(2) 市教委訪問B

年間にA訪問のない学校に、指導主事が訪問する。

①学級経営 ②教科・道徳・特活の指導 ③授業研究 ④生活指導 等を含む。

(3) 要請訪問

各学校(園)の要請に応じ、指導主事が訪問し指導・助言する。

2. 昭和56年度市教委訪問日程

№	幼稚園名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	第一幼稚園	11月27日(金)	
2	第二幼稚園		9月16日(一般訪問)
3	第三幼稚園	11月2日(月)	6月10日(一般訪問)
4	第四幼稚園		11月11日(一般訪問)
5	第五幼稚園	6月5日(金)	
6	第六幼稚園		12月10日(木)

№	小学校名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一小学校	11月5日(木)	
2	日野第二小学校		6月30日(火)
3	日野第三小学校	5月22日(金)	
4	日野第四小学校		6月22日(月)
5	日野第五小学校	6月4日(木)	
6	日野第六小学校		11月18日(水)
7	潤徳小学校	1月19日(火)	12月2日(一般訪問)
8	平山小学校		6月15日(月)
9	日野第七小学校	11月12日(木)	
10	日野第八小学校		6月17日(一般訪問)
11	百草台小学校	1月29日(金)	
12	滝合小学校		6月12日(金)
13	高幡台小学校		10月28日(一般訪問)
14	南平小学校		2月3日(水)
15	程久保小学校	5月14日(木)	
16	旭が丘小学校	2月16日(火)	
17	平山台小学校		10月7日(一般訪問)
18	東光寺小学校	2月4日(木)	
19	三沢台小学校		11月25日(水)

№	中学校名	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一中学校	7月3日(金)	2月17日(一般訪問)
2	日野第二中学校		1月27日(水)
3	七生中学校	12月4日(金)	
4	日野第三中学校		1月26日(火)
5	日野第四中学校		10月8日(木)
6	三沢中学校	5月25日(月)	
7	大坂上中学校		11月24日(火)
8	平山中学校	10月13日(火)	1月20日(一般訪問)

昭和 56 年度
学校教育課の年間行事計画

A 一般研修

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方法	会 場	対 象
学校経営研修会 (5回)	市立小中学校(園)の運営に当たる教職員を対象に学校(園)の管理・運営のあり方を求めて学校経営や教育課題について研修する。 (井沢・榎本)	5/7(木)	絆を大事にする教育 国際・キリスト教大 中川氏	市役所	校長等 ・園他 長一 ・般 教 頭 論 ・
			東京都における教育課題 (1)	市役所	
			東京都における教育課題 (2)	市役所	
			新しい視点に立つ学校経営	市役所	
		8/15(土)	学校経営と法規	市役所	
教育課程研修会 (5回)	新教育課程の基準の改善、学習指導要領の改訂について研修し、実施に向けての各校の実践化をはかる。 (榎本・井沢)	5/26(火)	小中学校の教育課程の編成	市役所	小・中 一般 教 諭
		9/11(金)	心の通う学級経営(1) 井上裕吉指導主事	市役所	
		10/6(火)	心の通う学級経営(2) 井上裕吉指導主事	市役所	
		11/26(木)	学習と評価	市役所	
		2/15(月)	特別活動	市役所	
幼児課程研修会 (3回)	幼児の心理発達を的確にとらえ望ましい幼児の教育を進めるため研修する。 (井沢・榎本)	6/2(月)	幼児の心理発達	市役所	公幼 立稚 (園 私教 立諭)
		9/	リズム指導	"	
		2/9(火)	学級経営	"	
同和教育研修会	同和教育について全教職員の共通理解を深め、幼児・児童・生徒の発達段階や地域の実態に即して、主体的に同和教育を推進するために研修する。	5/12(火)	児童・生徒の指導と同和教育	市役所	小 新任・中 一般
		5/25(月)	学校経営と同和教育(小)	立川中央公民館	小 校長
		5/22(金)	学校経営と同和教育(中)	多摩事務所	中 校長
		6/16(火)	学校経営と同和教育(小)	立川中央公民館	小 教 頭
		6/23(火)	学校経営と同和教育(中)	多摩事務所	中 教 頭

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方法	会 場	対 象
同 和 教 育 研 修 会	(榎本・井沢)	7/ 2(木)	幼児教育における同和教育	都 研	幼 教 論
		9/17(木)	小学校国語科における同和教育	多 摩 市 務 所	小 教 論
		9/22(火)	中学校国語科における同和教育	都 研	中 教 論
		9/24(木)	各校の同和教育のとり組みとあり方	市 役 所	担 当 者
		9/25(金)	進路指導における同和教育	都 研	全
		10/ 6(火)	小学校社会科における同和教育	多 摩 市 務 所	小 教 論
		10/13(火)	中学校社会科における同和教育	都 研	中 教 論
		10/26(月)	小学校道徳における同和教育	多 摩 市 務 所	小 教 論
		10/29(木)	中学校道徳における同和教育	都 研	中 教 論
		11/ 6(金)	小学校学級経営における同和教育	多 摩 市 務 所	小 教 論
		11/13(金)	中学校学級経営における同和教育	都 研	中 教 論
		12/ 2(水)	各学校の同和教育の推進と問題点	市 役 所	担 当 者
新 任 教 諭 研 修 会 (11回)	教員の職責の重要性を認識した上で各学校の教育目標にそって一人一人の児童・生徒の能力・特性を十分に伸ばす学習指導・生活指導学級経営ができるように講演・授業研究を行い教職の専門性を高める。	4/ 2(木)	オリエンテーション (日野市内見学)	市 役 所	新 任 教 諭 ・ 経 験 三 年 未 満 の 教 諭
		5/12(火)	児童・生徒理解(1) 溝呂木桂次先生	市 役 所	
		6/ 9(火)	教職員の職務 町田二小校長 鴻巣良雄先生	市 役 所	
		7/ 7(火)	良い授業の条件 (1)	市 役 所	
		9/24(木)	良い授業の条件 (2)	市 役 所	
		10/20(火)	授 業 研 究	市 役 所	
		11/ 6(金)	授 業 研 究	学 校	
		12/ 8(火)	授 業 研 究	学 校	
		1/18(月)	授 業 研 究	学 校	
		2/15(月)	授 業 研 究	学 校	

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方法	会 場	対 象
新任 教諭会	(榎本・井沢)	3/ 9(火)	現地研修と一年間の反省	現 地	
心障 教育研修会	心身に障害をもつ幼児・児童・生徒の基本的事項の理解 (井沢・榎本)	7/17(火)	心身に障害のある児童・生徒の理解	市 役 所	幼一・ 小・ 教諭 中論
学研 指導法 研究会 (3回)	児童・生徒の可能性を伸ばす学習指導法のあり方を授業研究を中心に研修する。 (榎本・井沢)	9/24(木)	学 習 指 導 法	学 校	小・ 中一 般教諭
		11/ 6(金)	”	学 校	
		2/ 5(金)	”	学 校	
実技 研修会 (5回)	日々の学習指導において指導の効果をたかめるために実技を中心に研修する。 (榎本・井沢)	7/24(金)	図工実技研(陶芸)	中央公民館	幼・ 小・ 中一 般教諭
		7/25(土)	図工実技研(陶芸)	”	
		8/ 3(月)	音 楽 実 技 研	学 校	
		8/ 7(金)	音 楽 実 技 研	学 校	
		8/15(土)	図工実技研(陶芸)	学 校	
学校 保健 研修会	健康・安全教育を進めるため学校保健のあり方を研修する。 (井沢・榎本)	6/ 8	学校保健の区市の実態と保健教育の進め方 体育部保健課 榎 仁子指導主事	市 役 所	養 護 教 諭 主 任
事務 職員 研修 委員会	学校運営を円滑に進める学校事務のあり方 (井沢・榎本)	10/ 6(火)	学校事務について	市 役 所	学 職 校 事 務 員
教育 相談 研修 会		5/12(火)	相談員委嘱 石島・佐藤先生	市 役 所	教 育 相 談 員 ・
		6/12(金)	事例研究 石島先生	市 役 所	
		7/ 7(火)	研 修 会 佐藤先生	市 役 所	

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
教育相談研修会	<p>○事例研究又は児童理解の研修を通して教育相談に関する技術の向上と教育相談的手法を取り入れた児童理解にとりくみ、問題行動についての発生の原因を究明し解決のいとは口をつかむ。</p> <p>○基本的教育相談理論の研修 (榎本・井沢)</p>	9/ 8(火)	研 修 会 佐藤先生	市役所	相談係・研修員・一般教諭
		10/ 9(金)	事 例 研 究 石島先生	市役所	
		11/13(金)	事 例 研 究 石島先生	市役所	
		12/ 8(火)	研 修 会 佐藤先生	市役所	
		1/12(火)	研 修 会 佐藤先生	市役所	
		2/ 9(火)	教育相談研究発表会 石島・佐藤先生	市役所	
教職経験(六年時)研修会 (6回)	<p>教職経験5年を経過した教職員を中心に学年学級経営学習指導法の改善等について研修し専門性を高める。 (井沢・榎本)</p>	6/ 9(火)	児童・生徒理解	市役所	小・中学校(六年時)教職員
		9/11(金)	心の通う学級経営 (1)	市役所	
		10/ 9(金)	学級における教育相談	市役所	
		11/26(木)	授業の組立て	市役所	
		12/14(月)	授 業 研 究	学 校	
		2/22(月)	授 業 研 究	学 校	

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教務主任 研修 宿泊会	地域と児童・生徒の実態に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地区を参観したり、情報交換をおこなう。 (井 沢)	11/19(木) 11/20(金)	○他校訪問・新教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導・学級指導を実践している学校を参観し、自校の教育課程編成に生かす。		教務主任・会長
生活指導主任 研修 宿泊会	児童・生徒の実態を把握し生活指導の確立をはかるため他地区を参観したり情報交換をおこない研修を積む。 (榎 本)	11/16(月) 11/17(火)	○他校訪問－参観校の生活指導組織とその実践を見学し自校の指導に生かす。 ○研究協議		正生活指導主任
保健主任 研修 一日会	学校保健の組織的活動を行い積極的に成果をあげている学校を参観し自校の実践化に役立てる。 (井沢・榎本)	未 定	○学校教育の中における保健委員会の有機的な機能の実際を参観、協議する。 ○保健主任と養護教諭の職務分掌の具体的事例を中心に意見交換。		保健主任・会長
進路指導主任 研修 宿泊会	全校的な指導体制を強化して進路指導の充実をはかるため、他地区を参観したり、情報交換をおこない研修を積む。 (榎 本)	9/21(月) 9/22(火)	○他校訪問 参観校の進路指導の指導計画並び組織とその実践を見学し自校の指導に生かす。 ○研究協議		進路指導主任
教育相談 研修 宿泊会	学校および教育相談室でおこなう教育相談の交流と指導技術を高めるための研修をつむ。 (井沢・榎本)	8/ 4(火) 8/ 5(水)	○研究協議 「教育相談室の運営について」 ○事例研究と講師の指導	御岳山	一般の教育相談員
新任教諭 研修 宿泊会	一学期の教職経験を話し合い、各自が自覚した問題を協力して解決し、教職の専門性を高める。 (榎本・井沢)	7/31(金) 8/ 1(土)	○講演「児童・生徒理解の方法と生活指導」 ○研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」 ○自然観察の指導 「動物・植物・星・川」	御岳山	新規採用教諭

C その他の事業

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
教務主任会	教務主任の職務内容・職責の立場から円滑な学校運営のあり方を研修すると共に当面する教育課題について研究協議し自校の改善・充実に役立てる。 (井沢・榎本)	4/6(木) 5/21(木) 6/18(木) 7/2(木) 9/24(木) 10/15(木) 12/17(木) 1/21(木) 2/18(木) 3/11(木)	○教務主任の職務について研修する。 ○円滑な学校運営を図る教務主任のあり方について ○他校の学校運営のあり方を参観し、自校の運営に役立てる(視察) ○当面する教育課題について情報を交換し、実践に役立てる。	市役所 又は 学校	小中・教務主任
生活指導主任会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため望ましい生活指導のあり方について情報交換と研修を進める。 (榎本・井沢)	4/13(月) 5/11(月) 6/8(月) 7/6(月) 9/7(月) 10/19(月) 11/9(月) 12/7(月) 1/11(月) 2/8(火) 3/1(月)	○生活指導上の臨時的対策にとどまらず学校生活に喜びを感じ、自身の能力を十分に伸ばせるような生活指導のあり方をめざして、研究を進める。	市役所 又は 学校	小中・生活指導主任
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導を推進し、心豊かな中学生の育成のため各校の協力態勢を推進する。 (榎本・井沢)	4/27(月) 5/18(月) 6/29(月) 7/13(月) 9/14(月) 10/5(月) 12/14(月) 1/25(月) 2/22(月) 3/8(月)	○先生と生徒、生徒間の人間関係のあり方を研究し、学校生活に生きがいを感じるような生活指導の確立をはかる。	市役所 又は 学校	中・生活指導主任
保健主任会	心身ともに健全な児童・生徒の育成のために保健教育のあり方、学校教育の目標を達成するための健康・安全教育の推進について研究研修を進める。 (井沢・榎本)	4/13(月) 5/11(月) 6/1(月) 7/6(月) 9/7(月) 10/5(月) 11/9(月) 12/7(月) 1/11(月) 2/1(月) 3/1(月)	○学校保健のあり方について研修を深める。 ○学校における保健指導の実態のもとに情報を交換し、望ましいあり方について研究する。 分科会研究 ○研究発表 月 日	市役所 又は 学校	小中・保健主任

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
進路指導主任会	中学校の進路指導の基本的なあり方について研修するとともに、進路情報を交換する。 (榎本・井沢)	4/7(金) 5/15(金) 6/16(火) 7/9(木) 10/9(金) 11/13(金) 12/11(金) 1/22(金) 2/12(金) 3/12(金)	○全校的な指導体制を確立し、進路指導の充実をはかる方法を研究する。 ○各校の進路指導上の問題点の整理と検討 ・進路指導の全体計画 ・各学年の指導の重点 ・進路指導を推進するための組織運営 ・指導資料	市役所	中・進路指導主任
社会科副読本改訂委員会	小学校社会科副読本「わたしたちの日野」の部分改訂を行う。 (井沢・榎本)	4月 3月	○学習指導要領の改訂にそって日野市小学校社会科副読本の部分改訂を行う。	市役所	小・改訂委員
小中学校科学教育センター	小中学校の児童・生徒の科学的能力・技術態度の向上と指導者の理科指導の技能を高める。 (井沢・榎本)	5月 2月	小学校 平山台小(南部) 七小(北部) 中学校 二 中 毎土曜日午後 小学校 20回、中学校 10回 (平均して)	(委嘱校) 平山台小 七小 二 中	指導加児・児童・生徒 委員・徒
学校保健連絡協議会	心身共に健康で明るい児童生徒の育成のため健康・安全に係る諸業務の運営について連絡協議する。 (榎本・井沢)	4/10(金) 10/24(土) 3/6(土)	○保健業務に係る連絡調整 ○健康・安全に関する情報交換 ○健康・安全のための教育指導に関する研修 ○研究発表 月 日	市役所 中央館 公民館	養護教諭

名称	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
人権尊重教育担当者連絡会	人権尊重教育の視点に立って学校教育を推進するため、同和教育の本質を正しく認識し、児童・生徒の可能性を伸ばし、自己実現が図られるよう研修及び連絡協議を行う。 (榎本・井沢)		○同和教育の視点に立った人権尊重教育を推進するための研修会を行う。 ○人権尊重の精神を徹底するため各校の教育目標あるいは指導の重点について、検討し指導の充実を図る。		各 校 育 人 権 尊 重 教 諭
心身障害教育推進協議会	心身に障害のある幼児・児童・生徒に適切な教育を進めるため、指導内容・方法について研究協議し、心身障害教育の充実を図る。 (井沢・榎本)		○心身障害教育の充実を図るため、研究・研修・相談・担任の各部門を置き、活動を行う。 ○心身障害教育の啓蒙に関する事業を推進する。 ○心障教育の検討に関すること。		心 障 害 教 育 推 進 委 員 者
就学指導委員会	心身に障害のある幼児・児童・生徒の障害及び発達に応じて適切な教育措置を行う。 (井沢・榎本)	第一回 10/17(土) 18(日) 第二回 12/12(土) 13(日)	○東京都教育委員会、教育相談所及び児童相談所等と連絡をとりながら就学に関する継続相談を行う。 ○障害児の立場に立って適切な教育を行うため、各種専門家による就学相談を行う。	第三幼 稚 園	就 学 指 導 委 員 員
授業研究委託	幼児・児童・生徒の実態に応じて個々の発達能力を伸ばす指導法の改善・研究のため授業研究を委託する。 (井沢・榎本)	4月委託 申込受付 3月記録 提 出	○各 中学校に授業研究委託費15万円支給 ○年度末に授業記録(3事例)を提出する。 ○研究授業を日野市内校に公開する。		小・中 学 校

昭和56年度 日野市教育委員会
学校教育課指導関係及び幼小中学校行事予定表

△午前
○午後
□全日

4月

日	曜	市	都
1	水	△新任教頭辞令伝達式 ○新任校長辞令伝達式	
2	木	△新任教諭研修会 ○校(園)長会	
3	金		
4	土		
5	日		
6	月	第一学期始業式 △小学校入学式	
7	火	△中学校入学式	
8	水		
9	木		□都市指導主事会(三鷹教セ)全日
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
14	火		
15	水		△指導主事連絡協議会 ○多摩地区指導主事連協
16	木	○教務主任会	△学校訪問協議会
17	金	△定例教頭会 ○進路指導主任会	○修 七 生 中
18	土	△幼稚園長会	
19	日		
20	月		○大 坂 上 中 (移)
21	火		
22	水	□南多摩教組代議員会	※
23	木	○日光移動教室実踏	○都市指導主事会(新宿教セ)
24	金	□	
25	土	△学校保健連絡協議会	△体育担当指導主事連絡協 △保健給食担当指導主事連協
26	日		
27	月	○中学校生活指導主任会	
28	火	○学校経営研修会	
29	水	天皇誕生日	
30	木		△生活指導担当指導主事連

21日

※ 4/22 生指世話人協議会

5 月

日	曜	市	都
1	金		
2	土		
3	㊦	憲法記念日	
4	㊦	振替休日	
5	㊦	子供の日	
6	水	△定例校(園)長会	△心障教育担当指導主事連協
7	木	○同和教育研修会 ○幼児教育研修会	△同和教育推進委員会
8	金		
9	土		△都市指導主事会(分室)
10	㊦		
11	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
12	火	○新任教諭研修会 ○教育相談研修会	
13	水	○市教研定期総会	□都一般訪問
14	木	□市教委訪問A(程久保小)	
15	金	△定例教頭会 ○進路指導主任会	
16	土		
17	㊦		
18	月	○中学校生活指導主任会 ○体育委員会	
19	火		○高幡台 <small>移</small> ※
20	水		□都一般訪問
21	木	○教務主任会	△都市指導主事会()
22	金	□市教委訪問A(三小)	
23	土		
24	㊦		
25	月	□市教委訪問A(三沢中)	○平山 <small>台移</small>
26	火	○教育課程研修会 ○六年時研修会	○多摩地区生活指導研究・協
27	水	(○地区協大会)	□都一般訪問
28	木		□区市指導主事研究会議
29	金		○平山 <small>台移</small> ○八五小 <small>移</small>
30	土		○平山小
31	㊦		

24 日

※△生活指世話人協

6 月

日	曜	市	都
1	月	○保健主任会兼保健研修会	○(移)三小 ○(移)潤七小 ○(移)六小
2	火	△定例校(園)長会 ○幼児教育研修会	○(移)程久保 ○(移)二小
3	水		□都一般訪問
4	木	□市教委訪問A(五小)	○(移)三沢台 ○(移)旭が丘
5	金	□市教委訪問A(五幼)	○(移)南平
6	土		
7	日		
8	月	○生活指導主任会	○(移)二小
9	火	○六年時研修会 ○新任教諭研修会	○(移)小
10	水		□都一般訪問(三幼)
11	木		△生活指導担当指導主事連協 ○(移)東光寺
12	金	□市教委訪問B(滝合小)	○(移)修三沢中
13	土		△都市指導主事会()
14	日		
15	月	□市教委訪問B(平山小)	
16	火	△定例教頭会 ○進路指導主任会	△幼稚園担当指導主事連協
17	水	□市教委訪問B(八小)	□都一般訪問(八小)
18	木	○教務主任会	
19	金		
20	土		
21	日		
22	月	□市教委訪問B(四小)	○(移)二小
23	火	○体育委員会	
24	水		□都一般訪問
25	木		△都市指導主事会(分室)
26	金	○教育相談研修会	○(移)滝合小
27	土		
28	日		
29	月	○中学校生活指導主任会	
30	火	□市教委訪問B(二小)	

六月議会

7 月

日	曜	市	都
1	水	△定例校(園)長会	□都一般訪問
2	木	○教務主任会 ○体育委員会	△同和教育推進委員会
3	金	□市教委訪問A(一中)	
4	土		
5	日		
6	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
7	火	○教育相談研修会 ○新任教諭兼心障教研修会	
8	水		□都一般訪問
9	木	△定例教頭会 ○進路指導主任会	
10	金	○日光移動教室(1) 七小、南平、平台、平山、東光、三沢、滝合	
11	土		△都市指導主事会(分室)
12	日	○(2)二小、四小、高幡、程小、百草、旭丘	
13	月	○中学校生活指導主任会	
14	火	○(3)一、三、五、六、八、潤	
15	水		△指導主事連絡協議会
16	木		
17	金		
18	土		
19	日		
20	月		
21	火	夏季休業	
22	水	□学校経営夏季講座	
23	木	□	
24	金	□ □ 実技研修会	
25	土	□ 実技研修会	
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金	□新任教諭宿泊研修会(御岳)	

8 月

日	曜	市	都
1	土	□	
2	日		
3	月	△実技研修会	
4	火	□教育相談研修会（宿泊）	
5	水	□	
6	木		
7	金	△実技研修会	
8	土		
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		
14	金		
15	土	○学校経営研修会 ○実技研修会	
16	日		
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		○教育研究員御岳集会
21	金		小
22	土		○
23	日		○ 中
24	月		○
25	火		高
26	水		○
27	木		
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		

9 月

日	曜	市	都
1	火	第二学期始業	
2	水	○小学校水泳記録会（予備3日）	△指導主事連絡協議会 ○多摩地区指導主事連絡協
3	木		
4	金	○中学校水泳記録会（予備7日）	
5	土		
6	日		
7	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
8	火	△定例校（園）長会 ○六年時研 ○教育相談研修会	
9	水	○音楽鑑賞教室（中）	△学校訪問協議会
10	木	□音楽鑑賞教室（小・中）	
11	金		
12	土		△都市指導主事会（ ）（2地区担当）
13	日		
14	月	○中学校生活指導主任会	
15	火	敬老の日	
16	水	□市教委訪問B（二幼）	□都一般訪問（二幼）
17	木	○市教研体育実技研（バレー）	△心障教育担当指導主事連
18	金	△定例教頭会 ○体育委員会	
19	土		
20	日		
21	月	□進路指導主任宿泊研	
22	火	□	
23	水	秋分の日	
24	木	○新任教諭研・学習指導法研修会 ○教務主任会	△都市指導主事会（分室）（2地区担当）
25	金		○多摩地区生活指導研・協
26	土		
27	日		
28	月		△同和教育推進委員会
29	火	○同和教育研修会	△生活指導担当指導主事連
30	水		□都一般訪問

九月議会

24 日

10月

日	曜	市	都
1	(木)	都民の日	
2	金		修 三 中
3	土		修 一 大 中 坂 上 二 中
4	(日)		修 七 生 中
5	月	○中学校生活指導主任会 ○保健主任会	
6	火	△定例校(園)長会 ○事職研修会 ○教育課程研修会	
7	水	□市教委訪問B(平山台小)	□都一般訪問()
8	木	□市教委訪問B(四中)	
9	金	○教育相談研兼六年時研修会 ○進路指導主任会	
10	(土)	体育の日	
11	(日)		
12	月		
13	火	□市教委訪問A(平山中)	
14	水	○市教研総合体育実技研修会	□都一般訪問
15	木	○教務主任会	
16	金	△定例教頭会 ○進路指導主任会	
17	土	○第一次就学指導委員会	△都市指導主事会()
18	(日)	□同上	
19	月	○生活指導主任会	△生活指導担当指導主事連協
20	火	○体育委員会 ○新任教諭研修会	
21	水	(○地区教研集会)	□都一般訪問
22	木	○体力づくりの日	修 算 台
23	金		修 四 小
24	土	△学校保健連絡協議会	□同和教育推進委員会
25	(日)		
26	月	□市教委訪問A(一小)	
27	火		△幼稚園担当指導主事・連協
28	水	□市教委訪問B(高幡小)	□都一般訪問(高幡台小)
29	木		△都市指導主事会(分室)
30	金		
31	土		

11月

日	曜	市	都
1	㊥		
2	月	□市教委訪問A（三幼）	
3	㊦	文化の日	
4	水	△定例校（園）長会	□都一般訪問
5	木		
6	金	○学習指導法兼新任教諭研	
7	土		
8	㊥		
9	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
10	火	○体育委員会	
11	水	□市教委訪問B（四幼）	□都一般訪問（四幼）
12	木	□市教委訪問A（七小）	
13	金	△定例教頭会 ○進路指導主任会 ○教育相談研修会	※
14	土		△都市指導主事会（分室）
15	㊥		
16	月	□生活指導主任宿泊研修	
17	火	□	
18	水	□市教委訪問B（六小）	□都一般訪問（六小）
19	木	□教務主任宿泊研修会	
20	金	□	
21	土		
22	㊥		
23	㊧	勤労感謝の日	
24	火	□市教委訪問B（大坂上中）	
25	水	□市教委訪問B（三沢台小）	□都一般訪問
26	木	○教育課程研修会 ○六年時研修会	△都市指導主事会
27	金	□市教委訪問A（一幼）	
28	土		△学校保健給食担当指導主事連協
29	㊥		
30	月		△生活指導担当指導主事連協

12月

日	曜	市	都
1	火	△定例校(園)長会 ○体育委員会	
2	水		□都一般訪問(潤徳小)
3	木	○同和教育研修会	△同和教育推進委員会
4	金	□市教委訪問A(七生中)	
5	土		
6	日		
7	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
8	火	○新任教諭研修会 ○教育相談研修会	
9	水		□都一般訪問
10	木	□市教委訪問B(六幼)	
11	金	△定例教頭会 ○進路指導主任会	○体育担当指導主事連絡・協
12	土	○第二次就学指導委員会	△都市指導主事会
13	日	□同上	
14	月	○中学校生活指導主任会 ○六年時研修会	
15	火		
16	水		△指導主事連絡協議会
17	木	○教務主任会	
18	金		
19	土		
20	日		
21	月		○都市指導主事会()
22	火		○多摩地区生活指導研究・協
23	水		
24	木		
25	金		
26	土	冬季休業	
27	日		
28	月		
29	火		
30	水		
31	木		

十二月議会

22日

1 月

日	曜	市	都
1	⑤	元 日	
2	土		
3	⑥		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金	第三学期始業	
9	土		△都市指導主事会
10	⑥		
11	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
12	火	△定例校(園)長会 ○教育相談研修会	
13	水		
14	木		△心障教育担当指導主事・連協
15	⑤	成人の日	
16	土		
17	⑥		
18	月	○新任教諭研修会	
19	火	□市教委訪問A(潤徳小)	
20	水		□都一般訪問(平山中)
21	木	○教務主任会	△都市指導主事会
22	金	△定例教頭会 ○進路指導主任会	
23	土		
24	⑥		
25	月	○中学校生活指導主任会 ○体育委員会	
26	火	□市教委訪問B(三中)	
27	水	□市教委訪問B(二中)	□都一般訪問
28	木	○市教研体育実技研(卓球団)	
29	金	□市教委訪問A(百草台小)	
30	土		
31	⑥		

19 日

2 月

日	曜	市	都
1	月	○保健主任会	
2	火	△定例校(園)長会 ○体育委員会	
3	水	□市教委訪問B(南平小)	□都一般訪問
4	木	□市教委訪問A(東光寺小)	
5	金	○学習指導法研修会	△体育担当指導主事連絡協 △学校保健給食担当指導主事連協
6	土		△都市指導主事会
7	日		
8	月	○生活指導主任会	
9	火	○幼児教育研修会 ○教育相談研修会	△指導主事連絡協議会
10	水	○市教研・研究発表会	□都一般訪問
11	木	建国記念の日	
12	金	△定例教頭会 ○進路指導主任会	
13	土		
14	日		
15	月	○新任教諭研修会 ○教育課程研修会	
16	火	□市教委訪問A(旭が丘小)	
17	水		□都一般訪問(一中)
18	木	○教務主任会	
19	金		
20	土		
21	日		
22	月	○中学校生活指導主任会 ○六年時研修会	△同和教育推進委員会
23	火		
24	水		△生活指導担当指導主事・連
25	木		△都市指導主事会
26	金		
27	土		
28	日		

23 日

3 月

日	曜	市	都
1	月	○生活指導主任会 ○保健主任会	
2	火	△定例校(園)長会 ○体育委員会	
3	水		
4	木	○教育相談研修会	
5	金		
6	土	△学校保健連絡協議会	△都市指導主事会(分室)
7	Ⓜ		
8	月	○中学校生活指導主任会	
9	火	○新任教諭研修会	△学校訪問協議会
10	水		
11	木	○教務主任会	
12	金	△定例教頭会 ○進路指導主任会	
13	土		
14	Ⓜ		
15	月		
16	火		
17	水		△指導主事連絡協議会 ○多摩地区指導主事連絡協
18	木	△中学校卒業式(四中)	△都市指導主事会(分室)
19	金	△幼稚園卒園式 △中学校卒業式	
20	土		
21	Ⓜ	春分の日	
22	Ⓜ	振替休日	
23	火		
24	水		
25	木	△小学校卒業式	245 (開校記念日 日曜日) 244
26	金	春季休業	
27	土		※生活・世話人協
28	Ⓜ		
29	月		
30	火		
31	水		

三月議会

日野市教育相談室

設置の趣旨

日野市内における幼児・児童・生徒（高校生も含む）を対象に、学校および家庭において主として学習意欲・能力・生活態度につき、保護者又は担任教諭が教育上望ましくない事を見出した場合、相談に応ずることを設置の趣旨とする。

構 成

相談室長 高野 隆（日野市教育委員会学校教育課長）

教育相談員

井尻 武子（日野一小教諭） 石原八重子（旭が丘小教諭） 平向 邦江（日野四幼教諭）
清水 妙子（ ” ” ） 中沢美美子（平山台小 ” ） 河井 英子（教育委員会）
吉沢佐久子（日野二小 ” ） 海老原真知子（東光寺小 ” ） 金子 ふみ（ ” ）
西山 伸（日野三小 ” ） 古厩 清夫（日野一中 ” ） 御子柴万里子（ ” ）
内藤 勝義（潤徳小 ” ） 川本 浩子（日野四中 ” ）
高橋 和代（高幡台小 ” ） 鈴木 清司（三沢中 ” ）

教育相談研修員

品川久美子（日野一小教諭） 越村あや子（日野七小教諭） 在原 妙子（東光寺小教諭）
田中 隆夫（ ” ” ） 矢野百合子（滝合小 ” ） 大場 照彦（七生中 ” ）
今井 道恵（日野三小 ” ） 川村 史代（ ” ” ） 鈴木 良身（日野四中 ” ）
飯田 竹（日野四小 ” ） 松本 陽子（ ” ” ） 川本 浩子（ ” ” ）
小山 富子（ ” ” ） 高橋 和代（高幡台小 ” ） 柘原 宏江（三沢中 ” ）
佐藤 正身（日野五小 ” ） 川原田和子（程久保小 ” ） 樋山 欣子（日野一幼 ” ）
桑沢 悦子（ ” ” ） 佐藤 清隆（ ” ” ） 渡辺 明子（ ” ” ）
川田 浩子（日野八小 ” ） 竹重 友子（旭が丘小 ” ） 市川 雅美（日野二幼 ” ）

担当指導主事 井 澤 祐 一 榎 本 和 男

担当指導係長 馬 場 時 司

顧 問 佐 藤 正（東京女子体育大学教授）

石 島 徳太郎（社会福祉法人 島田療育園々長）

運 営

保護者の直接又は、保護者及び担任教諭による各校（幼・小・中）の学校教育相談係を通じての申込みにより毎週火・木（8月を除く）の2回、教育相談員が2名1組となって相談に応じている。（午後1時より5時まで）申込みは無料で受付けている。

- 場 所 教育委員会内教育相談室
- 申 込 み 先 日野市教育委員会学校教育課内日野市教育相談室
（TEL 85-1111 内線 420）
- 教育相談事務担当 高橋 喜代子（月～土 9:00～17:00）
- 一般教育相談担当 河井 英子（火・木 13:00～17:00）
- 心身障害教育相談担当 金子 ふみ（月・金 9:00～16:00）
御子柴 万里子（水・金 " "）
- 教育相談概況 54.4.1～55.3.31

問題別相談件数（一般教育相談）

相談件数	55件
面接延回数	285回

種 別	分類	対 象				計
		幼 児	小学生	中学生	高校生	
性格・行動 に関するもの	登園・登校拒否		5	12	4	21
	集団に入れない		3			3
	わがまま・泣き虫		1			1
	いたずら・乱暴	2	2			4
	やる気がない・のろま		3	1		4
	ぬすみ・万引		1			1
	夜 尿		1			1
	非行・放浪				1	1
精神・身体 に関するもの	チ ッ ク		3			3
	ことばの遅れ		1			1
	知的発達の遅れ	1				1
	そ の 他	1	1			2
知能学業 （進路適性） に関するもの	就学・進学		1	1		2
	知能検査			3		3
	学習・おけいごと		3	1		4
そ の 他	家庭環境問題					0
	そ の 他	1	1		1	3
計		5	26	19	5	55

(心身障害教育相談件数)

相談件数	92件
------	-----

種 別	措 置	数	計
就学相談 (中学を含む)	都立養護	8	44
	障害学級	17	
	一般学級	15	
	猶予	1	
	転出	3	
措置替相談	一般学級	3	8
	障害学級	3	
	訪問学級	2	
転学相談	都立養にそのまま	1	6
	都立養護間転学	1	
	心障→転出	3	
	都立養→障害学級	1	
その他の相談	入園相談	10	34
	言語障害相談	2	
	身体障害相談	7	
	生活指導等	7	
	進路相談	8	

教育相談員の研修

教育相談員の資質と相談技術の向上のため、毎月第二火曜に研修会、事例研究会を交互に、第三土曜に事例協議会(顧問の先生が指導)を開いている。研修会には、日野市公立学校教職員なら誰でも参加してさしつかえないことになっている。

日野市心身障害教育推進協議会

目 的

この協議会は、日野市より心身障害教育の充実を図るために、研究委託を受けて、心身に障害のある児童・生徒に適切な教育を保障するための教育措置のあり方、教育条件の整備、指導内容、方法の改善に関する研究および、一般教職員の心身障害教育に対する意識・理解を深めるための研修等諸事業を企画し実践することを目的とする。

事業の内容

この会の目的を達成するため、協議会長校に事務局を置き、会の運営に当たる。主な事業として、

- (1) 心身障害教育の理解を深めるための研修事業
- (2) 新教育課程の改訂の主旨を生かすための指導内容・方法の改善に関すること。
- (3) 心身に障害のある児童・生徒の適切な教育措置のあり方、普通学級に在籍する心身に障害のある児童・生徒の適応指導に関する研究
- (4) 将来的展望に立った日野市の心身障害教育のあり方の検討に関すること。

組 織

- (1) この会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会、教育長、学校教育課長、指導主事、指導係長、日野市立心障学級設置校長、心障学級担任、幼小中学校(園)の各校1名以上の教員、教育相談室専任相談員、顧問医。

- (2) この会には、次の専門部を置き、それぞれの活動を行う。

- | | |
|----------|--|
| ア) 研 究 部 | 主として、普通学級に在籍する障害児の適応に関する研究 |
| イ) 研 修 部 | 教職員を対象とした、理解を深めるための研修事業の計画 |
| ウ) 相 談 部 | 就学指導委員会との連携を図り、就学児の中で心身に障害のある幼児の就学に関する指導、相談、現に就学している児童・生徒の実態の把握、情報交換。 |
| エ) 担 任 部 | 心身障害学級に在籍する児童・生徒の指導内容・方法の改善に関する研究。 |
| オ) 検 討 部 | 55年度まで、検討委員会の名称のもとに、心身障害教育の望しいあり方について検討を重ねてきたが、委託契約の一本化および、名称の繁雑さを避け、心障協議会の一専門部として位置付ける。事業内容としては、日野市の将来的な展望に立って、障害の種別に応じた心障学級の設置、適正配置のあり方、さらに教育施設・設備の充実に向けて検討し、その具現化をめざす事業を行う。 |

尚、昭和56年度の研究として、次の内容を委託している。

日野市中心身障害教育研究委託要項

日野市では、心身障害教育推進協議会に対して、心身障害教育の本質を深く考え、心身に障害をもつ幼児・児童・生徒の教育について全教職員の理解を一層深めるとともに、障害の特性や発達に即した指導の充実を期して、次の事業を委託する。

1. 日野市立幼小中学校（園）の教職員を対象とした心身障害教育の理解に関する研修事業
2. 日野市中心身障害学級に在籍する児童・生徒の指導内容・方法の改善に関する研究
特に、計画的に指導プランを立て、障害の特性に応じた指導について研究を深め、一人一人の可能性を伸ばす指導内容・方法の工夫改善を行う。
普通学級との交流のあり方について研究する。
3. 普通学級に在籍する心身に障害のある児童・生徒（幼児）の適応指導に関する研究
集団の一員として充実した生活が送れるように、全職員の共通理解を一層深め、基本的な生活習慣の育成に努めるとともに、学校・学級の一員として社会性・集団参加を高めるための事例研究。
4. 就学（措置替えを含む）指導・相談の円滑化を図るための情報収集・交換及び、実態は握に関する事業
日野市中心身障害教育推進協議会長が会長となる就学指導委員会は例年10月及び、12月に開催されるが、昨今のように普通学級への就学を希望する傾向が強くなる中においては、12月以降の就学指導・相談では時間的にも十分な効果をあげることが困難である。そのため、定例的に就学に関する連絡会を開き、情報収集・交換を行う必要がある。
そのための就学指導・相談連絡会の開催とそれに関わる事業の推進。
5. 日野市中心身障害教育の今後のあり方について。
特に、今までに検討された内容の具現化に対する検討について。
6. 日野市中心身障害教育要覧の作成

日野市立小学校科学教育センター

1. 名称・所在

日野市小学校科学教育センターと称し、昭和56年度は、北部センターを日野第七小学校に、南部センターを平山台小学校の校内に設置する。

2. 設立の趣旨

日野市公立小学校における科学教育の振興をはかるために設置し、日野市の教員の理科指導の充実向上のための研修と児童の科学的態度・能力・技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3. センター長・センター次長・指導員

南部センター		学校名	北部センター		学校名
センター長	小川 格	平山台小	センター長	梅田 茂	七小
次長	石井三士	"	次長	上山洋一郎	"
主任	吉川郁子	"	主任	秋山憲一	"
指導員	藤井清	"	指導員	松沢義信	"
"	谷津誠一	"	"	西村幸江	"
"	橋本允子	"	"	大畑雅幸	"
"	藤井泰蔵	"	"	舞田章子	"
"	千葉関夫	"	"	信夫頼子	"
"	飯田幸次	"	"	小林弘子	"
"	中村大	潤徳小	"	小杉博司	"
"	浜本末子	平山小	"	金山邦子	"
"	菊地義光	八小	"	平山毅	"
"	鈴木節子	"	"	長田正夫	"
"	塚本純子	百草台小	"	小室恒	"
"	白勢玲子	滝合小	"	草刈喜一	"
"	長沼正幸	高幡台小	"	三村礼子	"
"	森清晃	南平小	"	小幡建	一小
"	川上卓一	程久保小	"	糸井則子	"

南部 センター		学校名	北部 センター		学校名	
指導員	白鳥 みのる	三沢台小	指導員	杉本 快枝	一	小
			"	梅原 すみ子	二	小
			"	福地 保	三	小
			"	赤池 正人	"	
			"	中村 静江	四	小
			"	会田 尚子	"	
			"	稲葉 喜文	五	小
			"	鹿島田 恭江	六	小
			"	渡辺 健一	旭が丘	小
			"	松田 秀男	東光寺	小

4. センター員

校名	南部 センター										北部 センター										合計	
	潤徳小	平山小	八小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小	程久保小	平山台小	三沢台小	小計	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	旭が丘小	東光寺小		小計
男	4	3	2	2	5	2	3	2	3	2	28	4	3	1	2	6	4	2	3	0	25	53
女	0	2	0	2	0	2	2	3	4	1	16	1	2	3	1	0	0	4	1	3	15	31
計	4	5	2	4	5	4	5	5	7	3	44	5	5	4	3	6	4	6	4	3	40	84

5. 年間指導日程

南部 センター				北部 センター			
回数	月日	指導内容	指導者	回数	月日	指導内容	指導者
1	5.9	開講式(センター生心得、指導員紹介等)研究発表(前年度センター生による)	全 員	1	5.16	開 講 式	全 員
2	16	オリエンテーション①(基礎技能の習熟)	藤井、中村、吉川 小川	2	23	オリエンテーション①	小幡、西村
3	23	オリエンテーション②(多摩動物園昆虫館)	鈴木、小川、藤井 石井	3	30	オリエンテーション② 講師による講話	秋山、草刈
4	30	オリエンテーション③	長沼、小川、白鳥 吉川	4	6.6	課題研究 ①	松沢、松田、小林

回数	月日	指導内容	指導者	回数	月日	指導内容	指導者
5	6. 6	課題研究 ①	川上、白鳥、藤井タ	5	6.13	課題研究 ②	松沢、渡辺、信夫
6	13	課題研究 ②	森、鈴木、川上 飯田	6	20	課題研究 ③	梅原、渡辺、西村
7	20	課題研究 ③	森、中村、藤井	7	27	自由研究(テーマの 決定、計画) ①	杉本、福地、赤池 中村、会田、西村
8	27	自由研究(テーマの 決定、計画)	川上、藤井、吉川	8	7. 4	自由研究(テーマの 決定、計画) ②	小幡、糸井、梅原 稲葉、松田、大畑 秋山
9	7. 4	自由研究(テーマの 決定、計画、方法)	森、川上、藤井 長沼、白鳥、白勢 吉川	9	9. 5	自由研究(実験・観 察) ③	稲葉、杉本、秋山 三村
10	9.12	自由研究 ①	白鳥、長沼、藤井 吉川	10	12	自由研究(実験・観 察) ④	稲葉、杉本、西村 小室
11	19	自由研究 ②	菊地、千葉、吉川	11	19	自由研究(実験・観 察) ⑤	松田、大畑、秋山 舞田
12	10. 3	自由研究 ③	塚本、吉川、谷津	12	10. 3	自由研究(実験・観 察) ⑥	小幡、梅原、秋山 西村
13	17	自由研究 ④	浜本、橋本、藤井	13	17	自由研究(実験・観 察) ⑦	秋山、梅原、 鹿島田、西村
14	24	自由研究 ⑤	菊地、中村、吉川	14	24	自由研究(実験・観 察) ⑧	小幡、糸井、 鹿島田、金山
15	11. 7	自由研究のまとめ①	中村、千葉、藤井	15	31	自由研究(原稿・完 成) ⑨	小幡、糸井、西村
16	28	自由研究のまとめ② (原稿、清書、完成)	森、川上、吉川 石井	16	11.14	発表準備 ①	福地、赤池、長田
17	12. 5	自由研究のまとめ③ (研究発表準備)	森、長沼、吉川 石井	17	21	発表準備 ②	福地、赤池、平山
18	1.16	研究発表会 ①	浜本、白勢、吉川 小川、石井	18	1.23	研究発表会 ①	中村、会田、秋山
19	23	研究発表会 ②	塚本、小川、白鳥 藤井、石井	19	30	研究発表会 ②	中村、会田、秋山
20	2. 6	閉講式(南北合同) 研究発表会(")	全 員	20	2. 6	閉 講 式	全 員

6. 連絡協議会

委員長	日野市教育委員会教育長	倉又秀作		
委員	南部センター長	小川格	日野市立平山台小学校長	電話 0425-92-6382
	次長	石井三士	"	教頭 "
	主任	吉川郁子	"	教諭 "
委員	北部センター長	梅田茂	日野市立日野第七小学校長	電話 0425-83-3907
	次長	上山洋一郎	"	教頭 "
	主任	秋山憲一	"	教諭 "
顧問	日野市教育委員会学校教育課長	高野隆		
	"	指導主事	井澤祐一	

日野市中学校科学センター

1. 名称・所在

日野市中学校科学教育センターと称し、昭和56年度はセンターを日野第二中学校の校内に設置する。

2. 設立の趣旨

小学校科学センター設立の主旨に準ずる。

3. センター長・センター次長・指導員

センター長	渡辺吉彦	日野市立第二中学校長
次長	奥村節生	" 教頭
主任	小高辰雄	" 教諭
	井澤祐一	日野市教育委員会指導主事
指導員	福島良樹(一中)	渡辺貴一・小高辰雄・渡辺欣哉・岡悦子(二中)
	加藤和則(三中)	富士堯(四中) 辻野良子(七生中) 橋本貴幸・原沢和江
	(三沢中) 小林喜司(大坂上中)	和田孝・福地和子(平山中)

4. センター生

各中学校1~3年から40名を募集する。

5. 指導計画(案)年間10回とし、6月より11月までの隔週土曜日の午後指導する。

第1回	6月13日(土)	開講式 講演
第2回	6月20日(土)	一斉指導
第3回	6月27日(土)	一斉指導
第4回	7月11日(土)	研究テーマ
第5・6回	8月 日()	野外観察・見学 夏休み中の一日
第7回	9月5日(土)	一斉指導 自由研究
第8回	10月17日(土)	研究テーマ
第9回	11月21日(土)	テーマ別・一斉指導 原稿提出・映画
第10回	2月6日(土)	研究発表 閉講式

6. 中学校科学センター運営委員会

(センター長、次長、運営委員各校1名、市教委をもって構成する)

運営委員 福島良樹(一中) 渡辺貴一(二中) 加藤和則(三中) 富士堯(四中)
辻野良子(七生中) 原沢和江(三沢中) 小林喜司(大坂上中) 福地和子(平山中)

日野市立小・中学校使用教科書

1. 小学校

国語科	「小学校国語」	(学校図書)
	「小学校書きかた」	(学校図書)
社会科	「新しい社会」	(東京図書)
	「小学校社会科地図帳」	(帝国書院)
算数科	「小学校算数」	(学校図書)
理科	「新しい理科」	(東京書籍)
音楽科	「新しい音楽」	(東京書籍)
図画工作科	「図画工作」	(開隆堂)
家庭科	「新しい家庭」	(東京書籍)

2. 中学校

国語科	「現代の国語」	(三省堂)
	「中学書写」	(教育出版)
社会科	「新しい社会(地理)」	(東京書籍)
	「新しい社会(歴史)」	(東京書籍)
	「中学社会(公民的分野)」	(日本書籍)
	「中学校社会科地図」	(帝国書院)
数学科	「新しい数学」	(東京書籍)
理科	「新しい科学(1・2分野)」	(東京書籍)
音楽科	「中学音楽」	(教育出版)
	「精選中学生の器楽」	(音楽之友社)
美術科	「美術」	(日本文教出版)
保健体育科	「中学保健体育」	(学習研究社)
技術家庭科	「新しい技術・家庭」	(東京書籍)
外国語科	「NEW HORIZON」	(東京書籍)

昭和 56 年 度 指 導 主 事 分 担 表

日野市教育委員会

指導主事 井 沢 祐 一

〃 榎 本 和 男

1. 校種別分担

○幼稚園教育—井沢 ○小学校教育—井沢 ○中学校教育—榎本

2. 教科・領域別分担

○国語（書写）—榎本 ○社 会—榎本 ○算 数 数 学—井沢
○理 科—井沢 ○音 楽—榎本 ○図 工 ・ 美 術—井沢
○体育・保健体育—榎本 ○家庭・技術家庭—井沢 ○外 国 語—榎本
○道 徳—榎本 ○生 活 指 導—榎本 ○特 別 活 動—榎本
○学 校 行 事 等—榎本 ○学 校 経 営—井沢 ○教 育 相 談—榎本
○心 障 教 育—井沢 ○視 聴 覚 教 育—井沢 ○図 書 館 教 育—榎本
○学 校 給 食—榎本 ○保 健 教 育—井沢 ○安 全 教 育—井沢
○同 和 教 育—榎本 ○公 害 教 育—井沢 ○進 路 指 導—榎本
○幼 児 教 育—井沢 ○学 校 事 務—榎本 ○心 障 相 談—井沢

3. 施設・行事等分担

○教育相談室—井沢 ○心 障 学 級—井沢 ○科学センター—井沢
○教科書センター—榎本 ○文 化 行 事—榎本 ○体 育 行 事—榎本
○修学旅行—榎本 ○移 動 教 室—井沢

4. 指導事務分担

- 指導部・都研——井沢
- 研究集録——榎本
- 遠足修学旅行届——榎本
- まどへ編集発行——井沢
- 授業研究——井沢
- 教育課程年間指導計画——井沢
- 研究員教育開発委——井沢
- 学校訪問——井沢
- 調査資料収集——榎本
- 月行事予定——榎本
- 都・研究奨励——井沢
- 就学・措置替指——井沢
- 教育課程届出——榎本
- 教材届出承認——榎本
- 指導要領——井沢
- 教育実習——井沢
- 社会科副読本——井沢

5. 渉外分担

- 校長会——井沢
- 生活指導主任会——榎本
- 都市指導主事会——井沢
- 教頭会——井沢
- 保健主任会——井沢
- 日野市教研——井沢
- 教務主任会——井沢
- 進路指導主任会——榎本
- 第2地区指導主事会——榎本

6. 研修等分担

- 学校経営研——井沢
- 学習指導研——榎本井沢
- 幼児教育研——井沢
- 教育課程研——榎本井沢
- 六年教諭研——井沢
- 新任教諭・学級経営研——榎本・井沢
- 実技研修——榎本井沢
- 同和教育研——榎本井沢
- 学校保健研——井沢榎本
- 教育相談研——井沢
- 心障教育研——井沢
- 事務職員研——榎本井沢

昭和56年度 市教委委嘱事業等担当者

	名 称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
1	授業研究連絡協議会	◎高田 智 竹内 治 小野 音 東 雄	○渡辺 吉彦	上辻 敏雄	安谷 功
2	教務主任会	○黒沢 保雄	◎渡辺 吉彦		
3	生活指導主任会	◎鈴木 敏郎	○花牟礼 哲		
4	進路指導主任会		◎山本 保		
5	保健主任会	◎深尾 真 鈴木 敏 郎	○長岡 宗次		
6	心身障害教育 推進協議会	○竹永 秀 小田 中 雄 小田 光 格 中 秀 一	◎長谷川 辰美 山本 美保	長谷川 鉄 秋大 永 夫 大 熊 悦 一 喜 郎	市塚 正史 小 林 節 夫
7	就学指導委員会	○竹永 秀 小田 中 雄 小田 光 格 中 秀 一	◎長谷川 辰美 山本 美保		
8	まどべ編集委員会	◎竹内 音治		津野田 昭二	
9	学校保健会	◎深尾 真 鈴木 敏 郎	○長岡 宗次	古田 耿介	古屋 登吾
10	日光移動教室	◎松日 敬 治 近 案 内 輝 田 中 光 一		上石 山 洋 村 井 松 徹 一 郎 徳 二	
11	中学校移動教室		◎長谷川 辰美		
12	小学校体育委員会	◎松日 敬 治		○白井 岩吉	
13	小中水泳記録会	◎田中 光 一 深 尾 真 近 尾 信 輝	◎長谷川 辰美	荒木 健治	立川 泰司
14	科学教育センター	◎梅田 茂 ◎小川 格	◎渡辺 吉彦	○上山 洋一 ○石井 三 士 郎	奥村 節生
15	小学校評価資料 作成委員会	◎高田 智 光 永 久 夫		大島 昭子 田 中 光 穂	
16	防災対策委員	渋谷 義一	松延 耕作	和田 国平	川崎 昭三
17	学校給食会	◎林 元 美 ○梅 田 茂	○河野 壽忠		
18	日野市教育研究会	◎古谷 洋 太 ○渋谷 義 一	◎古川 豊	山口 武彦	立川 泰司

(会(副)長、部長等)

◎…長 ○…副 56. 4. 14

	名 称	小学校長	中学校長	小学校教頭	中学校教頭
19	夏季問題協議会	◎田中光一 深尾内信輝		清水七郎	
20	幼稚園担当	釜池博(会長) 光永久夫(庶務)			
21	公民館運営審議会委員	鈴木英夫			
22	図書館運営審議会委員	村田安正			
23	社会教育委員	古谷洋太	花牟礼 哲		
24	青少年協議会委員 (市委嘱)	鈴木英夫	松延耕作		
25	環境週間行事運営委員 (都教委嘱)	小野寺東雄			
26	社会科副読本改訂委	近内信輝		山口武彦	
27	国際障害者年対策協議会 (市委嘱)		山本 保		
	市 P 協	村田安正 竹内秀音 正雄治	山本 保		
	書 初 展	梅田 茂			
	小 体 連	釜池 博			
	中 体 連		古川 豊		
	市教職員互助会長 副 理 事 長	鈴木英夫		野口昭平	
	多摩地区幼稚園会長	釜池 博			
	” 庶務	古谷洋太			
	” 会計	近内信輝			

日野市教育委員会事務局組織

教育委員会

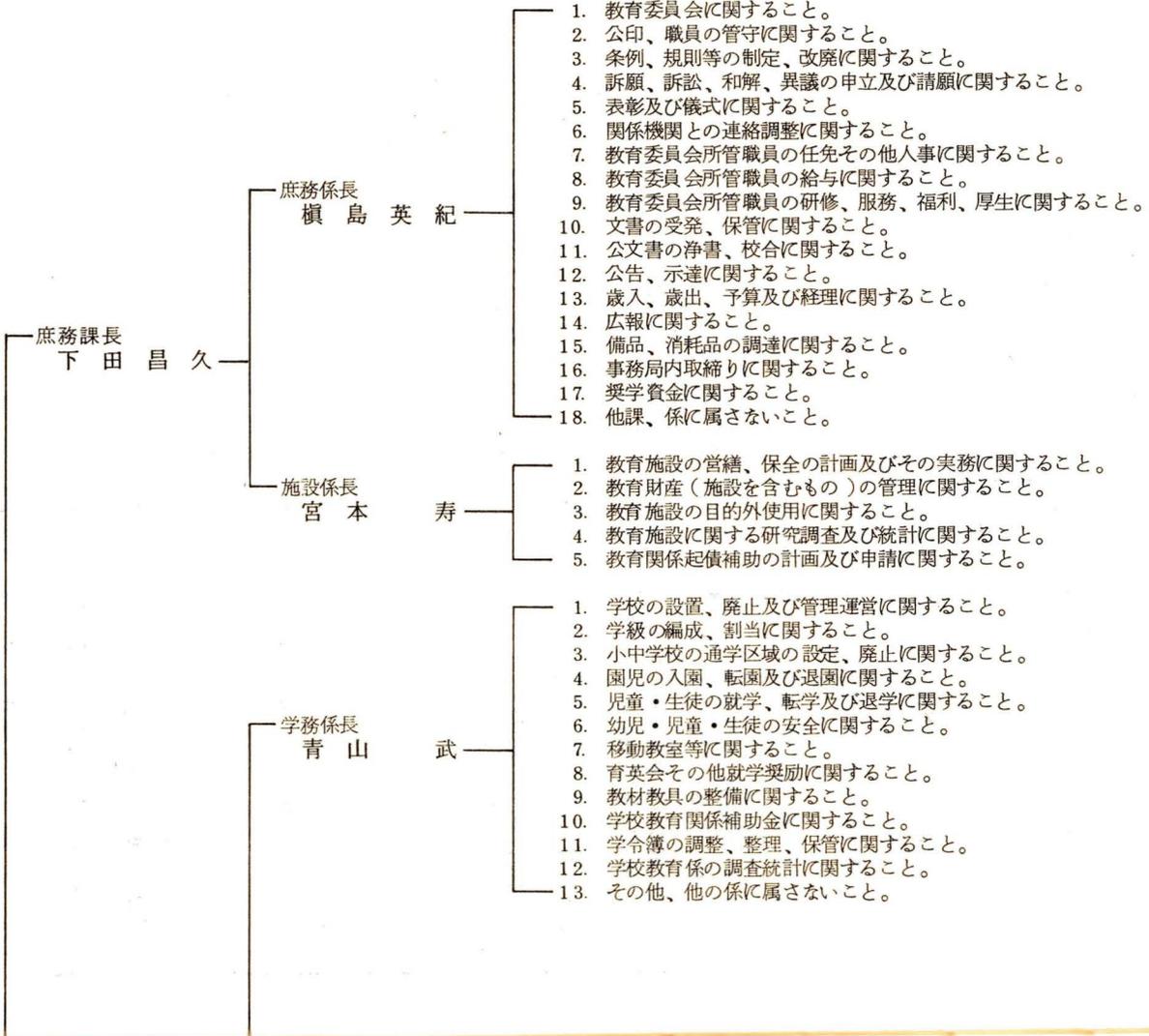
委員長
森久保 敏 治

職務代理
池 尾 テル子

委員
肥 後 和 夫

委員
野 呂 昭 朗

委員
倉 又 秀 作



教育長
倉又秀作

学校教育課長
高野隆

教職員係長
馬場時司

1. 校長及び教職員（以下「学校教職員」という）の任免、服務、分限、昇給、昇格等の内申事務人事調査、その他人事に関する事。
2. 学校教職員の給与、恩給、退職手当、公務災害補償に関する事。
3. 学校教職員の職員団体に関する事。
4. 学校教職員の福利、厚生に関する事。
5. 執行委任による都費の経理に関する事。
6. 学校教職員の共済事業に関する事。

指導係長
馬場時司

1. 教育課程の整備、改善の指導に関する事。
2. 学習指導、生活指導に関する事。
3. 教科用図書の採択、教材の取扱いに関する事。
4. 校長、教員の研修に関する事。
5. 学校教育に関する専務的事項の指導と指導相談に関する事。
6. 教育相談に関する事。（含 障害教育）

社会教育課長
谷正幸

社会教育係長
大西基一

1. 社会教育の総合計画に関する事。
2. 社会教育委員、青少年委員、文化財専門委員、青少年問題協議会に関する事。
3. 芸術、文化、芸能に関する事。
4. 各種学級、講座の開設、運営に関する事。
5. 文化財（古文書を除く）の調査及び保護に関する事。
6. 文化団体の助成に関する事。
7. 課内の庶務に関する事。

主幹（文化財担当）
佐久間義信

家庭教育係長
大西基一

1. 家庭教育の総合企画及び立案に関する事。
2. 家庭教育学級、講座、通信、相談に関する事。
3. 社会教育指導者の養成、充実に関する事。
4. P T Aに関する事。
5. その他家庭教育に関する事。

体育課長
大谷俊夫

保健給食係長
馬場守

1. 学校教職員、児童、生徒及び園児の保健管理に関する事。
2. 学校の環境衛生に関する事。
3. 学校安全会に関する事。
4. 学校給食に関する事。
5. 課内の庶務に関する事。

体育係長
奥住文男

1. 体育施設の計画、調査に関する事。
2. 体育（スポーツを含む）及びレクリエーションの計画実施、奨励、助成に関する事。
3. 体育指導委員に関する事。
4. 学校開放（体育施設に限る）に関する事。
5. 体育及びレクリエーション団体の助成に関する事。
6. 体育及びレクリエーション指導者の養成に関する事。
7. 市民総合グラウンド及び市民プールの管理運営に関する事。

市立図書館長
砂川雄

(兼)業務係長

分館長

奉仕係長

庶務整理係長

→ 齊藤隆夫

→ 植田光明

→ 北澤博幸

（指導主事の事務分担は本文中に示す）

日野市公立学校・幼稚園一覧表

学校名	第一幼稚園	第二幼稚園	第三幼稚園	第四幼稚園	第五幼稚園	第六幼稚園	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	第五小学校	第六小学校	潤徳小学校	平山小学校	第七小学校	第八小学校	百草台小学校
校(園)長名	光 永久夫	林 元美	村 田安正	釜 池博	古 谷洋太	近 内信輝	村 田安正	鈴 木英夫	竹 永秀雄	釜 池博	田 中光一	光 永久夫	黒 沢保雄	林 元美	梅 田茂	古 谷洋太	竹 内音治
学級数	六	三	三	三	二	二	二六	二五	特普 二四〇	二二	特普 二一五	二二	一九	二二	一八	二二	一八
児童数	三九	八六	一一五	八一	七一	六七	一〇六六三三	一〇三九三二	七五二 (二七)	八九九三〇	九九九 (三二)	八三五三〇	七三〇二六	八四八二九	七〇〇二五	八四九二九	七三〇二五
教員数	八	四	四	四	三	三	三三	三二	二七	三〇	三二	三〇	二六	二九	二五	二九	二五
電話	81 4124	91 4125	81 7127	83 3903	92 0423	92 6330	81 0073 0061	81 0070 0851	81 0101 0850	81 0038 3076	81 0407 0445	81 0366 4686	91 0409 0410	91 4123 0512	83 3907 3908	91 2411 2412	91 0997 0998
所在地	多摩平四一三	平山四一八一六	日野二八〇〇	石田四三一六	三沢一七五	程久保八七六一二	日野二八〇〇	東豊田二一四一一	日野台二一一一	石田四三〇	多摩平六一二一一	多摩平三一三一	高幡四〇二	平山四一八一六	日野市神明上区画整 理地域内一〇六	三沢二〇〇	百草九九九
交通機関	中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王線平山城址公園下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、徒歩七分	日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北口、高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分	高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下車、徒歩五分	中央線日野駅下車、徒歩六分	京王線南平駅下車、徒歩十五分 中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王バス日野自動車前下車、徒歩七分 中央線日野駅下車、徒歩十五分	日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分。立川駅北口、高幡不動駅より京王バス四小前下車、一分	中央線日野駅下車バス日野自動車前下車 中央線豊田又は日野駅下車、バス日野五小前、	中央線豊田駅北口下車、徒歩十二分 京王バス小西六裏門下車、三分	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分	京王線平山城址公園下車、徒歩八分	中央線日野駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分	高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下

滝合小学校	高幡台小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
鈴木敏郎	近内信輝	松日楽敬治	渋谷義一	小野寺東雄	小川格	高田智	深尾真	松延耕作	渡辺吉彦	山本保	長岡宗次	花牟礼哲	古川豊	長谷川辰美	河野寿忠
二七	二二	二三	一七	二四	特普 三九	一七	一八	一九	二〇	特普 一七	二〇	二〇	一五	特普 三八	一九
一、〇六四三	八四五二九	八五一三〇	六三六二四	九〇四三一	七五四 (二、六)	五七六二四	六八二二五	八一九三六	八〇六三五	六五〇三二	一、一四四四五	七九八三五	六四六二七	七六六 (三、一)	七七二三三
83 5172 5173	91 7011 7012	92 2021 2022	92 5014 5015	83 3733 3748	92 6381 6382	84 6200 6201	93 2351 2352	81 0009 0261	81 0056 0262	91 0174 0175	91 2228 2229	83 2228 2229	92 5017 5018	83 9755 9756	93 3015 3016
西平山二一三一	程久保五五〇	南平四一八一一	程久保五〇四一一	旭が丘五一一一一	平山二一一一一	新町三一二四一一	百草八九六一一	日野二六一一四	多摩平四一五一二	南平六一七一	程久保六五〇	旭が丘二一四二	三沢二五	日野六四六六一二	平山四一一一一二
京王線平山城址公園、長沼駅下車 徒歩十分	京王線高幡台地下車、徒歩五分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行	京王線南平駅下車、徒歩十二分	高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下車、徒歩二分	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車豊田方面徒歩十三分	京王線百草駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車立川方面、徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台地下車 徒歩七分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動、百草園下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅、平山城址公園駅下車徒歩八分 中央線豊田駅下車、徒歩十八分

管理運営規則第八條

学 校 名	学 校 長	教務主任	生活指導主任	保健主任	進路指導主任
日 野 一 小	村 田 安 正	古 屋 光 男	佐々木 玄 吾	清 雲 よ志子	
日 野 二 小	鈴 木 英 夫	紺 屋 富 夫	吉 沢 佐久子	内 藤 まつ代	
日 野 三 小	竹 永 秀 雄	福 地 保	赤 池 正 人	伊 佐 弘 江	
日 野 四 小	釜 池 博	次 田 圭 三	吉 村 正 三	佐 野 純 子	
日 野 五 小	田 中 光 一	生 田 彰	長 沢 佳都子	小 島 典 子	
日 野 六 小	光 永 久 夫	曾 我 哲 夫	五十嵐 一 郎	斉 藤 八重子	
潤 徳 小	黒 沢 保 雄	中 村 大	小 竹 章	松 井 玉 枝	
平 山 小	林 元 美	田 村 利 樹	大 上 琢 磨	小 板 橋 五佐男	
日 野 七 小	梅 田 茂	平 山 毅	草 刈 喜 一	長 田 正 夫	
日 野 八 小	古 谷 洋 太	波 多 野 坦	西 田 陽	石 川 耀 子	
百 草 台 小	竹 内 音 治	高 倉 教 行	中 川 和 代	佐々木 加津子	
滝 合 小	鈴 木 敏 郎	伊 藤 恵 造	宮 川 征三郎	須 崎 絹 江	
高 幡 台 小	近 内 信 輝	勝 俣 友 子	斉 藤 正 子	金 野 峰 子	
南 平 小	松 日 楽 敬 治	進 真 郎	森 清 晃	榊 原 一 男	
程 久 保 小	渋谷 義 一	堀 越 満 枝	上 野 森 良	井 浦 弘	
旭 が 丘 小	小 野 寺 東 雄	渡 辺 馨 鴻	渡 辺 健 一	石 原 八重子	
平 山 台 小	小 川 格	古 山 郁 夫	藤 井 清	谷 津 誠 一	
東 光 寺 小	高 田 智	井 上 保	藤 本 憲 康	橋 本 美千代	
三 沢 台 小	深 尾 真	内 藤 康	長 浜 和 子	鳥 飼 政 喜	
日 野 一 中	松 延 耕 作	長 谷 川 忠 男	島 倉 昭 雄	三 浦 佐智子	保 阪 暁
日 野 二 中	渡 辺 吉 彦	中 根 勉	広 瀬 昭	内 山 芳 雄	座 光 寺 瑞 江
七 生 中	山 本 保	白 田 重 孝	白 井 政	中 島 志津子	天 野 正 治
日 野 三 中	長 岡 宗 次	水 野 英 世	富 山 謙 一	伊 佐 節 子	福 田 慶 罔
日 野 四 中	花 牟 礼 哲	丸 山 尚 夫	鈴 木 良 身	藤 原 和 代	吉 見 光 雄
三 沢 中	古 川 豊	明 石 敏 春	鈴 木 清 司	島 田 きく子	笠 原 孝 之
大 坂 上 中	長 谷 川 辰 美	野 沢 昭 兆	加 藤 常 光	倉 林 紀 子	逸 見 敏
平 山 中	河 野 忠 寿	三 富 恒 男	三 浦 義 次	桜 井 絢 子	喜 多 村 靖 事

に基づく主任一覧表

学 年 主 任					
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
守屋 ふみ	野口 すみ子	有泉 徹郎	井尻 武子	小幡 建	広沢 フサ子
沢本年人	高島 和子	川崎 照子	石岡 信行	大竹 三郎	中川 金作
山口 和子	有馬 由紀子	金子 直子	久保田 由子	谷口 丈夫	関根 敦子
田中 延子	板谷 敏	飯田 竹	宗近 孝子	貫井 春子	田森 備詮
井上 明子	岩本 高明	逸見 黎子	笠井 祐子	伊山 節雄	岩尾 ぶき
窪田 正子	遠田 弘	依田 逸夫	小野 博子	五十嵐 一郎	斉藤 八重子
三浦 みのり	小川 雪子	遠藤 綾	高橋 茂子	小林 繁人	増賀 従男
石郷岡 日出子	小林 和子	富田 桂子	鈴木 実幸	末次 久利	畑野 元一
舞田 章子	小林 弘子	松澤 義信	平山 毅	長田 正夫	三村 礼子
鈴木 節子	川田 浩子	未継 逸夫	波多野 坦	和田 常雄	太田 价子
幸野 嘉子	斉藤 茂	山浦 幸子	若月 美登里	宇野 有斐子	荻沢 モト子
石川 成子	須崎 絹江	渡辺 かほ	志村 道子	老沼 義晴	村越 正
福田 信子	丹羽 亮典	高橋 和代	村越 裕子	中村 笙子	渋谷 範子
関 恒夫	片岡 千寿子	和田 いさを	藤田 孝彦	藤川 花子	當間 糸子
井浦 弘	小畑 智恵子	上野 森良	加藤 タイ	鷹尾 富貴子	土方 邦男
中村 麗子	石井 和子	馬場 富男	斉藤 弥生	岡田 寿美子	泉 芳夫
古賀 暉子	飯田 幸次	上條 ぬみ子	溝江 恵美子	橋本 允子	高濱 富子
西田 敦子	橋本 美千代	浅野 昭雄	藤本 憲康	井上 保	江口 耕一
後藤 楚子	安齐 満里子	柳 沼敏男	成井 朝雄	秋山 照子	海老沢 良子
古 厩 清 夫		松 原 清		清 水 春 海	
伊 藤 務		大 石 幸 雄		小 高 辰 雄	
渡 辺 勉		大 場 照 彦		小 林 敏 朗	
長 島 寿 平		山 本 康 郎		東 郷 隆 盛	
長谷川 昭		西 川 利 行		萩 原 典 子	
花 上 良 枝		新 井 教 且		橋 本 貴 幸	
武 藤 光 哉		松 浦 不 及		大 山 正 昭	
設 楽 益 穂		北 原 景 昭		佐 藤 恒	

日野市立小・中学校

担当		学校					
		一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小
1	研究・研修主任(担当)	有泉 徹郎	大竹 三郎	関根 敦子	田森 脩詮	戸塚 春男	窪田 正子
2	人権尊重教育担当	田中 隆夫	紺屋 富夫	関根 敦子	田森 脩詮	長沢佳都子	五十嵐一郎
3	国語主任(担当)	有泉 徹郎	紺屋 富夫	有馬由紀子	田森 脩詮	桑沢 悦子	依田 逸夫
4	社会科主任(担当)	永野 修二	大竹 三郎	久保田由子	会田 尚子	宮崎 宏子	遠田 弘
5	算数・数学主任(担当)	田中 隆夫	吉川 都子	上田 憲二	久保 起世	石川 忠男	古川 明子
6	理科主任(担当)	小幡 建	梅原すみ子	川原田和子	中村 静江	高田 真澄	鹿島田恭江
7	音楽主任(担当)	保坂たか子	大場 とみ	細谷 京子	三部 一枝	高野 紘	後藤真理子
8	図工・美術主任(担当)	岸本 和子	鶴田久美子	岩永 ヒラ	渡辺 芳郎	戸塚 春男	鈴木 陽子
9	体育・保健主任(担当)	武内 忠雄	沢本 年人	山田 一夫	森田 芳博	小倉 勇	上条 浩子
10	○技術・家庭(男)主						
11	家庭・技家(女)主	清雲よ志子	小笠原本江	鈴木利恵子	日下部芳子	本保 陽子	永石 暢子
12	○外国語(英)主						
13	道徳主任(担当)	広沢フサ子	内藤まつ代	山口 和子	菊地 敬子	菊池 静枝	五十嵐一郎
14	特別活動主任(担当)	小笠原久雄	中川 金作	赤池 正人	吉村 正三	八木 文夫	弥延 潤太
15	学校行事主任(担当)	古屋 光男	紺屋 富夫	赤池 正人	吉村 正三	生田 彰	佐藤 和子
16	視聴覚主任(担当)	永野 修二	島田美代子	市川 純子	佐藤 操	高野 紘	安達 美武
17	学校図書館主任(担当)	守屋 ふみ	高島 和子	関根 敦子	松本真知子	岩本 高明	依田 逸夫
18	給食主任(担当)	馬場 延子	塚本喜美子	安嶋のぶ子	日下部芳子	本保 陽子	高橋 孝子
19	安全教育主任(担当)	佐々木玄吾	岡田 充生	橋本満喜子	三部 一枝	高野 紘	高橋 孝子 金子 絹恵
20	養護主任(担当)	清水 妙子	菊地 直子	伊佐 弘江	佐野 純子	小島 典子	中村 孝子
21	管財主任(担当)	藤本 新八	須藤 茂	三輪佐和子	渡辺 芳郎	工藤トシ子	伊東 淳司
22	事務担当	藤本 新八	須藤 茂	三輪佐和子	古河 哲三	小村 絹子	伊東 淳司

主任（代表）一覽表

潤徳小	平山小	七小	八小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小
小林 繁人	藤岡 和子	秋山 憲一	和田 常雄	石黒 芳子	井上 善夫	宮口 周次	越村 清治
増賀 従男	田村 利樹	平山 毅	波多野 坦	雨宮 充	山口智恵子	勝俣 友子	森 清晃
村井三哉子	菊池 和子	三村 礼子	馬場 令子	大槻 正茂	矢野百合子	村越 裕子	阿部二三子
内藤 勝義	幸野 貢	長田 正夫	樋口江以子	山内 好子	石割やす子	安西 利江	越村 清治
伊沢 裕一	小板橋五佐男	金山 邦子	和田 常雄	田中 鈴子	老沼 義晴	大鳥ルミ子	若松富紀子
中村 大	浜本 末子	秋山 憲一	太田 价子	塚本 純子	田辺 友子	長沼 正幸	森 清晃
内山美知子	立花せつ子	玉川多恵子	櫻川 順子	飯島 睦子	川村 史代	河原田桂子	村上 悦子
遠藤 綾	沢田 末吉	河合 香子	高山 晴子	丸 カズ子	西尾 信博	伊藤 和夫	関 賀穂留
山崎 淳	中島 志郎	草刈 喜一	比企 通男	雨宮 充	井上 善夫	小田 良和	大房 秀樹
植松久美子	藤岡 和子	齊藤 イク	荒井和世子	石黒 芳子	萩原 章子	渋谷 範子	当間 糸子
小林 繁人	畑野 元一	平山 毅	波多野 坦	山浦 幸子	北脇 春樹	高橋 和代	片岡千寿子
小竹 章	諏訪 英樹	川上美穂子	比企 通男	飯島 睦子	白勢 玲子	宮口 周次	丸茂 洋子
中村 大	田村 利樹		末継 逸夫	飯島 睦子	宮川征三郎	勝俣 友子	藤田 孝彦
小林 繁人	末次 久利	小室 恒	鈴木 啓一	宇野守斐子	村越 正	丹羽 亮典	堀竹 充
小川 雪子	富田 桂子	信夫 頼子	太田 价子	丸 カズ子	増賀 久子	安西 利江	当間 糸子
高橋 茂子	田 美枝子	舞田 章子	荒井和世子	山内 好子	石川 成子	玉置 順子	片岡千寿子
滝沢 千雪	菊池 和子	小林 弘子	窪田 彌生	寺井 尚一	西尾 信博	青柳 佳子	大房 秀樹
松井 玉江	田辺さと子	福島 雪江	佐藤ヒサ子	佐々木加津子	松本 陽子	金野 峰子	南沢 芳子
佐藤 裕之	橋田 晟		板橋久美子	石川 一政	横田 昭子	高橋 和男	原 早苗
佐藤 裕之	橋田 晟	藤井 悦子	加藤ふみ江	石川 一政	横田 昭子	高橋 和男	原 早苗

担当		学校					
		程久保小	旭が丘小	平山台小	東光寺小	三沢台小	一 中
1	研究・研修主任(担当)	川上 卓一	泉 芳夫	信夫 清彦	西田 敦子	柳沼 敏男	村田 志信
2	人権尊重教育担当	上野 森良	渡辺 馨鴻	藤井 清	橋本美千代	安斎満里子	福島 良樹
3	国語主任(担当)	藤井 章	飯田 国代	赤松 昭子	海老原真知子	後藤 楚子	小林紀代子
4	社会科主任(担当)	佐藤 智子	諏訪喜代子	古山 郁夫	井上 保	安斎満里子	日塔 光博
5	算数・数学主任(担当)	川井 矩子	金畑 昭正	塩川 和貴	入倉美恵子	安室 清治	松原 清
6	理科主任(担当)	川上 卓一	渡辺 健一	吉川 郁子	沢山 茂夫	柳沼 敏男	辰巳 恵子
7	音楽主任(担当)	小堀こう子	伊東 春子	村田那智子	森 甫	土師 慶子	村田 志信
8	図工・美術主任(担当)	藤沢由美子	加納 博之	北野 義昭	中尾 公治	鳥飼 政喜	尾関いずみ
9	体育・保体主任(担当)	土方 邦男	大澤 保久	信夫 清彦	松田 秀男	成井 朝雄	鶴田 幸夫
10	○技術・家庭(男)主						保阪 暁
11	家庭・技家(女)主	岡島 政吉	奈良 悦子	岩崎 マサ	林 茂子	白鳥みのる	鈴木美代子
12	○外国語(英)主						柳沢 美澄
13	道徳主任(担当)	上野 森良	石原八重子	藤井 清	橋本美千代	長浜 和子	城田 治男
14	特別活動主任(担当)	川原田和子	佐藤 慎一	溝江恵美子	沢山 茂夫	土師 慶子	福島 良樹
15	学校行事主任(担当)	堀越 満枝	中村 麗子	古山 郁夫	江口 耕一	内藤 康	長谷川忠男
16	視聴覚主任(担当)	川井 矩子	野村 治子	北野 義昭	森 甫	安室 清治	能瀬 典子
17	学校図書館主任(担当)	安藤みち子	中村 麗子	古賀 暉子	内田美代子	後藤 楚子	能瀬 典子
18	給食主任(担当)	小畑智恵子	奈良 悦子	太田喜久子	林 茂子	白鳥みのる	尾関いずみ
19	安全教育主任(担当)	上野 森良	大澤 保久	飯田 幸次	藤本 憲康	間瀬 静夫	島倉 昭雄
20	養護主任(担当)	原田 暢恵	竹重 友子	田島 佳子	上山美智子	細野 智子	三浦佐智子
21	管財主任(担当)	石田 義一	伊藤 功	北野 義昭	内田 眞弓	郷原 敦	田辺 正志
22	事務担当	石田 義一	伊藤 功	幸地 道夫	内田 眞弓	郷原 敦	田辺 正志

二 中	七生中	三 中	四 中	三沢中	大坂上中	平山中
安原 美代	高橋 定吉	福田 慶罔	富士 堯	笠原 孝之	小林 喜司	岡部 隆男
伊藤 務	臼田 重孝	富山 謙一	樋口 恢武	沓沢 博	守屋 千佑	高崎 雅子
西 恭利	井田 武	菊次 生子	天野 節子	鈴木 邦吉	佐藤 玲子	高崎 雅子
森 紀子	松尾 晴至	金子 民造	樋口 恢武	中村 勝郎	六本木 茂	国信 武司
野村 文男	臼田 重孝	山本 康郎	鎌須賀正克	新井 教旦	鈴木 幸子	喜多村靖事
渡辺 欣哉	辻野 良子	加藤 和則	大島 幸雄	原沢 和江	宮田 和子	和田 孝
鈴木 晶子	天野 敏明	新井 幹	西村美紗子	大宅 寛	村上 敏雄	山田よし子
鎌田 正人	高野 徐一	中山 且巳	小畑 亮	乙黒 静子	逸見 敏	阿部 晃一
鈴木 直也	瀧尾 悦子	橋 陽臣	鈴木 健一	杉本 三郎	桑原 尚	益田 志郎
柳 哲夫	小浜 廉教	加島 俊博	鈴木 良身	佐藤 至正	五十嵐英一郎	三浦 義次
筆吉 則子	田倉 正子	高橋 清子	萩原 典子	石田 洋子	土田キミヨ	佐藤 寿枝
広瀬 明	浅倉 隆壽	綿引 正巳	井手 裕子	月尾 洋	真柴 哲子	久保田俊司
溝口 育子	菅野 剛	加島 俊博	樋口 恢武	花上 良枝	松浦 不及	高崎 雅子
鎌田 正人	菅野 剛	長島 寿平	設楽 悦代	花上 良枝	村上 敏雄	
中根 勉	渡辺 勉	新井 幹	丸山 尚夫	大宅 寛	野沢 昭兆	三富 恒男
大山 裕子	高野 徐一	加藤 和則	持田 友宏	橋本 貴幸	岩村 武	益田 志郎
内田耕一郎	原 義秋	小林桂三郎	水田 節子	松田 健司	大貫 米子	上原 純子
水野 美鈴	松尾 晴至	細谷 洋三	野田志乃ぶ	原沢 和江	大淵 隆夫	渡辺 京子
鈴木 直也	白井 攻	橋 陽臣	稲川 正義	新井 教旦	六本木 茂	三浦 義次
座光寺瑞江	中島志津子	伊佐 節子	高橋 恵子	島田きく子	倉林 紀子	鈴木由紀子
森 昇市	吉岡 興村	大塚 長栄	栞山日出男	八木 守	大淵 隆夫	大野 馨
市川 昌子	吉岡 興村	大室 郁夫	栞山日出男	八木 守	大淵 隆夫	大野 馨

昭和56年度 授業研究主題

№	小 学 校 名	研 究 主 題
1	日野第一小学校	主体的に学習を進めるための指導法
2	日野第二小学校	生活指導とくに聞く態度を育てる指導法の研究
3	日野第三小学校	主体的に学習する子どもの育成をめざし指導法の改善をはかる
4	日野第四小学校	集団の中で生き生きと活動する子ども—学級づくりを中心として—
5	日野第五小学校	学習意欲を高める指導法の研究
6	日野第六小学校	「考えさせる授業の手だて」の追求
7	潤徳小学校	自ら考え進んで活動する子どもを育てる指導法の研究
8	平山小学校	ひとりひとりを生かす指導をめざして
9	日野第七小学校	発想を豊かにする指導法の工夫(理科)
10	日野第八小学校	児童の主体性を高める指導法の研究—理科学習を通して—
11	百草台小学校	ひとりひとりを生き生きと学習にとりくませる授業
12	滝合小学校	児童の主体性を伸ばす指導法の研究
13	高幡台小学校	特活、児童会活動の活発化とそれに対する学級会の活動
14	南平小学校	児童が主体的に取りくむための学習指導法の研究
15	程久保小学校	ひとりひとりがいきいきとする学習指導—発問の工夫—
16	旭が丘小学校	子どもに考えさせる授業のあり方(仮題)
17	平山台小学校	児童が主体的に学習できるための授業の創造
18	東光寺小学校	自主的な学習態度を育てる指導法の研究 —自分の考えをもち、筋道を立てて最後まできちんと発表できる子供—
19	三沢台小学校	「よくわかる授業」をするための手だてを考える —教材教具の効果的な利用、発問の工夫—

№	中学校名	研究主題
1	日野第一中学校	学習意欲を起こさせるための研究
2	日野第二中学校	到達度評価の研究
3	七生中学校	新教育課程に基づく教科の研究
4	日野第三中学校	教材観を適切に表現する指導用語
5	日野第四中学校	すべての子どもに発見と達成のよろこびを感じさせる授業の方法
6	三沢中学校	基礎学力の充実のための教材精選、系統化を通して学習の効率化をめざす
7	大坂上中学校	生徒自ら考え学習するための教師の発問についての研究
8	平山中学校	意欲的、自主的学習態度を育成する。

昭和 56 年度
都 教育研究員・教育開発委員・道徳助言者・研究奨励

1. 教育研究員

1. 小学校	国語	潤徳小	増賀 従 男
	理科	旭が丘小	渡 辺 健 一
	体育	四 小	森 田 芳 博
	特活	四 小	吉 村 正 三
	書写	七 小	松 沢 義 信
	英語	二 中	安 原 美 代
	教育課題	二 中	中 根 勉
	心 障	平山台小	谷 津 誠 一

2. 教育開発委員

社 会	南平小	越 村 清 治
技・家	七 中	小 浜 廉 教
外(英)	一 中	柳 沢 美 澄
心 障	五 小	佐 藤 正 身

3. 道徳助言者

一 小	広 沢 フサ子
七 小	平 山 毅
二 中	小 高 辰 雄
三 中	富 山 謙 一

4. 研究奨励費受給者

1. グループ研究B

○体 育……信夫清彦(平山台小)・八木文夫(五小)・森田芳博(四小)・藤井泰蔵
(平山台小)・進 眞郎(南平小)・内藤 康(三沢台小)・渡辺馨鴻
(旭が丘小)・武内忠雄(一小)・草刈喜一(七小)・中島志郎(平山小)

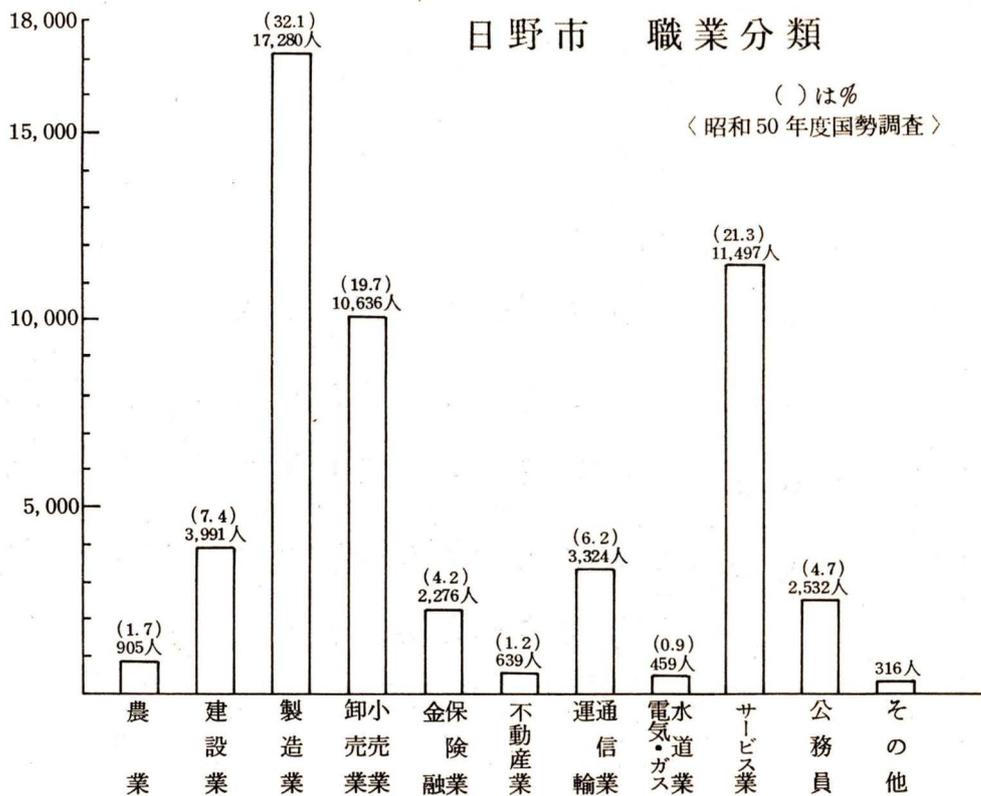
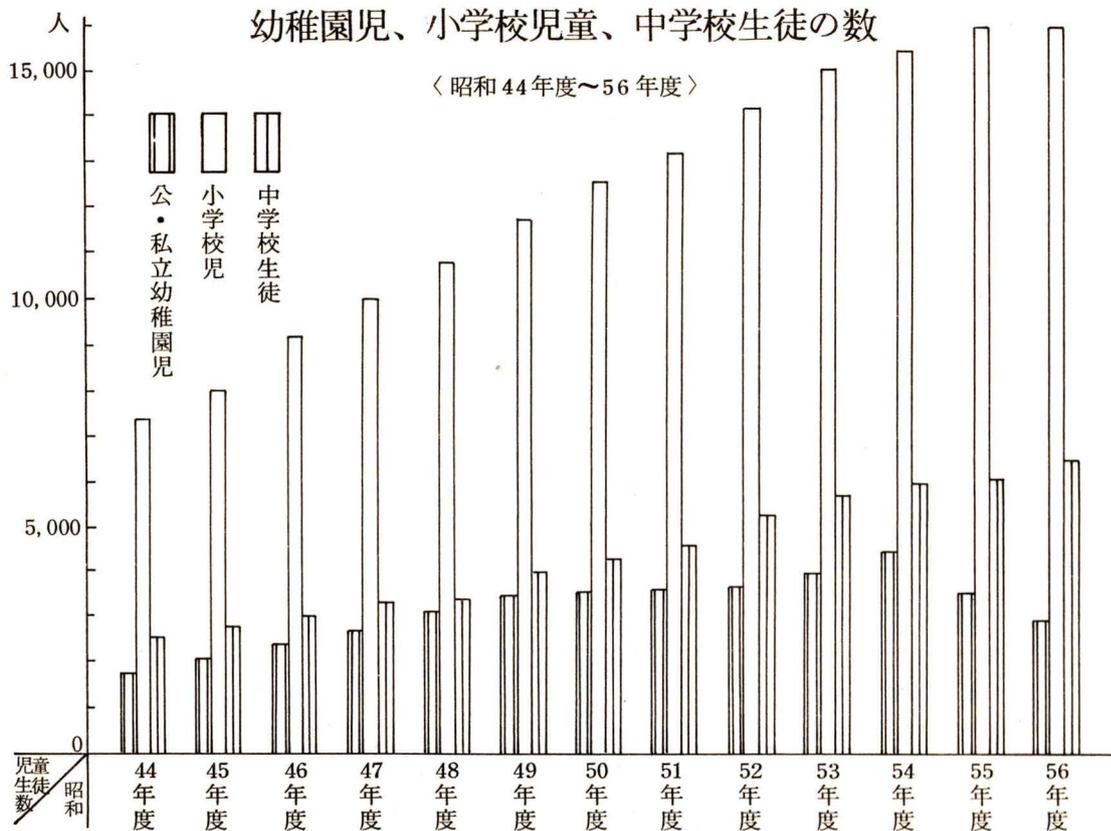
2. グループ研究A

○生徒指導……和田 孝・益田志郎・国信武司・堀江富男
(平山中)・田中佳弘(一中)

就業・進学状況の推移（S. 51～55年度）

（ ）はパーセント

年 度	性 別	高等学校全日制課程						高等学校定時制課程			その他の教育機関			就職・その他			卒 業 者 総 数		
		総 計	公 立			私 立			総 計	公 立		就 職 進 学 者	専 門 ・ 業 ・ 各 種 訓 練 学 校 校	盲 養 ・ ろ 護 う 学 校 校	高 等 専 門 学 校	総 計		就 職 者	無 （ 在 家 庭 者 ）
			普 通 科	職 業 科	計	普 通 科	職 業 科	計		普 通 科	職 業 科								
51	計	1,390 (94.9)	700 (47.8)	125 (8.5)	825 (56.3)	508 (34.6)	57 (3.8)	565 (38.5)	18 (1.2)	14 (0.96)	4 (0.2)	7 (0.4)	33 (2.2)	1 (0.06)	3 (0.2)	19 (1.2)	13 (0.8)	6 (0.4)	1,464
	男	687	364	55	419	228	40	268	14	10	4	7	8	0	3	16	10	6	728
	女	702	335	70	405	280	17	297	4	4	0	0	25	1	0	3	0	3	735
52	計	1,508 (95.4)	741 (46.8)	112 (7.0)	853 (53.9)	612 (38.7)	43 (2.7)	655 (41.4)	15 (0.9)	13 (0.8)	2 (0.1)	10 (0.6)	21 (1.5)	2 (0.1)	2 (0.1)	32 (2.0)	24 (1.5)	8 (0.5)	1,580
	男	779	369	64	433	316	30	346	10	8	2	7	7	0	2	21	15	6	819
	女	729	372	48	420	296	13	309	5	5	0	3	14	2	0	11	9	2	761
53	計	1,616 (95.5)	812 (48.0)	111 (6.55)	924 (54.5)	623 (36.7)	70 (4.1)	695 (41.0)	25 (1.4)	23 (1.35)	2 (0.1)	21 (1.2)	17 (1.0)	3 (0.1)	2 (0.1)	30 (1.77)	25 (1.4)	5 (0.2)	1,693
	男	840	422	52	474	324	42	366	21	20	1	17	4	1	2	19	16	3	887
	女	776	390	59	450	299	28	329	4	3	1	4	13	2	0	11	9	2	806
54	計	1,834 (93.0)	1,060 (53.7)	149 (7.6)	1,209 (61.3)	581 (29.5)	44 (2.2)	625 (31.7)	43 (2.2)	25 (1.3)	14 (0.71)	19 (1.0)	26 (1.3)	2 (0.1)	6 (0.3)	61 (3.1)	49 (2.5)	12 (0.6)	1,972
	男	857	494	74	568	264	25	289	35	19	12	15	13	2	6	52	45	7	965
	女	977	566	75	641	317	19	336	8	6	2	4	13	0	0	9	4	5	1,007
55	計	1,848 (94.0)	987 (50.2)	126 (6.4)	1,113 (56.6)	685 (34.8)	50 (2.5)	735 (37.4)	37 (1.9)	13 (0.6)	4 (0.2)	20 (1.0)	25 (1.3)	3 (0.2)	3 (0.2)	51 (2.5)	42 (2.1)	9 (0.5)	1,967
	男	917	467	80	547	333	37	370	33	11	4	18	12	1	3	37	31	6	1,003
	女	931	520	46	566	352	13	365	4	2	0	2	13	2	0	14	11	3	964



No	小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	心障
1	日野第一小学校	164 (4)	196 (5)	174 (4)	193 (5)	155 (4)	172 (4)	1,054 (26)	
2	日野第二小学校	150 (4)	192 (5)	179 (4)	167 (4)	171 (4)	179 (4)	1,038 (25)	
3	日野第三小学校	138 (4)	130 (3)	118 (3)	145 (4)	119 (3)	102 (3)	752 (20)	心・訪・情 17・2・7 (2)・(1)・(1)
4	日野第四小学校	143 (4)	158 (4)	160 (4)	167 (4)	135 (3)	137 (4)	900 (23)	
5	日野第五小学校	171 (4)	190 (5)	151 (4)	174 (4)	155 (4)	149 (4)	990 (25)	9 (1)
6	日野第六小学校	144 (4)	140 (4)	140 (4)	137 (4)	148 (4)	121 (3)	830 (23)	
7	潤徳小学校	115 (3)	121 (3)	111 (3)	130 (3)	120 (3)	134 (4)	731 (19)	
8	平山小学校	127 (3)	150 (4)	139 (4)	155 (4)	150 (4)	124 (3)	845 (22)	
9	日野第七小学校	128 (3)	132 (3)	108 (3)	124 (3)	115 (3)	95 (3)	702 (18)	
10	日野第八小学校	142 (4)	152 (4)	155 (4)	135 (3)	147 (4)	124 (3)	855 (22)	
11	百草台小学校	119 (3)	127 (3)	129 (3)	132 (3)	120 (3)	107 (3)	734 (18)	
12	滝合小学校	190 (5)	184 (5)	185 (5)	166 (4)	174 (4)	161 (4)	1,060 (27)	
13	高幡台小学校	149 (4)	138 (4)	162 (4)	151 (4)	115 (3)	130 (3)	845 (22)	
14	南平小学校	123 (3)	138 (4)	142 (4)	159 (4)	138 (4)	141 (4)	841 (23)	
15	程久保小学校	84 (2)	101 (3)	98 (3)	119 (3)	109 (3)	124 (3)	635 (17)	
16	旭が丘小学校	145 (4)	187 (5)	148 (4)	168 (4)	145 (4)	110 (3)	903 (24)	
17	平山台小学校	100 (3)	118 (3)	133 (3)	139 (4)	126 (3)	110 (3)	726 (19)	26 (3)
18	東光寺小学校	106 (3)	108 (3)	93 (3)	107 (3)	91 (3)	70 (2)	575 (17)	
19	三沢台小学校	114 (3)	115 (3)	112 (3)	110 (3)	105 (3)	125 (3)	681 (18)	
計	19校	2,552 (67)	2,777 (73)	2,637 (69)	2,778 (70)	2,538 (66)	2,415 (63)	15,697 (408)	61 (8)

No.	中学校名	1年	2年	3年	計	心障
1	日野第一中学校	317 (8)	273 (7)	229 (6)	819 (21)	
2	日野第二中学校	291 (7)	282 (7)	233 (6)	806 (20)	
3	七生中学校	233 (6)	234 (6)	183 (5)	650 (17)	6 (1)
4	日野第三中学校	413 (10)	402 (9)	329 (8)	1,144 (27)	
5	日野第四中学校	282 (7)	274 (7)	242 (6)	798 (20)	
6	三沢中学校	226 (5)	216 (5)	206 (5)	648 (15)	
7	大坂上中学校	263 (6)	281 (7)	223 (5)	767 (18)	25 (3)
8	平山中学校	275 (7)	263 (6)	232 (6)	770 (19)	
計	8校	2,300 (56)	2,225 (54)	1,877 (47)	6,402 (157)	31 (4)

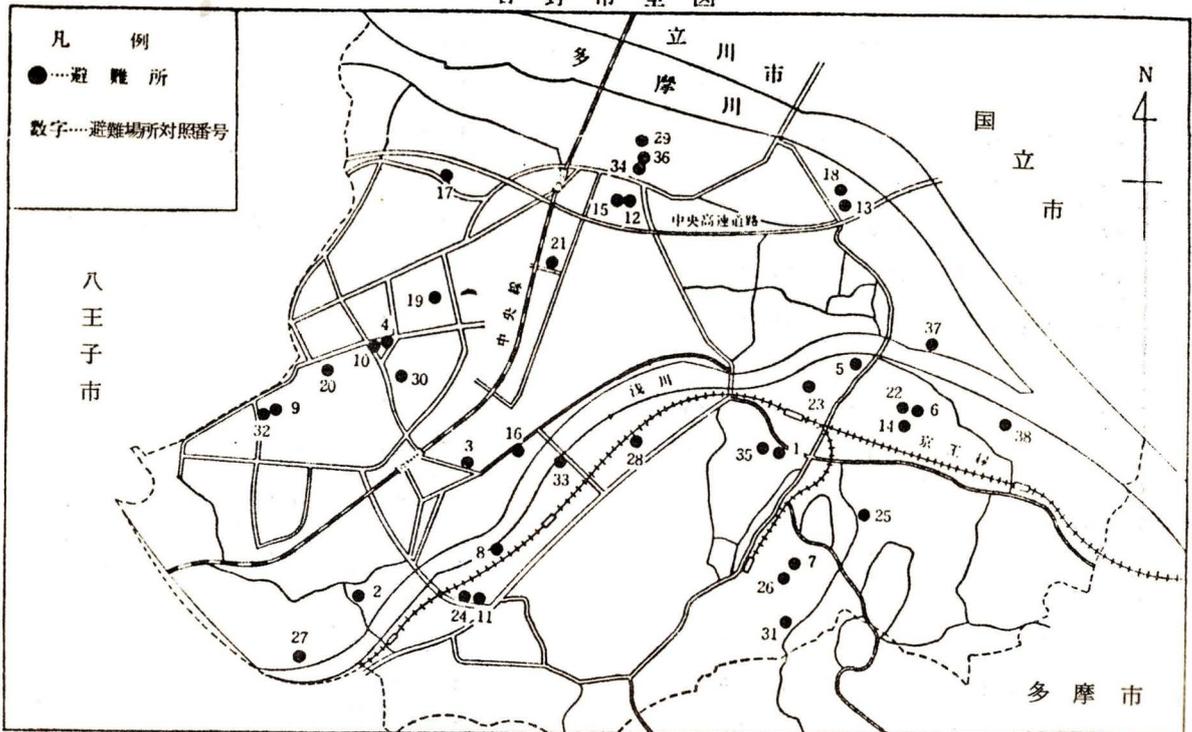
No.	幼稚園名	3才児	4才児	5才児	計
1	第一幼稚園			219 (6)	219 (6)
2	第二幼稚園			86 (3)	86 (3)
3	第三幼稚園		38 (1)	77 (2)	115 (3)
4	第四幼稚園		40 (1)	42 (2)	82 (3)
5	第五幼稚園			71 (2)	71 (2)
6	第六幼稚園			67 (2)	67 (2)
計	6園		78 (2)	562 (17)	640 (19)

避難所一覧表

№	施設名	所在地	電話番号	収容人員	№	施設名	所在地	電話番号	収容人員
1	たかはた保育園	高幡 705	91-2679	444	21	第七小学校	神明上区画整理地	83-3907	1650
2	ひらやま "	東平山 1-7-13	81-9225	392	22	第八 "	三沢 200	91-2411	1040
3	とよだ "	豊田 4-10-3	81-3451	280	23	潤徳 "	高幡 402	91-0409	1440
4	たまたいら "	多摩平 4-3	81-0004	390	24	平山 "	平山 4-8-6	91-4123	2000
5	あらい "	新井 842-6	91-6132	300	25	百草台 "	百草 999	91-0998	880
6	みさわ "	三沢 200	91-6131	396	26	高幡台 "	程久保 550	91-7011	500
7	たかはた台 "	程久保 650	91-2231	360	27	滝合 "	西平山 2-3-1	83-5172	800
8	みなみだいら "	平山 4-20-1	91-2468	370	28	南平 "	南平 4-18-1	92-2021	2000
9	あさひがさか "	旭が丘 2-42-1	81-7676	290	29	第一中学校	日野 2614	81-0009	1520
10	第一幼稚園	多摩平 4-3	81-4124	448	30	第二 "	多摩平 4-5-2	81-0056	2160
11	第二 "	平山 4-8-4	91-4125	193	31	第三 "	程久保 681	91-2229	500
12	第三 "	日野 2800	81-7127	256	32	第四 "	旭が丘 2-42	83-3907	1320
13	第四 "	石田 431-6	83-3903	185	33	七生 "	南平 6-7-1	91-0174	1280
14	第五 "	三沢 175	91-0432	500	34	福祉センター(中央)	日野 2614	83-2329	668
15	第一小学校	日野 2800	81-0073	1920	35	"(高幡)	高幡 696	91-4510	92
16	第二 "	東豊田 2-14-1	81-0070	1360	36	中央公民館	日野 2614	81-7580	308
17	第三 "	日野台 2-1-1	81-0101	1440	37	都立日野高校	石田 190	91-7123	4272
18	第四 "	石田 430	81-0038	1520	38	千代田区立 七生自然学園	落川 1400	91-4497	200
19	第五 "	多摩平 6-21-1	81-0407	2800					
20	第六 "	多摩平 3-21	81-4686	2000					

避難所位置図

日野市全図



市 立 小 中 学

番 号	校 名	開 校 年 度	建 築 增 改 築 年 度	校 地 面 積 m^2	校 舍 保 有 面 積 m^2	普 通	
						教 室	理 科
1	一 小	M 6	37. 38. 39.	20, 947	4, 420	25	1
2	二 小	M 7	42. 43. 48. 53~54	11, 640	4, 747	26	1
3	三 小	S 23	41. 42. 47. 49~50	16, 806	6, 015	30(5)	1
4	四 小	M 6	39. 40. 44.	15, 593	3, 865	19	1
5	五 小	S 34	36. 39. 40. 43	18, 435	5, 212	34	2
6	六 小	S 40	38. 39. 43. 48	19, 833	6, 092	31	1
7	潤 徳 小	M 6	39. 40. 45	15, 376	4, 822	28	1
8	平 山 小	M 6	39. 40. 41. 44	13, 349	4, 439	24	1
9	八 小	S 44	44. 47. 49	18, 428	5, 081	26	1
10	百 草 台 小	S 45	44. 48. 50	15, 143	5, 248	26	1
11	滝 合 小	S 46	45~46	20, 545	5, 506	27	1
12	高 幡 台 小	S 47	46. 48. 52.	16, 017	4, 952	27	1
13	七 小	S 48	47~48. 52~53	13, 509	3, 809	18	1
14	南 平 小	S 49	48~49. 53. 55	16, 519	5, 254	26	1
15	程 久 保 小	S 52	49~51	16, 988	4, 072	18	1
16	旭 が 丘 小	S 52	51~52	16, 642	5, 097	22	1
17	平 山 台 小	S 53	52~53. 54	18, 536	4, 928	21(2)	1
18	東 光 寺 小	S 54	53~54	19, 586	4, 335	18	1
19	三 沢 台 小	S 55	54~55	15, 170	4, 483	18	1
1	一 中	S 22	37. 38. 40. 47. 50	19, 186	5, 408	24	2
2	二 中	S 29	34. 35. 38. 40. 41. 49~50	21, 150	6, 274	28	2
3	七 生 中	S 22	36. 38. 44. 45. 50~51	20, 367	5, 600	25	2
4	三 中	S 45	45. 47. 49	21, 520	6, 065	28	2
5	四 中	S 48	47. 49. 52.	17, 278	6, 168	27	2
6	三 沢 中	S 52	51~52	20, 679	5, 411	16	2
7	大 坂 上 中	S 55	54~55	19, 389	5, 561	19(2)	2
8	平 山 中	S 56	55~56	18, 200	5, 959	24	2

校 施 設 一 覧

56.5.1

教 室								プレハブ		体 育 館 m ²	プー ル 大(25×11m) 小(10×5m)	給 食 室 m ²	実 学 級
特 別 教 室								教 室					
音 楽	図 工	美 術	技 術	家 庭	視 覚	図 書	そ の 他	普 通	特 別				
1	1			1		1		2	1	575	大、小	149	26
1	1			1	1	1				761	〃	172	25
1	1			1		1	1			761	〃	119	20(4)
1	1			1		1		5		765	〃	128	23
2	1			1		1				761	〃	191	25(1)
2	1			1		1				765	〃	148	23
1	1			1		1				779	〃	164	19
1	1			1		1				545	〃	133	22
1	1			1		1				710	〃	231	22
1	1			1		1				752	〃	188	18
2	1			1		1		2		701	〃	256	27
1	1			1		1				714	〃	226	22
1	1			1		1				736	〃	209	18
1	1			1	1	1				734	〃	188	23
1	1			1		1				760	〃	216	17
1	1			1		1		1		760	〃	213	24
1	1			1		1	1		(2)	760	大、12×5m	268	19(3)
1	1			1		1				760	大、小	214	17
1	1			1		1				855	〃	215	18
2		1	2	2		2	1		1	842	大		21
2		1	2	2		1	1			1,075	〃		20
2		2	1	2		1				765	〃		17(1)
2		1	2	2		1	1	3		1,067	〃		27
2		2	2	2		1				1,136	〃		20
1		1	2	2		1	1			1,118	〃		15
2		1	2(1)	2(1)			1	1		〃	〃		18(3)
2		2	2	2						〃	〃	230	19



園 名 日野市立第一幼稚園
 所 在 地 日野市多摩平4-3
 電 話 0425-81-4124・4105
 順 路 豊田駅より北へ徒歩約10分
 園 児 数 男116名 女103名 計219名

園長氏名 光 永 久 夫

主任氏名 田 中 澄 子

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置
 さる。学級7、定員280名、
 職員教諭8名、用務員1名。
 園敷地2,700 m²、園舎777 m²
 プレハブ1棟。
4. 10 開園 園児280名
 5. 25 創立記念日とす
 5. 30 園章制定
- 昭43. 9. 6 プール第一次計画完成(中庭)
 12. 20 ホール増築完成
 2. 10 プール第二次計画完成
 (プールサイド、シャワー)
- 昭44. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増設工
 事完成
 7. 15 運動場拡張完成
- 昭48. 3. 14 東京都交通安全教育実験学校
 研究発表会(第一年次)
 10. 23 東京都交通安全教育実験学校
 研究発表会(第二年次)
- 昭50. 3. 10 10周年記念研究発表会開催
 園歌制定
 12. 25 園舎増築完成
 保育室3、プレイコーナー、図
 書コーナー各1、保健室1、資
 料室1、屋上、トイレ、物置1

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
江 角 正 子	昭40. 4. 1～昭56. 3. 31
光 永 久 夫	昭56. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

市の一大集団住宅地域である多摩平団地およ
 び周辺住宅の中心にある。近くには公園もあり
 比較的閑静な環境にあったが、甲州街道と平行
 してそのバイパスの役割をなす道路に面してい
 るため近年は交通量も多くなり危険になってき
 た。

4. 教育目標

- (1) 明るく元気ががんばることも
- (2) よく見、よく聞き、よく考えることも
- (3) やさしい心をもつことも

5. 本年度指導の重点

- (1) 学級経営の充実をはかり一人一人のこども
 を大切に、感情や個性の豊かなこどもの育
 成に努める。
- (2) 戸外の遊びを重視し、園外保育や体育的な
 遊びを多くとり入れ、心身ともに健康なこど
 もの育成に努める。

6. 本年度の研究主題

「活動意欲をもちたてる指導法」

7. 本校の特色

地域と園とのつながりを大切に考え、母親コ
 ーラスなどを通して教育の場を豊かにしている。

8. その他(教職員の研究歴)

№	内 訳	開 発 委 員 (現代化)
1		田 中 澄 子 (48.経営)
2		樋 山 欣 子 (50.自然)



園 名 日野市立第二幼稚園
 所 在 地 日野市平山4-8-4
 電 話 0425-91-4125
 順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分
 園 児 数 男39名 女47名 計86名

園長氏名 林 元美 主任氏名 沖山英代

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校内に設置
- 5. 10 開校記念日と定める。
- 5. 30 園章制定
- 昭46. 3. 10 日野市研究協力園として研究発表を行う
第二幼稚園の歌制定
- 昭48. 2. 21 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第一年次)
- 昭49. 10. 22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会本発表(第二年次)
- 12. 14 創立10周年記念式典開催
- 昭51. 4. 6 保育室、廊下、職員室、医務室床、改装完成
- 昭53. 9. 30 玄関入口広場を図書コーナーに改装完成
- 昭55. 9. 1 図書コーナー本棚設置
- 昭56. 4. 6 市水道管引込工事完了

2. 歴代園長氏名

氏 名	年月～年月
後藤 正太	昭40.4～昭42.3
安積 利治	昭42.4～昭47.3
小野 晁	昭47.4～昭51.3
深澤 真人	昭51.4～昭55.3
林 元美	昭55.4～現在

3. 地域の環境

市の南西部にあり、南に多摩丘陵がたつらなり、自然に恵まれ景観のよい環境である。近年は宅地や住宅団地造成により住宅地と化し、都内に勤務する家庭の子弟が多くなっている。

4. 教育目標

- (1) 元気に遊べる子ども
- (2) やる気のある子ども
- (3) 心の豊かな子ども

5. 本年度の指導の重点

- (1) いろいろな遊びに、自から働きかけをし、積極的に取り組む姿勢をもつ子どもの育成に努める。
- (2) 地域の自然を活用し、園外保育を多く取り入れて自然に親しむ豊かな子どもの育成に、努める。

6. 本年度の研究主題

- ・地域の自然環境をどのように、保育にとり入れるか、実地調査を通して、資料作りをする。

7. 本園の特色

- (1) 道路幅が狭く、近年交通量の富みに多くなってきた地域の実態に即し、交通安全に万全をきたすように、家庭へもよびかけを行い協力を得ている。
- (2) 園庭の花壇や植物に関心をもたせ、計画的な指導と緑化を進めている。

8. その他

内 訳	研究員	現代化委員
1	沖山英代(52幼)	
2	石川和子(54幼)	石川和子(53幼)



園 名 日野市立第三幼稚園
 所 在 地 日野市日野2800
 電 話 0425-81-7127
 順 路 国電 日野駅下車 東へ10分
 園 児 数 男57名 女58名 計115名

園長氏名 村田 安 正

主任氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭41. 4. 11 日野市立第三幼稚園として
日野第一小学校内に設置
学級数4. 園児数143名
- 5. 4 開園記念日と定める
- 昭42. 5. ブロック塀完成
- 11. 観察池設置
- 昭46. 4. 市研究協力園
- 昭47. 3. 屋外飼育舎新設
- 昭51. 2. ・区画整理のため、正門移動
・園庭整備
・10周年記念研究発表
- 昭53. 8. ホール 保育室等床改装完成
- 昭54. 8. 廊下床改装完成

2. 歴代園長名

氏 名	年月～年月
吉 田 辰 次	41. 4 ～ 41. 5
永 野 林 弘	41. 6 ～ 42. 3
吉 田 辰 次	42. 4 ～ 44. 3
下 田 忍	44. 4 ～ 50. 3
溝呂木 桂 次	50. 4 ～ 55. 3
村 田 安 正	55. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれた所に位置する。数年前までは、周囲に梨畑などがあり、四季の変化を身近に感じ、子どもたちも自然を利用した遊びを楽しむことができたが、最近では宅地化が進み、周囲の自然が失われていくようである。

4. 教育目標

- 心身ともに健康で、調和のとれた人格形成をめざす。
- 丈夫な身体で 元気に遊ぶ子
- 自分で考え 最後までやりぬく子
- 心のやさしい 素直な子

5. 本年度の指導の重点

- 友だちとかかわる中で、一人の人間として必要な社会的な生活態度を身につける指導をする。
- 4才児、5才児という年齢の異った集団の場で、相互に育ちあう指導に心がける。
- ひとりひとりのこどもを、より正しく理解し個性をいかした指導を進める。

6. 本年度の研究主題

- 日々の実践をとおして
- 教育課程のみなおし、特に経験や活動の選択と配列について
- 4才児の指導について

7. 本園の特色

- 園庭に畑をつくり、子どもたちが自らの手で育て、収穫する喜びを味あわせている。
- 一年中、いろいろな花が咲いているよう心がけている。

8. その他

教員の研究歴

№	研究員	開発委員
1	坂口嘉津子(44年)	坂口嘉津子(51年)



園 名 日野市立第四幼稚園
 所 在 地 日野市石田 431 - 6
 電 話 0425-83-3903
 順 路 立川-高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩5分
 園 児 数 男39名 女42名 計81名

園長氏名 釜池 博 主任氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園
 学級数2、 園児数41名
 教諭数3名、 用務員 1名
- 昭48. 4. 10 入園式挙行
 10. 29 落成式挙行
 11. 1 開園記念日と定める。
 11. 7 園庭の植樹完了
 12. 1 鉄骨製藤棚完成
- 昭49. 3. 20 第一回修了児46名
- 昭50. 1. 13 うさぎ小屋完成
- 昭51. 8. 30 各保育室前、テラス完成
- 昭53. 10. 11 観察池完成
- 昭54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
内 藤 達 夫	48.4.1～52.3.31
釜 池 博	52.4.1～現在

3. 地域の環境

国道20号線の日野橋架橋より東へ約1 Km入った、多摩川の土手近くにあつて、日野第4小学校に隣接している。前面に中央高速道路が東西に走り、西側の都道は交通量が多く、道巾も狭いため危険である。周辺にはまだ田畑が多く、桑畑や梨畑が続いている。農業用水路、農道なども子どもたちの遊び場ともなり、緑も多く、四季を通じて野外活動の場になっている。近年少しずつ宅地化がすすみ、自然破壊が懸念される。園児のほとんどは、四小学区域からの通園

であるが、二年保育が再開されてから、他の学区区域からも通園するようになり広がりを見せている。

4. 教育目標

- (1) 丈夫なからだで仲良く遊べる子ども
- (2) 意欲的に活動する子ども
- (3) ゆたかな心を持つ子ども

5. 本年度の指導の重点

- (1) 地域の自然環境を利用した野外活動を中心に、「見たり」「手を触れたり」「試したり」「世話をする」など、園児が直接体験として自然事業に関わる中で、豊かな感受性ややさしい心を育てるとともに、機敏性や体力増強等身体諸機能の発達を助長する。
- (2) 幼児の実態を的確に把握することに努め、発達段階に応じた、環境構成をくふうして、幼児の自発性を育てる。
- (3) ひとりひとりの幼児理解につとめ、個に応じた指導法をくふうする。

6. 本年度の研究課題

幼児の発達段階及び園の実態に即応した教育課程の編成 ー指導計画を中心にー

7. 本園の特色

- 河原遊び、草摘み、梨もぎなど、園の囲りの環境を利用した四季折々の経験や活動を通して「自然」に思う存分親しませている。
- 園内では小動物や草花の飼育栽培を通し科学的芽ばえを培うよう環境整備に配慮してい

る。

○場、種類、指導形態などを考慮した体育的な遊びを多くとり入れ、園児の健康増進や運動能力など高めるよう努力している。

○年長、年少児相互の交流の場を通し、遊びを伝達させ、経験や活動の巾を広げるとともに、年長児の中に、思いやりや優しさ、責任感、協調性などが育つように配慮している。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 %	研 究 員
1	平 向 邦 江 （ 4 9 年 ）



園 名 日野市立第五幼稚園
 所 在 地 日野市三沢175
 電 話 0425-92-0432
 順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ約13分
 園 児 数 男35名 女36名 計71名

園長氏名 古 谷 洋 太 主任氏名 上 野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される。
 学級数2、定員80名
 教諭3名、用務員1名
4. 15 第一回入園式挙行 園児数62名
11. 1 落成式を挙行 同日を開園記念日とする。
- 昭50. 1. 20 園庭拡張される。
- 昭51. 3. 20 第1回修了式 修了児70名
- 昭53. 4. 1 1学級増のためプレハブ教室増築、学級数3、定員120名
- 昭56. 4. 1 学級数2、定員80名
 4. 10 第八回入園式挙行、園児数71名

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
岡 本 省 吾	昭49.4.1～53.3.31
古 谷 洋 太	昭53.4.1～現在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲は田んぼ、畑が多く、自然に恵まれ、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

- 遊びに参加し、存分に楽しむ子
- 豊かな心を持ち、自分を素直に表現できる子
- 望ましい生活習慣を身につけた子

5. 本年度の指導の重点

- (1) 一人、ひとりの幼児が自ら遊びに取組み、存分に楽しみ、充実感、満足感を味わい、生き生きと活動できる環境構成の工夫につとめる。
- (2) 興味や、関心をもって、積極的に取組み、探求する心、感動する心をもった子どもに育つよう、教育内容、指導方法の検討を密にする。
- (3) 園外保育を多くとりいれ、自然の中で遊ぶ楽しさ、解放感を味あわせる。

6. 本年度の研究主題

—こどもの見方・育て方—
 個人記録、行動観察をとおして、ひとりひとりのこどもを理解し、育てていく。

7. 本園の特色

- 広い園庭をいかして、こどもたちの運動能力を高める遊びを多くとりいれている。
- 園庭に畑をつくり、こどもたちが自らの手で育て、収穫する喜びを味あわせている。

8. その他

内 訳	研 究 員	開発委員(現代化)
1	上野美津枝(53年)	上野美津枝(52年)



園 名 日野市立第六幼稚園

所 在 地 日野市程久保 876-2

電 話 0425-92-6330

順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスに乗車
高幡台団地で下車 徒歩5分

園 児 数 男 31 名 女 36 名 計 67 名

園長氏名 近 内 信 輝

主任氏名 鷺 見 照 子

1. 沿革の概要

- 昭 50. 9. 6 園舎新築工事起工
- 昭 51. 3. 19 園舎完成
 - 4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
鉄筋平家建園舎
学級数 2 定員 80 名
教諭 3 名 用務員 1 名
敷地面積 1,408 m²
園舎面積 473 m²
 - 4. 10 入園式挙行 園児数 73 名
- 昭 52. 3. 19 第 1 回修了児 80 名
- 昭 53. 3. 20 第 2 回修了児 75 名
 - 4. 1 1 学級増設 プレハブ教室 1
- 昭 54. 3. 19 第 3 回修了児 95 名
- 昭 55. 3. 22 第 4 回修了児 93 名
 - 4. 1 1 学級減プレハブ教室 1 撤去

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
手代木 和 夫	昭 51. 4. 1 ～ 54. 3. 31
近 内 信 輝	昭 54. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地との分岐点に位置し、園舎は緑の森林に囲まれた美しい眺めの場所にある。近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

8. 教職員の研究歴

内 訳	研 究 員	現代化委員	中心学校委員
1	鷺見照子(43 社会)	鷺見照子(49 自然)	鷺見照子(50～52 自然)

4. 教育目標

- (1) 明るく、元気なこども
- (2) やさしい心で助けあうこども
- (3) 最後までがんばるこども

5. 本年度の指導の重点

- (1) ひとりひとりの発達や特性を生かし、心身ともに調和のとれた幼児の育成につとめる。
- (2) 自然に親しみ、情感豊かな心の育成につとめる。
- (3) 運動遊び、当番活動などの実践を通し、最後までやりぬく心を育てる。

6. 本年度の研究主題

「ひとりひとりが遊びや活動にじゅうぶんとりくむための指導と環境構成」

7. 本園の特色

- (1) 在園する園児の約 85% が、高幡台団地、百草団地の公団住宅から通園している団地幼稚園である。入園前には、そのほとんどが、何らかの形で集団保育の経験をして、入園してくるため、集団へのとまどいや不安感が少なく、慣れている子が多い。
- (2) 園舎内外の環境の整備と、その効果的な活用法について力を注ぎ、家庭とも協力しながら園づくりに努力している。



学 校 名 日野市立日野第一小学校
 所 在 地 日野市日野2,800番地
 電 話 0425-81-0073・0061
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩6分
 児 童 数 男564名 女502名 計1,066名

校長氏名 村田 安 正 教頭氏名 大 島 昭 子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。第一大学区第八中学区第五十四番小学日野学校と称す。(現在の中央公民館のとなり。当時、神奈川県)
 明 45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎増改築、校地拡張
 昭 11. 4. 29 校旗寄贈(古谷剛次郎氏)
 昭 15. 日野2800番地(現在地)に土地900余坪、新校舎建築開始。(戦時中、軍徴用)
 昭 23. 4. 25 新校舎に移転完了
 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教育課程の研究発足
 昭 27. 3. 5 上記の研究発表
 昭 28. 8. 22 80周年記念プール竣工
 昭 38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日野第一小学校と校名を変更
 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育環境の整備」を主題として研究発足。
 8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼講堂として移管
 昭 44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育環境の整備について」発表
 5. 1 東京都学校花壇協力校となる。
 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置。5月17日開級。
 昭 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開始。校庭南側一部縮少。
 5. ビデオ一式購入
 昭 48. 4. 授業研究校。(以来現在まで)

- 昭 48. 11. 創立百周年記念祭
 昭 51. 4 非常階段(東側)設置
 8 給食室の改修。理科室の整備
 昭 52. 7 体育館の屋根塗装
 昭 53. 2 理科室ガス配管 電気配線
 3 家庭科室改修
 昭 54. 2 プール改修、塗装、非常階段設置(西)
 昭 55. 8 排水溝改修、受水槽設置

2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
1	日野 義順	明 6. 5～明 9. 7
2	国府田 学	明 9. 7～明 11. 3
3	小川 則要	明 11. 4～明 15. 3
4	鈴木 宗也	明 15. 4～明 16. 8
5	上野 兼松	明 16. 9～明 18. 3
6	二見友三郎	明 18. 4～明 19. 4
7	八木岡寛制	明 19. 5～明 21. 10
8	佐野 鶴松	明 21. 11～大 5. 3
9	古谷剛次郎	大 5. 4～大 12. 1
10	河合 平作	大 12. 2～大 15. 3
11	古谷剛次郎	大 15. 4～昭 11. 1
12	宮川 海三	昭 11. 2～昭 18. 3
13	貫井 半蔵	昭 18. 4～昭 23. 8
14	小池 嘉一	昭 23. 9～昭 34. 3
15	尾崎半次郎	昭 34. 4～昭 37. 3
16	五十嵐葆光	昭 37. 4～昭 38. 3
17	木村 清	昭 38. 4～昭 41. 3
18	吉田 辰次	昭 41. 4～昭 44. 3
19	下田 忍	昭 44. 4～昭 50. 3
20	溝呂木桂次	昭 50. 4～昭 55. 3
21	村田 安正	昭 55. 4～現 在

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅より近く、交通の便はよいが、甲州、川崎の両街道をかかえ、交通禍の危険をはらんでいる。校区内は、区画、地番の整理も十分でなく、近代都市への脱皮の途上にあるようである。最近、田畑は宅地造成、区画整理などにより宅地化しつつある。しかし今のところは、公害におそわれることもほとんどなく、自然の美しい心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、地域社会、児童の実態に則し、自主的に人格の完成につとめる児童の育成を旨とし、次のことを中心に展開する。

- (1) 科学性を身につける子ども
- (2) 豊かな心情をもつ子ども
- (3) つよい意志をそだてる子ども
- (4) じょうぶなからだをつくる子ども

年度の重点 意欲をもって、生き生きと生活する子どもの育成を旨とし、学校生活全般において、「よく聞く」態度を培い、自ら考え、判断する態度を確立させる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

- ア 各教科 授業研究を通して教材性の吟味と指導の適正に全力を注ぐこと。
指導要領改訂に伴う移行の趣旨、内容を着実に実践、指導すること。
- イ 道徳 人格を尊重し、協力しあえる集団づくりを実践的活動によって培う。
- ウ 特別活動 集団的な実践活動を通して、児童の所属する集団の一員としての役割を自覚し、集団の運営に進んで参加するように指導する。

(2) 生活指導の重点

○生活指導の基本的な考え方

全職員が学年、学級の枠をこえて、児童一人一人の個性、能力をよく理解、把握し、厳しさと温かさのある指導を進める。

根気強い指導の積み重ねと、創意を生かした活動によって、一人一人の児童が目標をもち、それなりの場と機会を得て、生活に「はり」を持たせるよう特に配慮する。

○集団の秩序と安全保持の立場から指導の徹底をはかる。

特に、次の五つのやくそくを重点とする。

- ① 人の話をよく聞く。② 整理整頓。③ 時間を守る。④ あいさつをする。⑤ 正しい歩行。

6. 本年度の研究主題 「基礎的、基本的内容をおさえた指導法の研究」

本校では、学校生活全般を通して「よく聞き、よく見る」態度を培うことに力を入れているがこのような態度や力は、学習のベースとなるものである。この上に立って、昨年度にひきつづき一教科を選び（理科）、基礎的な学習事項の系統性、発展性を明らかにし、各学年にふさわしい指導方法を、授業の実態に則して研究していく計画を進めている。今年度は、特に児童一人一人が意欲を持って学習に取り組む態度の育成に力を入れ、授業研究を通して個々の変容をはかっていく。

7. 本校の特色

- (1) 本校は、開校百七十年を誇る歴史と伝統のある学校である。父母の中にも卒業生が多く、地域の学

校に対する愛情や期待は大きい。古き良きものを愛し、大切に、地域との信頼、連帯を深めながら、更により校風を築くことに励んでいる。

- (2) 児童の心情は、すなおでまじめであり、落ちついた生活態度が育ってきつつある。
 (3) 自然園、教材園、菜園、花壇等、教育環境の充実をはかることが、現在の課題である。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	研究員	開発委員	研究生	道徳助言研	多摩地区 教育推進委
1		村田 安正 (37.社)	香川 善平 (54.社)	広沢 フサ子 (52.教育相談)	広沢 フサ子 (55.56)	古屋 光男 (54)
2		大島 昭子 (40.給)	小笠原 久雄 (55.特)			
3		古屋 光男 (37.理)				
4		佐々木 玄吾 (51.社)				
5		井尻 武子 (55.教育相談)				
6		有泉 徹郎 (54.国)				
7		小幡 建 (53.理)				
8		高木 映子 (50.教育方法)				
9		小笠原 久雄 (49.特)				
10		香川 善平 (49.特)				
11		武内 忠雄 (52.体)				



学 校 名 日野市立日野第二小学校
 所 在 地 日野市東豊田 2-14-1
 電 話 0425-81-0070・0851
 順 路 中央線豊田駅南口下車、徒歩10分
 京王線南平駅下車、徒歩15分
 児 童 数 男537名 女502名 計1,039名

校長氏名 鈴木英夫 教頭氏名 村松徹二

1. 沿革の概要

- 明 7. 3 神奈川県 9 大区 4 区 豊田村 尋常
 小学校として創設、戸長山口平大
 夫氏長屋を仮校舎にする。
 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等
 級に分け、上等小学校は満十歳十
 三歳までとする。
 明 12. 2 豊田 1 3 2 0 番地、善生寺の西隣
 に新校舎建築。
 明 26. 4 東京府に編入される。
 明 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。
 昭 17. 豊田 2 1 8 番地に新校舎建築、平
 屋建 6 教室。
 昭 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として再び
 独立
 昭 27. 12 第 1 次増築、2 階建 8 教室
 日野町立日野第二小学校と校名変
 更。
 昭 31. 4 第 2 次増築、2 階建 6 教室
 昭 38. 11 日野市立日野第二小学校と校名変
 更。
 昭 43. 6 第 1 次防音、4 階建校舎完成。
 昭 44. 3 第 2 次防音、4 階建校舎完成。
 昭 46. 2 体育館工事、落成。
 昭 49. 3 第 3 次防音、4 階建校舎完成。
 昭 49. 11 創立百周年記念式典を行う。
 昭 55. 3 1 階建校舎完成
 昭 56. 5 新プール完成

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
小山 茂平	昭 21. 6～27. 9
増島 光一	“ 27. 10～34. 3
小池 嘉一	“ 34. 4～38. 3
森久保惣次	“ 38. 4～42. 3
後藤 正太	“ 42. 4～47. 3
安積 利治	“ 47. 4～50. 3
永井 雅夫	“ 50. 4～53. 3
鈴木 英夫	“ 53. 4～現 在

3. 地域の環境

- ・本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であった。ところが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が 4%にも激減している。
- それでも、浅川を中心として田畑が広がり、屋上から見る景観はすぐれて美しい。
- ・また、ローラースケートのできる駒形公園、市民プール、市立中央図書館など、公共施設にも恵まれている。
- ・さらに保護者は、学校教育に対する関心が深い。登校時の交通指導を積極的に進めるなど、きわめて建設的であり、また、協力的である。
- ・一方、学校前の都道をはじめとして学区内の道路はどれも道幅がせまく、そのほとんどに歩道がない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

- からだも心も強く明るい子
- ◎みんなと仲よく力を合わせられる子(重点目標)
- よく考え進んで行動する子
- 責任をもって最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 人間尊重の精神に徹し、心身ともに豊かな子どもの育成をめざして
- ① 教育目標について学年に相応した具体目標をたて、学年会で話し合い徹底をはかる。
- ② 授業の研究を全職員の協力によって行い、主体的な学習態度を育て基礎学力の充実、思考力を伸ばす指導を徹底する。
- ③ 教育活動の全体をとおして、人権、人命の尊重の教育に徹し、豊かな情操を育て、体力の向上をはかる。
- ④ 教育活動全体に、児童を自主的に参加させるようくふうし、みんなと仲よく力を合わせられる子どもの育成をはかる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 指導内容を精選し、到達目標を改善し、指導の効果を高める。
- 主体的な学習態度を育て、基礎的な学力の向上をはかる。

イ. 道徳

- 愛情豊かな情操を育てる指導を行う。
- 教育目標と道徳の関連をはかり、効果的な指導を行う。

ウ. 特別活動

- 集団行動をとおして、心身の調和的発達をはかる。
- 児童会、学級会、委員会活動、クラブ活動、学校行事等をとおして、自主的、実践的な態度を育てる。

(2) その他の活動

- なわとび等の指導をとおして、体力の向上をはかり連帯感を育てる。
- 豊かな地域の自然を生かして、自然に親しむ態度の育成をはかる。
- 学級、学年、学校の諸行事に自主的に参加させ、みんなと仲よく楽しい学校生活ができる児童の育成をはかる。

(3) 生活指導・進路指導

- 集団生活をとおして、基本的生活習慣の育成をはかる。
- 避難訓練をとおして、防災指導の徹底をはかる。
- 事例研究等をとおして児童への共通理解を深め、協力して指導にあたる。

6. 本年度の研究主題

各教科の系統的学習到達目標の作成と実践

7. 本校の特色

本校は、開校106年の伝統を誇る由緒ある学校である。充実した百年祭もおわり、保護者や地域住民の理解と協力のもとに、これまでの歴史をだいにしながら、新たな伝統づくりに励んでいる。

児童の体位は標準程度であるが体力はすぐれている。これは学区内が自然環境に恵まれていることが大きな要因と考えられる。

児童の心情は、すなおであり、態度もまじめである。児童の知能の程度は、ほぼ正常分配曲線と同じ分布である。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	氏名	研究員	研究生	道徳助言研
1	鈴木英夫		29 社会	
2	村松徹二	41 理科		
3	内藤まつ代	52 道徳		54 まで
4	尾関博文	53 体育		



学 校 名 日野市立日野第三小学校
 所 在 地 日野市日野台2丁目1番地1号
 電 話 0425-81-0101・0850
 順 路 中央線日野駅下車徒歩15分
 児 童 数 男389名 女389名 計778名
 (内 ひばり24 訪問2)

校長氏名 竹 永 秀 雄

教頭氏名 津野田 昭 二

1. 沿革の概要

- 昭23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年340名、教室4、全学年2部授業
- 昭25. 6. 10 日野台小学校として独立する。児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
- 7. 18 校章制定
- 9. 19 4教室増築、教室数13、3年まで2部授業
- 昭27. 4. 15 4教室増築、教室数17、2年まで2部授業
- 6. 10 校歌制定
- 昭28. 6. 10 校地850坪拡張、6教室増築
教室数23、2部授業解消される。
- 昭30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築
教室数25、児童数869名。
- 昭33. 8. 3 給食調理室完成
- 8. 3 大小プール落成
- 昭34. 3. 校地1100坪拡張
- 昭35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。
- 昭37. 4. 5 校門完成
- 昭38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更。
- 昭39. 6. 2 放送室、用務員室完成
- 昭42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地1号
- 昭46. 2. 16 体育館落成式、校章制定
- 昭48. 4. 1 鉄筋新校舎9教室増築落成

- 昭50. 2. 25 鉄筋新校舎(5教室、職員室、校長室、事務室、放送室など)竣工
- 6. 1 校旗制定
- 昭54. 4. 1 東光寺小と分離
- 昭55. 11. 1 旧校舎渡り廊下撤去
- 昭56. 3. 31 文化財収蔵庫を設置

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
高野 忠 正 (事務取扱)	昭25. 6.10～26.3.12
高野 忠 正 (校長)	昭26. 3.13～27.9.30
尾崎 半次郎	昭27.10. 1～34.3.31
五十嵐 葆 光	昭34. 4. 1～37.3.31
塚 本 正	昭37. 4. 1～41.3.31
池 田 瑞 男	昭41. 4. 1～47.3.31
岩 井 庄 三	昭47. 4. 1～50.3.31
平 松 健太郎	昭50. 4. 1～54.3.31
竹 永 秀 雄	昭54. 4. 1～現在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔800mの日野台地を中心とした地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり、台地のため公害も少ない。

日野台地(学区)の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

本校の教育目標は憲法及び教育基本法の本質に基づいて民主的社會人としての人間形成の基礎づくりにある。

- じょうぶな子ども
- よく考える子ども
- 明るく思いやりのある子ども

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 主体的に学習する子どもの育成をめざす。
- 学校生活全般において言語環境を整え特に聞く態度を育てる。

イ. 道徳

- 人権生命尊重の教育を基本として次の点を特に推進する。
 - ・ 道徳的実践力を養う。
 - ・ 相手の立場に立って考え、行動する子どもを育てる。

ウ. 特別活動

- 児童活動、学校行事、学級指導との関連において指導の充実をはかる。
- 係活動や勤労活動に積極的に取り組む子どもを育てる。
- 児童の所属感連帯感を強め、協力してよりよい生活を築こうとする実践的態度を育てる。

(2) その他の活動

- みんなの時間を週一回一単位時間とり、いきいきとした楽しい教育の場とする。
- なかよし広場の時間を設け教師と児童、児童相互の交流をはかるとともに、体力の向上をめざす。
- 学級の日、学年の日をより有効に使用し、個別指導の徹底をはかる。
- 心障児学級との交流を深める。

(3) 生活指導・進路指導

- 基本的行動様式を身につけることを重視し、学級経営の中で指導の徹底をはかる。
- 心とからだの健康づくりに積極的に取り組み、実践する子どもを育てる。
- 相手の立場に立って考え、自ら実践する子どもを育てる。
- 家庭との連絡をとりつつ事故・非行防止につとめる。
- 児童の個性や能力の伸長をはかりながら、生涯教育の中で職業の大切さを理解させる。

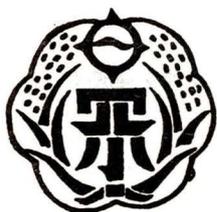
6. 本年度の研究主題

主体的に学習する子どもの育成をめざし、指導法の改善をはかる。

7. 本校の特色

児童は明るくすなおであるが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとする力がたりない。校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童の主体性を高める授業研究を実施している。また、心障学級（ひばり学級・訪問学級）があり、教育相談にも力を入れている。

多摩川をのぞみ、たんぼ、畑、丘陵などの緑にかこまれた自然環境に恵まれている。



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 四 小 学 校
 所 在 地 日 野 市 石 田 4 3 0 番 地
 電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 0 3 8 ・ 3 0 7 6
 順 路 日 野 駅 から 立 川 バ ス 南 詰 下 車 徒 歩 7 分
 立 川 駅 北 口 から 多 摩 動 物 公 園 行 バ ス 四 小 前
 下 車 徒 歩 2 分
 京 王 線 高 幡 不 動 から 立 川 北 口 行 バ ス 四 小 前
 下 車 徒 歩 2 分
 児 童 数 男 4 7 1 名 女 4 2 8 名 計 8 9 9 名

校 長 氏 名 釜 池 博 教 頭 氏 名 白 井 岩 吉

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 下田学舎
- 明 21. 11. 下田小学校
- 明 41. 3. 日野小学校下田分教場
- 昭 29. 8. 18 校地決定 4, 259. 14 坪
- 昭 30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開校
記念日とする。
- 12. 22 校章制定
- 12. 25 第三期校舎竣工
- 昭 31. 3. 5 校旗完成
- 昭 35. 7. 20 プール落成式並祝賀会
- 昭 36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を開校
記念日とする。
- 昭 39. 6. 10 校地拡張及防音校舎に改築が決
定
- 昭 40. 3. 31 防音校舎 9 教室完成
- 昭 41. 3. 31 防音校舎第 2 期工事完了
1 4 教室完成
- 7. 9 下田学舎創立 9 2 周年記念式典
- 昭 43. 11. 27 統計教育研究指定校として研究
発表会をする。(都、市指定校)
- 昭 45. 3. 31 体育館落成
防音校舎 7 教室増築完成
- 昭 54. 2. 13 1 年 2 教室掲示板張替
- 3. 20 受水槽改修、渡り廊下改修
- 3. 25 防火戸改修、非常放送装置設備、
老朽プレハブ撤去、学級増に伴

らプレハブ 3 教室増設

- 6. 20 教室スチール黒板 1 2 教室整備
- 6. 22 プールサイド全面コンクリート
塗装工事
- 昭 55. 2. 2 給食室作業場及び休憩室改修工
事
- 3. 31 プレハブ 2 教室増設
- 昭 55. 6. 20 プール内塗装工事
- 8. 29 黒板スチール 1 4 教室整備

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
浦 上 増太郎	昭 3 0. 3. 2 9 ～ 3 6. 3. 3 1
田 中 善 次	昭 3 6. 4. 1 ～ 4 4. 3. 3 1
森 巖	昭 4 4. 4. 1 ～ 4 7. 3. 3 1
内 藤 達 夫	昭 4 7. 4. 1 ～ 5 2. 3. 3 1
釜 池 博	昭 5 2. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯
 9 地区 1, 9 0 0 戸である。甲州街道から約 1 Km
 南にへだった多摩川あたりに位置し、田畑に囲
 まれ、前面に中央高速道路が走っている。米ど
 ころ日野の田園地帯と多摩川梨の産出地域であ
 る。

万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が進めら
 れ、田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

自ら考え正しく判断し、行動しうる児童の育成をめざして、次の教育目標を達成する。

- 心もからだも強い子
- すすんで勉強する子
- みんなと協力する子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 毎日の授業を大切に、授業の中にゆとりと充実を求め基礎的、基本的事項の学習内容を確実に身につけさせる。
- イ. 学校、校庭、地域の連携をはかり、道徳の実践的指導に力を入れる。
- ウ. 体力訓練、集団活動を通して、強靱な意志力、集団規律に対する観念の涵養につとめる。
- エ. 特別活動の一層の充実と創意ある教育活動の教育的効果を高める。
- オ. 学校生活に魅力をもち生甲斐をもって快活に明るい毎日をおくれる児童を育てる。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ① 具体的な学習経験を通して確実な知識を身につけさせ創造的な能力の育成をはかる。
- ② 自主的な学習態度を育て個々の児童の学力を高める指導法の改善をはかる。

イ. 道徳

- ① 自他の生命、人格を尊重し、健康の増進と安全の保持につとめさせる。
- ② 勤労を愛し、正しい勤労感を育て社会連帯意識を高める。

ウ. 特別活動

- ① 望ましい集団の育成をはかり、温い血の通いあった人間関係を育てる。
- ② 各種の活動計画と実践の工夫を図り自発的、自治的な活動の充実をはかる。

その他の活動

ア. 日課表、週時程表の中に、創意ある教育活動の時程を設け、実践活用する。

イ. ゆとりあるしかも充実した学校生活を体験させ、豊かな望ましい生活態度を涵養する。

生活指導・進路指導

ア. 学校生活をたのしくするために、きまりを大切に考え実践行動させる。

イ. 深く豊かな思いやりのある情操を涵養する。

ウ. 生活にゆとりをもたせ、生活に充実感をもってすごさせる。

6. 本年度の研究主題

集団の中で 生き生きと活動する 子ども

(学級づくりを中心に)

- (1) 学級づくりを通して、自らすすんで活動する子の育成をはかる。
- (2) 児童の創意を生かした主体的な実践活動により充実した学校生活を創造する。
- (3) 集団による活動の中で相互に協力し、援助しあうことによって好ましい人間関係を定着させる。

7. 本校の特色

本校は、昭和43年度に統計教育について研究発表を行い、その成果を更に深化拡充するために昭

和46年より子どもの自主性を生かす授業の研究をすすめている。

昭和54年度、本校の教育目標の改訂に取り組み、教師、父母、子どものみだ長所、短所を洗いだし、それぞれがどんなねがいをもっているかを調査した。その結果素直で明朗で活発である。

元気よく遊び、与えられた仕事はよくやるが、自主性に乏しく、集中力に欠ける。ねばり強さがなく、発表力に欠ける。特に、基本的生活習慣が身につけていない。という児童像がうかびでてきた。そこで、本校の教育課題として、自主性、集中力、耐性、発表力、自己実現、基本的生活習慣、心身の健康、創造性、社会連帯意識等の涵養としてとらえ前記の教育目標を設定した。

今年度は、特に、特別活動における児童の自主性を伸ばすことに力を入れると共に、体育的行事や日常生活における体力作りをもちあげ、心身両面における児童の主体性の伸長をめざして研究に取り組んでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳	中 央 研	研 究 歴	開 発 委 員	研 究 生
1		白井岩吉(42.体育)	白井岩吉(50.体育)	
2		田森備詮(48.国語)		
3		森田芳博(56.体育)		
4		吉村正三(56.特活)		



学 校 名 日野市立日野第五小学校
 所 在 地 日野市多摩平6-21-1
 電 話 0425-81-0407(代)・0445
 順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
 五小前にて下車
 甲州街道を通るバス(京王・都)に乗
 り日野自動車工場前下車
 児 童 数 男530名 女469名 計999名(病弱児7)

校長氏名 田 中 光 一 教頭氏名 荒 木 健 治

1. 沿革の概要

- 昭34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
- 4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
- 6. 8 第1期工事完成 新校舎にて授業開始(現在地)
- 昭35. 9. 13 第2期工事完成 2部授業解消
- 昭36. 5. 31 第3期工事完成
- 8. 28 大プール、小プール竣工
- 昭38. 2. 20 校章制定
- 昭39. 3. 11 校歌発表会
- 3. 25 校旗制定(卒業記念寄贈品)
- 昭40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
- 昭42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
- 昭43. 5. 20 体育館竣工
- 昭44. 3. 3 創立10周年記念式典
- 昭50. 4. 1 訪問学級設置
- 昭51. 3. 31 校舎全面的改修着手
- 昭54. 3. 31 校舎五教室改修
- 昭55. 3. 31 校舎五教室改修
- 昭56. 3. 31 校舎六教室改修(H校舎)
給食調理室サッシ改修(外側)

2. 歴代校長

氏 名	年 月	年 月
増 島 光 一	昭34. 4. 1	昭36. 3. 31
浦 上 増太郎	昭36. 4. 1	昭39. 3. 31
福 寿 文 雄	昭39. 4. 1	昭42. 3. 31
星 野 正 男	昭42. 4. 1	昭47. 3. 31
荒 井 一 男	昭47. 4. 1	昭49. 3. 31
三 井 知 夫	昭49. 4. 1	昭52. 3. 31
多 昌 直 之	昭52. 4. 1	昭56. 3. 31
田 中 光 一	昭56. 4. 1	現 在

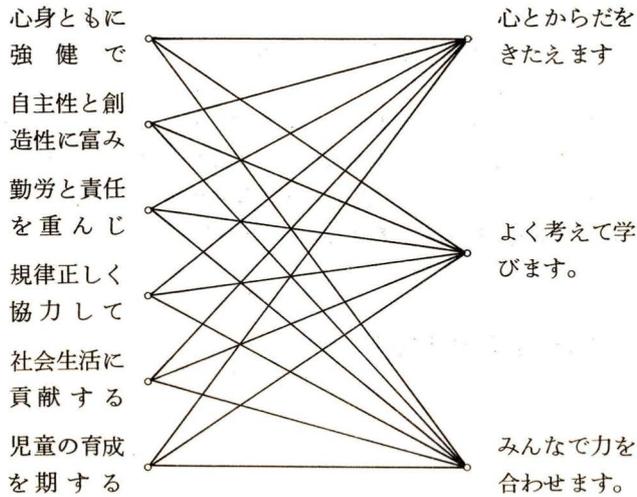
3. 地域の概況

昭和33年日本住宅公団により日野台地が開発され、多摩平団地が建設された。この一角に日野第五小学校が設置された。南は中央線、北は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場などが整備され立木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標〈最後までねばり強く〉



5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ひとりひとりの児童の基礎学力の伸長を期するために、指導計画、教材研究を十分行い児童の思考過程を重視しながら指導にあたる。
- 児童の興味や自発性を尊重し、協力して最後までねばり強く学習するように指導する。特に「学習意欲を高める指導法」の研究（国語）を通して主体的に学習にとりくむ児童を育成する。

イ 道徳

- 教育目標の具現化を図るため、特に本校児童の実態に即して、③整理、物・金銭の活用⑤自由、責任⑧ととう不屈⑨思慮、節度⑯親切⑳寛容㉑勤労の7項目を強調し、道徳的心情を深化して、道徳実践力のある児童の育成に努める。

ウ 特別活動

- 毎週一定時程に設定し、学級会活動、クラブ活動、委員会活動、学級指導の実践を通して、集団の一員としての自覚を深めるとともに、自主性、協力的態度をもった個性豊かな人間形成に努め、実践力を育成する。
- 代表委員会、各部委員会は、毎月一回ずつ設け、企画・調整・実践活動を行う。

(2) その他の活動

- 創意を生かした教育活動として、毎月一回1～2時間の集会（こいのぼり集会、おたのしみ集会など）を企画し、1年～6年のたてわり活動、兄弟学級の場を設定し、重点目標の達成を図る。
- 毎週月・火曜日を学級の日とし、各学級、学年、委員会で年間を見通した計画をたて、個人指導、教育相談、花づくり活動、集会活動などの活動をする。

(3) 生活指導・進路指導

- 教育目標の具現化を図るため毎学期の目標・具体化方法を設定し、計画・実践・評価のサイクルの中で徹底を図る。

- 冊子「五小の子どもの一日」の指導を通して、学校および社会生活における基本的行動様式や望ましい生活習慣を身につけさせる。
- 安全指導は年間3回、避難訓練は年間11回実施し、徹底を図る。美化デー安全点検日を毎月1回設け、校舎内外の清掃、危険個所の除去にあたる。
- 生活指導全体会を学期1回開き、生活指導、教育相談上の問題、指導について協議する。
- 進路指導については、児童の個性や能力の伸長、生涯教育などの立場から、中学進学、将来の希望、体力づくりなどについて、道徳、特別活動の中で具体的な場を設け指導する。（特に中学進学に対する不安を解消し、希望をもって進学するよう留意する。）

6. 本年度の研究主題

学習意欲を高める指導法の研究（特に国語を中心に）

7. 本校の特色

住宅公団の進出に伴い、新しい建築様式採用により建設された。当時は少ない児童数と広く静かな校地の中で理想的教育活動をめざしていた。爾来児童数の急増により、8回に亘る増改築を行ない様相は一変した。しかし、校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位のものも多く、肥満児は最近減少している。学校では、地域や児童の実態に即し、創意をもって日々実践し、成果をあげている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	中央研	研究員	開発委員	研究生
1		荒木健治(46.道徳)		
2		" (50.教育 経営)		
3		戸塚春男(52.図工)		



学 校 名 日野市立日野第六小学校
 所 在 地 日野市多摩平3丁目21番地
 電 話 0425-81-4686・0366
 順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩12分
 京王バス 小西六裏門下車3分
 児 童 数 男451名 女384名 計835名

校長氏名 光 永 久 夫 教頭氏名 津野田 昭 二

1. 沿革の概要

- 昭39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として
設置 児童1年～3年
7学級263名
- 昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校
14学級 児童数515名
教職員21名
9. 6 プール完成(6コース25m)
- 昭42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会
6. 19 南校舎(普通教室11、職員室、
校長室)完成
- 昭45. 2. 28 屋内体育館完成
3. 16 落成式挙行(学校、PTA共催)
- 昭47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付
3. 「児童の社会性育成の実践指導」
発表(市研究協力校)
4. 「考えさせる授業への手だて」
発足
- 昭49. 4. 南校舎3階増築(普通教室5、
音楽室、管理室4)
- 昭49. 5. 南門完成
10. 26 給食調理室増改築完成
- 昭50. 3. 18 49年度都愛鳥モデル校に指定
6. 28 開校十周年を祝う会
12. 22 東京都選挙管理委員会より感謝
状を受ける。永年選挙ポスター
コンクールに協力したため。
- 昭52. 1. 10 体育倉庫完成
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭54. 9. 北校舎非常階段完成

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月	年 月
加々美 良 英	昭40. 4. 1	昭43. 3. 31
峰 岸 敬次郎	昭43. 4. 1	昭46. 3. 31
新 海 圭 三	昭46. 4. 1	昭50. 3. 31
安 積 利 治	昭50. 4. 1	昭53. 3. 31
光 永 久 夫	昭53. 4. 1	現 在

3. 地域の環境

多摩平の台地に位置し、公団住宅と分譲住宅よりなり、近くに小西六、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的良好。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、児童の個性と能力に即して、次のことを目指して行なう。

- たくましい身体と心をきたえる
- 考えながら学ぶ
- みんなと仲よくする
- がんばりぬく心を養う
- しっかり働く
- 生きものを育てる

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 各教科の指導については「よくわかる、楽しい授業」をめざして、協力共同組織で

ある「ふれあう授業方式」による集団指導を一層強める。

- イ 「ゆとりのあるたっぷりした授業」をすすめるために校内研究組織を一層充実させ、学年での教材研究や準備、また教科研究部での「たての関係での研究」を基盤とする教科研究や授業研究を深める。
- ウ 「楽しい学校、規律ある生活」への実践活動として「こどもの創る学校」のとりくみを一層充実させ、行事やB土曜日活動を生き生きとしたこどもの主体的活動の場とする。また、その内容については、創造、総力、協力を主なねらいとする「こども祭り」づくりに力を入れる。
- エ 「体力づくり」や「やる気のある子」の育成をひきつづき推進させ定着をはかる。
- オ 以上の基本方針を科学的に実践するため、授業時数の配当・B土の設定、創意ある行事や教育活動を保障する時数設定は年間計画表として年度当初に定め、さらに教育活動の企画連絡・準備に関する組織構造と時間確保を確立しておく。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- 新教育課程2年めとしてなすべきカリキュラム編成上の諸問題に対して意欲的にとりくむ。
- 授業研究「考えさせる授業への手だて」の追求は整理と一般化のための検証を一層すすめ、10年めにふさわしい節をつくる。
- 意欲的な自主学習、つまづきをなくす授業の研究活動は学年を中心に充実させ、さらに「おくれた子」に対するとりくみは学年はもちろん全校規模のとりくみにする。

イ 道徳

- 児童の感動を尊重し、心豊かなおもいやりのある人間の育成をめざす。
- 進んで働き、労働のすばらしさを感じながら、がんばりぬく態度の育成と実践を尊重する。

ウ 特別活動

- 「子どもの創る学校」や「楽しい学校づくり」の集約である「こども祭り」づくりの具体的活動として、B土活動、代表委、各委員会活動、クラブ活動、そして学級学年活動を位置づけ、その中核推進組織として「こども祭実行委」を設置する。
- すべてのこどもの主体的とりくみを通して、生きる力を育て、そして意欲的、実践的な集団づくりをすすめる。また、その実践をそのまま公開する機会を持つ。

(2) その他の活動

- 指導組織の重点化・合理化のため委員会分担制と学年分担制の併用はひきつづきおこない、活動の効果をあげる。
- 授業へのゆとりと共に、それをささえる討論、準備学習を保障するゆとり、さらにこどもとすごすゆとり、この3つのゆとりの確保をみんなで努力する。

(3) 生活指導・進路指導

- 生活目標達成のため全校で力をあわせられるこどもを育てる。
- 学校・家庭・地域のきまりを大切に、自ら実践できる子を育てる。
- たくましい身体と心の発達をはかり、安全な生活のできる子を育てる。

そのため、指導組織としての「くらしの会」「特活委員会」「学年」のつながりを深め、全員へ具体的な事柄を示していく。また子どもの主体的な実践計画や運営のために特別活動と深いつながりをもたせる。

6. 本年度の研究課題

「考えさせる授業」への手だてとして過去の授業研究で提起されてきたものを整理しながら、一般化・普遍化のための検証をさらに試み、日常授業の質向上を図る。

7. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成の併なって新設された団地校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を作成し、学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 「考えさせる授業への手だて」を主題に、校内研修活動に力を入れている。授業研究を10年継続している。
- (6) 「ふれあう授業」として、全校で協力授業をしている。
- (7) こどもが創る楽しい学校づくりをめざして全校あげてとりくんでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	文部省教科等調査委員
1	光永久夫（44.教育方法）	光永久夫（39.道徳）



学 校 名 日野市立潤徳小学校
 所 在 地 日野市高幡402番地
 電 話 0425-91-0409・0410
 順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩5分
 児 童 数 男373名 女357名 計730名

校長氏名 黒 沢 保 雄 教頭氏名 高 橋 立 身

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。
- 明 11. 11 三沢701番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する。
- 明 20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。
- 明 26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更。
- 明 34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。
- 明 42. 5 昭景尋常小学校を廃止し、落川分校とする。
- 昭 16. 4 校名を潤徳国民学校と変更。
- 昭 22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更。
- 昭 27. 5 創立80周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成する。
- 昭 33. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更。
- 昭 34. 4 給食調理室完成
- 昭 37. 10 大・小プールならびに更衣室完成。
- 昭 38. 11 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）。
- 昭 40. 12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰される。
- 昭 41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止。
- 昭 44. 2 屋内体育館落成。
9 日野市立日野第八小学校分離開校。
- 昭 45. 4 日野市立百草台小学校分離開校。
- 昭 46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。
4 普通教室9教室、学校図書館（2教室分）増築。
- 昭 48. 5 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完

成。

- 昭 49. 4 日野市立南平小学校分離開校。
- 昭 52. 4 日野市立程久保小学校分離開校。
- 昭 55. 9 校庭整備完了。

2. 歴代校長

	氏 名	年 月～年 月
初	大塚四郎右衛門	創 立
2	覚 井 諦 暁	明 9. 12～明 11. 11
3	和 田 作 太 郎	明 11. 11～明 15. 11
4	土 方 喜 久 太 郎	明 15. 11～明 17. 2
5	宮 倉 保 五 郎	明 17. 2～明 19. 10
6	小 宮 太 之 助	明 19. 10～明 20. 10
7	須 崎 和 藏	明 20. 10～明 31. 2
8	小 宮 彌 一 郎	明 31. 2～明 34. 4
9	加 藤 菊 次 郎	明 34. 4～明 36. 1
10	佐 藤 良 輔	明 36. 1～明 42. 4
11	沖 倉 与 一	明 42. 4～明 43. 4
12	荒 木 田 大 夫	明 43. 5～明 45. 3
13	小 宮 彌 一 郎	明 45. 4～大 12. 3
14	平 杉 藏	大 12. 4～大 13. 3
15	矢 沢 久 司	大 13. 3～大 14. 9
16	小 泉 栄 一	大 14. 10～昭 3. 3
17	広 井 博 昭	昭 3. 4～昭 7. 9
18	重 松 正 顕	昭 7. 9～昭 14. 7
19	鈴 木 慶 藏	昭 14. 7～昭 22. 2
20	赤 坂 元 春	昭 22. 2～昭 27. 9
21	塚 本 正	昭 27. 10～昭 37. 3
22	尾 崎 半 次 郎	昭 37. 4～昭 41. 3
23	塚 本 正	昭 41. 4～昭 43. 3
24	溝 呂 木 桂 次	昭 43. 4～昭 47. 3
25	星 野 正 男	昭 47. 4～昭 51. 3
26	村 田 安 正	昭 51. 4～昭 55. 3
27	黒 沢 保 雄	昭 55. 4～現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するにいたった。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

4. 教育目標

敬	愛	◦わかるまで考える子
自	由	◦すすんではたらく子
勤	労	◦思いやりのある子
		◦からだをきたえる子

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 児童の実態に即して学年・学級経営の充実と教育内容、方法の改善に努める。
- ② 教育活動全体を通じて体を動かし、思考をはたらかせ感動を与える機会を多く設定する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

自ら進んで考え、創造性豊かな知性と技能を育てる。

- 基礎学力を重視し能力特性に応じた指導を行う。
- 健康でたくましい体力づくりをめざす。

イ 道徳

人間関係を深め相互に信頼と尊敬を得られるよう、道徳的心情と実践力を高める。

- 図書・視聴覚教材等の活用により道徳指導の充実を図る。
- 自然や人間を大切にし公共心を培い情操を豊かにする。

ウ 特別活動

協力実践的態度を育て個性の伸長と連帯意識を養う。

- 集会活動や学級会活動等児童の表現の場や機会を多くする。
- 共通の興味を追求するためのクラブ活動に時間をかけ充実する。

(2) その他の活動

児童や教師の創意により充実したしかもゆとりのある活動を推進する。

- 学級の時間を確保し、個性能力に応じた指導を徹底する。
- 勤労体験を豊かにする活動を重視し意欲的に物事をやりぬく態度を育成する。
- 朝の「読みきかせ」の時間を設定し言語環境を整え情操を高める。

(3) 生活指導・進路指導

望ましい基本的生活習慣を身につけさせるため指導体制を強化する。

- 問題行動、心身に障害のある児童の理解を深め適切な指導の実践に努める。
- 家庭や地域社会との連携を深め、心身ともに健全な児童の育成に努める。
- 健康安全に関する能力、習慣をつけるための指導を推進する。

6. 本年度の研究主題

自ら考え、進んで活動する子どもを育てるための指導法

7. 本校の特色

本校は開校百年余りの輝かしい伝統と歴史にはぐくまれ今日にいたっているが、近年地域の宅地造成による急激な児童数の増加はプレハブ教室の新增築、そして学校分離の繰り返しを余儀なくされ、落ち着くところのない悪条件のなかをよく全職員・父母一体となって克服してきた。

しかし昭和52年4月程久保小学校分離以来、大規模校としてのさまざまな困難な条件も解消され、適正規模のもとに着々とその成果をあげつつある。さらに教育目標を達成するため施設設備等教育諸条件の整備と教育内容の充実をめざし努力を傾注している。

8. その他（教職員研究歴）

№	中 央 研	研 究 員	研 究 生
1		黒沢保雄(39. 社会)	黒沢保雄(35. 社会)
2		小竹 章(47. 特活)	
3		小林繁人(53. 教育 課題)	
4			



学 校 名 日野市立平山小学校
 所 在 地 日野市平山4-8-6
 電 話 0425-91-4123・0512
 順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩7分
 児 童 数 男445名 女403名 計848名

校長氏名 林 元美 教頭氏名 石川保徳

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といひ、修業年限は8カ年）
- 明 17. 平山598番地に新築移転
校名を平山尋常小学校と改める。
- 明 35. 5 校名を平山尋常高等小学校と改める。
- 明 41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする。
- 昭 16. 4 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める。
- 昭 22. 4 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める。
- 昭 32. 2 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める。
- 昭 38. 11 市制施行により日野市立平山小学校と改める。
- 昭 42. 5 平山4-8-6に移転する。
- 昭 46. 3 滝合小の新設に伴う学区変更、平山小学区は浅川の南側の地区となる。
- 昭 53. 4 平山台小の新設に伴う学区変更、平山苑と京王住宅地区を分離する。
- 昭 54. 9 校庭整地

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
梁 義 伯	明 6. 5 ～ 明 12. 1
大 沢 教之助	明 12. 1 ～ 明 20. 3
石 井 芳 丸	明 20. 4 ～ 明 30. 5
吉 永 信 丸	明 30. 6 ～ 明 35. 5
小 宮 彌一郎	明 35. 6 ～ 明 45. 3
古 屋 障 司	明 45. 4 ～ 大 2. 5

勝 又 房太郎	大 2. 5 ～ 大 4. 5
平 杉 蔵	大 4. 6 ～ 大 9. 3
上 田 富 大	大 9. 4 ～ 大 15. 3
杉 山喜知太郎	昭 15. 4 ～ 昭 6. 3
石 川 雄 丸	昭 6. 4 ～ 昭 11. 3
鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ～ 昭 13. 3
石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ～ 昭 21. 3
飯 塚 節 三	昭 21. 3 ～ 昭 22. 3
田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ～ 昭 28. 3
森久保 惣 治	昭 28. 4 ～ 昭 34. 3
高 橋 本 義	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
加々美 良 英	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
後 藤 正 太	昭 40. 4 ～ 昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4 ～ 昭 47. 3
小 野 晁	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
深 沢 真 人	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
林 元 美	昭 55. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれた西は八王子市に接する平地、田んぼ、畑等の農地も残っており、自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年、団地、都営住宅、造成地住宅等市街化されつつあり、他地域からの転入者が多く、児童数も増加している。

4. 教育目標

- (1) 健康安全教育目標 ① 健康で明るい子ども

- (2) 学力の充実 ② よく考えてさいごまでやりぬく子
 (3) 自主性の育成 ③ 進んでよいことをする子ども
 ④ 力を合わせて働くこども

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- 十分な教材研究のもとに楽しく力のつく授業をする。
- 重点研究を通して指導法にくふうを加え、効率のよい授業をする。

イ 道徳

- 学校生活の中で、望ましい道徳的心情、態度、実践力を育てる。
- 道徳の時間を充実し、実践的態度を育てる。

ウ 特別活動

- 行事、学級指導をとおり、安全教育の指導をすすめる。
- 児童会活動、クラブ活動、委員会活動をとおして自主性を育て、協力する態度を育てる。

(2) その他の活動

- 子どもまつり、地域の特性を生かした田植え、稲刈り等の生産的行事をする。
- 基礎学力の定着、ひとりひとりの児童への多面的な指導のため、「まとめの時間」を設定する。

(3) 生活指導・進路指導

- ひとりひとりの児童の個性を生かし、よりよい学校生活の実現をはかる。
- 安全教育には特に留意し、児童ひとりひとりがよく考えて行動するよう指導する。

6. 本年度の研究主題 ひとりひとりを生かす指導をめざして

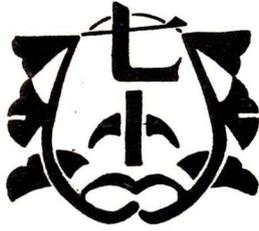
評価基準を明確にし、ひとりひとりが確かな理解が得られるように授業研究を通して実現をめざす。

7. 本校の特色

本校は、南に多摩丘陵を目前にし、北に浅川の流れがあり、田園に囲まれ、豊かな自然環境に恵まれている。また、校内には、131㎡の大花だん、教材園、約100㎡の芝生園と約200㎡の田んぼ(借用)がある。本校では、これらの環境を最大限に生かし、教科、領域の指導を通して情操豊かな児童の育成に努めている。

8. その他(教職員の研究歴)

内訳 No	研 究 員	現 代 化 委 員
1	小坂橋五佐男(45. 算数)	小坂橋五佐男(50. 算数)
2	大上 琢磨(54. 特活)	



学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明上区画整理地域内106
電 話 0425-83-3907・3908
順 路 国電 中央線日野駅下車 徒歩約10分
児 童 数 男385名 女315名 計700名

校長氏名 梅田 茂 教頭氏名 上山 洋一郎

1. 沿革の概要

- 昭48. 4 ○日野市立日野第七小学校として開校。12学級 児童384名
○トラックを除く運動場全面に洋芝の植付け。
6 ○校章制定
9 ○校旗制定
12 ○校歌制定
- 昭49. 3 ○日野市立日野第七小学校「校舎・体育館落成記念式」及び「校歌」発表会
○3月1日を開校記念日に制定
○第1回卒業式 45名卒業
4 ○開校2年めの入学児童77名
- 昭52. 4 ○開校5年め 入学児79名・13学級となる。教室不足のため、プレハブ2教室増設
10 ○校舎の増築工事着工
- 昭53. 4 ○学級数14となる。
5 ○増築工事竣工 普通教室6 図書室1教室
- 昭54. 4 ○第7回入学児童93名
15学級となる。職員23名
- 昭55. 4 ○第8回入学児童111名
17学級となる。職員24名
- 昭56. 4 ○第9回入学児童128名
○転入児童2年以上82名
- 昭56. 4 ○18学級となる。職員25名

2. 歴代校長

	氏 名	年 月～年 月
初代	星野 武之	48. 4. 1～52. 3. 31
2代	上部 正彦	52. 4. 1～56. 3. 31
3代	梅田 茂	56. 4. 1～現在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から線路ぞいに徒歩で10分。日野台地に設置されている。本校の所在地は、日野市神明上の区画整理地域内の呼称が示すように、校舎の周囲は、住宅が建ち始めたために、昔ほどの緑は眺められなくなった。

屋上に登ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地をへだてて富士の秀麗が眺められ、この日野台地には、遺跡が発掘されるという、まことに環境に恵まれた場所に設置されている。

本校の児童の約72%が中央線の線路を経だてた西側の住宅地に居住している。この地域は、ここ10年余りの間に、旧甲州街道ぞいに急増設されてきた、新興住宅地帯である。都営住宅・分譲住宅が主である。尚本校の周囲には、大学・市庁舎・消防署と、子どもが学習するに最適の地域として恵まれている。しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通量のピークが、児童の登校時刻と合致し、しかも中央をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

4. 教育目標

生命の尊重を基調とし、仲よく健康で、豊かな個性と能力をもった子どもを育成する。

- みんなと仲よくがんばります。
- 心とからだをきたえます。
- 深く考えて学びます。
- いきものを、だいにそだてます。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 基礎的・基本的事項を身につけさせ、学習活動にゆとりをもたせる。
- 児童の豊かな発想を育てる学習指導法をくふうする。
- 教材教具の効果的な整備活用を図る。

(2) 道徳

- 実践につながる道徳性を育てる。
- 特設時間の指導を充実させ、心情の陶やを図る。
- 全教育活動を通して道徳指導の充実を図る。

(3) 特別活動

学級会活動を基盤とし、委員会活動・クラブ活動及び創意ある教育活動へのひとりひとりの参加意識を高めることにより、児童に楽しく、充実した学校生活をおくらせる。

(4) その他の活動

創意ある教育活動の推進にくふうを加え、児童の連帯意識を育てる。

- 特別活動との関連を図りながら、七小児童の一員としての意識を高める。
- 地区別や、兄弟学級別による遊びの時間を特設し、児童教師相互の親密化を図る。
- 校庭の芝の手入れを行うことによって、勤労意欲を育てるとともに芝に対する愛着を深める。

(5) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- 校内・校外の安全指導の徹底を図る。
- 望ましい生活習慣（特に、ことばづかい・物を大切にすること）の育成に努める。
- 望ましい友達関係の育成に努める。
- 児童の健全育成を図るよう生活指導の年間計画を検討する。

イ 進路指導

- 児童の特性の発見につとめ、これを伸長するとともに、将来、国家社会及び人類の発展に寄与できる人間を育成する。

6. 本年度の研究主題

発想を豊かにする指導法の工夫（理科）

7. 本校の特色

(1) 小規模校の特性を生かした学校づくりを進める。

- 知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進めるために、特に本年度は教育課程の編成にあたって、教育調査の内容をどのように位置づけるか配慮した。その一つとして、児童相互・児童及び教師・教師相互の交流を、創意ある教育活動を通して深める週時程の編成をする。

(2) 学校環境をより充実させる。

- 本校は開校9年めを迎えるが、学習環境及び自然環境の整った七小をより充実させるために、環境委員会を中心に本校の将来あるべきビジョンの設計と、環境保全のための全体計画を作成し、本年度より実施に取り組むことになった。

(3) 校庭緑化の一環として、校庭の芝の保全と補植に努める。

- 芝で逆立ちする子、寝ころんで天を仰ぐ子、読書する子、ときには、緑のマットとなり、緑のジュータンとなって子どもたちの心をほぐくんでいる。これをいっそう深めるために、今年度は、

創意ある教育活動の一環として、学年を解体した縦割りの組織の中で、児童と教師が協力しあって、芝の保全と補植を進める計画を立てた。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 /No	中央研	研究生	研究員	開発委員	道徳助言研		その他
1			齊藤 イク (38)	長田 正夫 (52)	上山洋一郎 (43)		上山洋一郎 (海外48)
2			上山洋一郎 (42)	秋山 憲一 (54)	平山 毅 (39)		
3			平山 毅 (48)		平山 毅 (55)		
4			長田 正夫 (50)				
5			草刈 喜一 (51)				
6			秋山 憲一 (51)				
7			小室 恒 (53)				



学 校 名 日野市立日野第八小学校
 所 在 地 日野市三沢 200
 電 話 0425-91-2411・2412
 順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩 15 分
 児 童 数 男 434 名 女 415 名 計 849 名

校長氏名 古 谷 洋 太 教頭氏名 山 口 武 彦

1. 沿革の概要

- 昭 44. 1. 2 開設が決定。工事に着手。
 4. 1 八小関係の教員並に児童を分離し、授業を開始。
 8. 16 日野第八小学校開校。
 校長 金子武夫 教頭 長井新次郎着任
 教諭 16 名 事務主事 1 名が補せられる。
 9. 1 415 名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のため。そのまま潤徳小で授業を行う。
 11. 1 開校式を挙行。開校記念日と決定。
 11. 25 校舎落成祝賀式挙行。
- 昭 45. 1. 15 公募により校章決定。
 4. 1 14 学級となり、プレハブ 2 教室増築。
 7. 15 校旗ができる。
 7. 16 25m 6 コースのプールが完成し、プール開きを行う。
 9. 7 校歌完成。作詩 米津千之、作曲 渡辺浦人。
- 昭 46. 4. 1 15 学級 プレハブ教室増築。
 6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する。
 9. 15 体育館工事着工。
- 昭 47. 2. 15 体育館落成式を挙行する。
 4. 1 プレハブ 2 教室増築。
 プレハブ 5 教室使用。
 6. 20 西武百草団地入居のため 250 名の児童転入。
- 昭 48. 3. 本校舎 8 教室の増築完了。
 5. 校地前程久保川の工事完了。
- 昭 49. 3. 1 校門が完成。
 4. 1 学級増のため、プレハブ 5 教室を使用。
 8. 15 プレハブ 2 教室が増設され、図書室、教材室として使用。
 9. 10 都市水道に切替え。
- 昭 50. 1. 20 校地拡張。西門整備完了。
 2. 20 第 3 期増築完了。普通教室 6、教材室 2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板。
 7. 15 プール市水切替工事完了。
 10. 25 体育館床塗替え。
 12. 20 砂防 (10×8m) 完成。
- 昭 52. 4. 16 プレハブ教室、調理室改修工事完了。
- 昭 53. 4. 15 プレハブ 2 階建工事完了。
 教室 8、図書室、音楽室として使用。
- 昭 54. 3. 31 プレハブ 2 階建 2 教室増築工事完了。
 11. 17 開校十周年記念式典。
- 昭 55. 3. 31 三沢台小学校を分離。

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
金 子 武 夫	昭 44. 8 ～ 48. 3
岡 本 省 吾	昭 48. 4 ～ 53. 3
古 谷 洋 太	昭 53. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の中間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で40分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲がりくねっていて危険である。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、次のような子どもを育成する。

(ア) 健康でたくましい子

(イ) 深く考えやりぬく子

(ウ) 美しく豊かな心の子

(エ) 力をあわせはげみあう子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

地域や学校の実態に配慮し、児童の発達の段階に即して次の基本方針により全教育活動や日常生活の指導を行う。

(ア) 人間尊重の精神に基き、具体的事例を通してひとりひとりの人権を尊重し合い、相互の人間関係を深めることの大切さを学びとらせる。

(イ) 各学年毎の指導目標を明確化し、評価を適正に行いながらゆとりがあり、しかも充実した学習を進める。

(ウ) 体力の向上、健康の増進を図るため月、季節、学期ごとにバラエティーのある体育的活動を実施し実践的な態度を培う。

(エ) 理科的な学習環境を整備し、教材の有効な活用をはかる。

(オ) 交通や非常事態に際する安全行動や学校生活における基本的行動様式をしっかりと身につけさせる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

○話を聞き本を読み自然やものの美しさふしぎさに感動する心を育てる。

○深く広くものごとを考えるために、その方法を身につけ粘り強く取り組む姿勢をつくる。

イ 道徳

○家族・友だちや多摩の自然を愛し生命をいとおしむ心情を高める。

○全教育活動を通じて友だちと協力し合い、思いやりや公平公正な態度を養う。

ウ 特別活動

○学級・学年・学校の一員としての自覚を高め、さまざまな活動の計画、実践、反省をさせながら四季おりおりの学校生活を楽しむ。

○学校行事や児童活動に全力を投入させ、自主性・協調性・創造性・実行力を強める。

(2) その他の活動(特活を含む)

○図工・音楽などを主とした創造活動の日を設け、児童の個性、特性を伸ばす。

○季節に合ったスポーツ活動を推進し心身を鍛える。

○社会的行事に関連した活動を通じて人間性を豊かにする。

(3) 生活指導・進路指導

- 教育相談を充実し、正しい生活や行動への意欲を高める。
- もちものへの記名・忘れものをなくす・学校のきまりを守る・明るいあいさつ・正しいことばづかい等の生活習慣を確立する。
- 安全日の設定や日常清掃活動等により環境美化に努める。
- 勤労について正しく認識し、人間らしい生き方に興味を持つ。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を高める指導法の研究」－理科学習を通して－

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。そこで、広い意味での教育環境づくりに力を入れている。
- ② 教師手づくりの各種遊具を使用しての体育活動や遊びを通して、子どもの体力づくりや創造性を伸ばしている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	中央研	研究員	開発委員	研究生
1	山口 武彦(49.)	古谷 洋太(45.函)		山口 武彦(47.社)
2		山口 武彦(46.社)		石川 耀子(53.体)
3		西田 陽(52.国)		
4		波多野 担(49.社)		



学 校 名 日 野 市 立 百 草 台 小 学 校
 所 在 地 日 野 市 百 草 999
 電 話 0425-91-0997~0998
 順 路 京 王 線 高 幡 不 動 駅 よ り 百 草 団 地 行 き バ ス
 に て 5 分、百 草 セ ン タ ー 下 車
 児 童 数 男 372 名 女 358 名 計 730 名

校長氏名 竹 内 音 治 教頭氏名 大 熊 喜 一

1, 沿革の概要

- | | |
|--|--|
| <p>昭 44. 8. 12 校舎新築起工。</p> <p>12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小学校内で授業開始。</p> <p>昭 45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校する。学級数 8、児童数 118、教職員 16、市職員 3。</p> <p>6. 1 開校式挙行、6 月 1 日を開校記念日とする。</p> <p>9. 1 高幡台団地の入居により児童数増加、296 名となる。学級数 11、教職員 17。</p> <p>昭 46. 3. 8 校旗・校歌発表会を開き、3 月 8 日を制定記念日とする。</p> <p>3. 25 第 1 回卒業式、卒業生 34 名。</p> <p>4. 1 社会増による教室不足のためプレハブ 6 教室増設。</p> <p>4. 6 児童数 604、学級数 16、教職員 23、市職員 3。</p> <p>4. 30 校舎北側の埋立工事完了。</p> <p>7. 13 プール工事完了、大プール、小プール、シャワー、更衣室、機械室竣工。</p> <p>12. 15 体育館新築工事着工。</p> <p>昭 47. 1. 31 給食調理室および周辺の舗装工事竣工。</p> <p>2. 12 調理室火入れ式、調理開始。</p> <p>3. 25 第 2 回卒業式、卒業生 44 名。</p> <p>3. 31 高幡台小学校の新設にともなう学区変更により、高幡台団地お</p> | <p>よび周辺の児童は、高幡台小学校へ転校。</p> <p>昭 47. 4. 1 高幡台小学校新設により、児童数 416、学級数 12、教職員 18 となる。</p> <p>6. 17 体育館落成式挙行。</p> <p>昭 48. 3. 24 第 3 回卒業式、卒業生 43 名。</p> <p>4. 6 児童数 463、学級数 13、教職員 20。</p> <p>9. 26 校舎新築工事開始。</p> <p>昭 49. 3. 25 第 4 回卒業式、卒業生 39 名。</p> <p>3. 31 増築 7 教室竣工。</p> <p>4. 6 児童数 541、学級数 16、教職員 24。</p> <p>昭 50. 3. 25 第 5 回卒業式、卒業生 48 名。</p> <p>4. 7 児童数 613、学級数 17、教職員 25。</p> <p>昭 51. 3. 25 第 6 回卒業式、卒業生 56 名。</p> <p>4. 1 増築校舎完成。(普通教室 7、図書室 1)</p> <p>4. 6 児童数 700、学級数 17、教職員 25。</p> <p>昭 52. 3. 25 第 7 回卒業式、卒業生 77 名。</p> <p>4. 6 児童数 738、学級数 18、教職員 26。</p> <p>昭 53. 3. 25 第 8 回卒業式、卒業生 79 名。</p> <p>4. 6 児童数 779、学級数 20、教職員 28。</p> <p>昭 54. 3. 24 第 9 回卒業式、卒業生 67 名。</p> <p>4. 6 児童数 799、学級数 21、教職員 30。</p> |
|--|--|

昭54. 5. 31 開校10周年記念式挙行、記念誌・タイムカプセル作成。

10. 31 校庭南側の階段上に正門落成。

昭55. 3. 25 第10回卒業式、卒業生101名。

4. 1 学区変更により、梅が丘地区の児童45名が日野第八小学校より転入。

4. 7 児童数780、学級数21、教職員28、講師1。

昭56. 3. 25 第11回卒業式、卒業生95名

4. 7 児童数730、学級数18、教職員25。

2. 歴代校長

	氏名	年月～年月
初代	岡本省吾	45. 4. 1～48. 3. 31
2代	村田安正	48. 4. 1～51. 3. 31
3代	田中春男	51. 4. 1～55. 3. 31
4代	竹内音治	55. 4. 1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された百草団地と梅が丘団地とが主な学区域である。団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑が豊かな、静かで変化に富んだ高台である。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向うには、日野市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには、多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には、都塵をさけたリクレーションの人々にぎわう。

自然にいだかれた、よい環境といえよう。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

- 元気な子ども
- 考える子ども
- 働く子ども
- 助け合う子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育目標の意義及び具体的実践について、教師の共通理解を深める。
- ② 体力の向上をめざし、子ども自らがきたえる場を設定していく。
- ③ 基礎的・基本的内容をしっかりと身につけ、これをもとに考える力を育てるため、子どもの心の動きや個性・能力を大切に、子どもの側に立った授業の充実をはかる。
- ④ 教育目標を総合的に達成するために、創意を生かした教育活動及び学級指導の時間の充実をはかる。
- ⑤ 教育目標の父母家庭への浸透をはかり、理解を深めると共に、子どもの家庭の中での実践化について協力を求める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

児童自らが考え、意欲的にとりくむ学習をめざして

- 創意ある発問や課題の提示をはかる。
- 体験や行動をとり入れた学習を大切にしていく。

- 教材や教具の活用をはかる。
- 教職員の協力による授業研究をすすめる。

イ 道 徳

道徳の時間だけでなく、学校生活全体の中から問題をほりおこし、ひとりひとりの子どもの心情にはたらきかけ、実践化につながる指導をすすめる。

ウ 特別活動

- 児童の創意や発想を大切に、児童が自発的に参加する学年や学校の行事を積極的に企画推進する。
- 役員会を中心とし、児童総会、代表委員会、学級会、各種委員会など相互に連絡協力し合わせることによって、指導効果を高める。

(2) その他の活動

- 月曜日5校時(1、2年生)、6校時(3年生以上)を学年学級を中心とした創意ある教育活動の時間とし、学年または学級内の協力による児童の自主的な活動をすすめる。
- 隔週木曜日の6校時(必要に応じて5校時)を全校児童を対象とした創意ある教育活動の時間とし、ゆたかな人間性の育成を目ざす児童の自主的な活動をすすめる。
- 体力増強に重点をおき、児童自らが自分の目標をもって達成への努力を重ねるようにしむけていく。

(3) 生活指導・進路指導

- 学校生活全体をととして集団生活のきまりを身につけさせ、秩序ある安全な生活と協力の心を育てる。
- 学校環境の美化、清掃活動への積極的参加をととして、公共物を大切にす態度や勤労の精神を養う。
- 基本的生活習慣を身につけさせ、より良い社会人となることをめざす。
- 指導を一過性のもとなせず、評価と見届けを大切に、成就感、満足感を味わわせるとともに、定着化をはかる。

6. 本年度の研究課題

「ひとりひとりを生き生きと学習にとりくませる授業の研究」

7. 本校の特色

在学児童のおよそ90パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専用の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高い。しかし、反面学区が狭く、変化を求め土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

8. その他(教職員研究歴)

№	中 央 研	研 究 員	研 究 生
1		竹内 音治(42.社会)	大熊 喜一(39.生活指導)
2		高倉 教行(51.特活)	
3		佐藤カズ子(52.図工)	
4		佐々木加津子(49.保健)	



学 校 名 日野市立滝合小学校
所 在 地 日野市西平山2-3-1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩10分
児 童 数 男541名 女523名 計1,064名

校長氏名 鈴木敏郎 教頭氏名 長谷川鉄夫

1. 沿革の概要

- 昭44. 12. 26 敷地購入(仮称第11小学校)
昭46. 3. 31 南校舎(A棟)完成。プレハブ校舎仮設使用。
4. 1 日野市立滝合小学校開校。
20学級編成・教職員27名
市職員6名。
4. 6 第1回入学式・始業式
4. 30 運動場体育固定施設の設置
5. 30 北校舎(B棟)完成
6. 1 開校記念日
6. 5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成
6. 30 給食室竣工
7. 1 学校給食開始
7. 20 プール竣工
10. 1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
12. 1 校章、校歌制定
昭47. 1. 21 エルサルバドル国教育局次長視察
2. 20 体育館・校内通路完成
2. 25 落成式
3. 25 第1回卒業式(卒業生78名)
昭50. 2. 18 体力作り研究発表会
4.~ 校庭植樹250本
昭51. 8. 動物園完成
3. 旭が丘小分離(児童201名)
4. 校地内に学童保育所完成
6. プール補修工事
昭53. 9. 26 校庭全面整備完了
11. 排水工事・避難設備工事完成

2. 歴代校長

	氏 名	年 月~年 月
1	峰 岸 敬次郎	昭46. 4 ~ 50. 3
2	鈴 木 英 夫	昭50. 4 ~ 53. 3
3	梅 田 茂	昭53. 4 ~ 56. 3
4	鈴 木 敏 郎	昭56. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南に浅川が流れ、その向うに緑の多摩丘陵が続き、周囲に田畑が多く、屋敷森等ものこる田園の中に位置している。小鳥のさえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥もみられる。

しかし、学校新設にみられるように、数多くの住宅が建ち児童数も急増して、日野市の学校の中でも一二といわれるほどになっている。学区は、中央線の南側、豊田駅の近くまでと広く、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、間道に自動車の通過もみられ、交通事故の危険も増大しつつある。

4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基づき、教育委員会の基本方針をふまえ、地域の特性・児童の実態に基づき次の目標をめざして行なう。

- ア 健康でたくましい子ども
- イ 勉強に努力する子ども
- ウ 進んで協力し実行する子ども
- エ 生きものを大切にする子ども

○ 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標をさらに具体化し、日常の指導に生かしていくために、学年・学級の実態・発達に即した具体的目標を設定し、この精神を生かし本年度の指導の重点とあわせて日々の実践活動をすすめる。

ひとりひとりの児童の理解に努め、学習指導にあたっては、立案・反省を確実にし指導法を工夫し、児童自身に学習目標を持たせ、主体的・積極的・継続的に学習に取り組ませるよう努める。

また、基本的・自主的生活態度を身につけるよう学校生活全般にわたり全職員をあげ全児童の指導に努める。

ひとりひとりの教師の特性を生かし、協力的で創意あふれる指導と、学年・学級経営の充実をはかる。

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

○ 各教科の目標をふまえて計画を密にして指導にあたる。さらに児童が学習に対してゆとりを持って問題の解決にあたるよう十分に配慮する。そのために教材・教具・各種の教育機器を効果的に活用し創意ある指導法の研究をする。

○ 子どもの主体性を伸ばす指導法の研究を重点的に取り上げ、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。さらに学年を中心にして指導法の改善に努める。

イ 道徳

○ 人命はもちろん動植物の生命を尊重し、それに基づく健康の増進と安全教育に努力する。

○ 互いに信頼し合い人間尊重の精神に基づいた実践活動を重視する。

○ やさしい心を持って、動物・植物はもちろん自然を愛護する態度の育成に努める。

ウ 特別活動

○ 生活指導・保健・給食指導と緊密な連絡をとり、職員共通理解の上にならぬ活動をすすめる。

○ 教育目標を達成するため、個々の児童の自主性・創造性を重視、尊重しながら積極性を高め連帯意識の昂揚をはかるとともに実践的な態度の育成に努める。

(2) その他の活動

○ 学校として、児童の体位・体力の向上をめざしての時間を設定し、施設・遊具の活用と管理を充実し児童ひとりひとりが課題を持って自己の目標達成に努力するよう努める。

○ 学年・学級裁量の時間をとおして、基礎学力の充実をはかり、体力向上・集会活動を実施して学校生活の充実をはかる。

(3) 生活指導・進路指導

○ 学校のきまりを日々の教育活動に結びつけ家庭と密接な連絡をとって日常生活の基本的な行動様式の育成をはかる。

○ 交通・避難の訓練行事や学校の全教育活動をとおして安全に対する意識や理解を深め自他の生命を尊重する実践的な態度を培う。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を伸ばす指導法の研究」 —保健・教科体育・生活化—

一般的に今の子どもは、体格はよくなったが体力は劣るといわれている。本校5・6年生のスポーツテストの結果をみても、日野市のその平均値より劣っている種目が多い。これは、学校をとりま

く環境の都市化・生活様式の変化・遊び時間の減少・遊びの内容の変化など様々な要因が考えられる。現在、体育指導は週三回、教科指導として行われている。クラブ活動やその他の領域の指導を含め、体力が低いといわれている現代の子どもたちの体力を高めるためには十分とはいえない。もちろん学校だけで子どもの体力云々はできない。生涯をとおして体育・スポーツを愛好し実践する態度を育成していくことが重要な問題である。

そこで、校内の体力向上委員会では、47年度から50年度まで続けられた研究を参考にして休み時間を利用して体力づくりを進めようということにした。

遊びの中で主体的に体力作りを推し進めるためには、まず、授業の中で意図的に指導されたものが発展的に、主体的に遊びの中生活の中にとり入れられることが考えられる。そのためには授業そのものにも工夫がなされなければならない。

つぎに遊びの中で十分利用される固定施設なども整備しておく必要がある。そして何よりも子どもに興味をもたせ主体的に「体力づくり」へ取り組むことができるように実践をおし進めていかなくてはならない。

このようなことから、体力づくりの生活化・定着を考え主題を設定した。

さらに、昨年度から、より総合的に進めるため、保健の面からも主題に迫ることにした。

7. 本校の特色

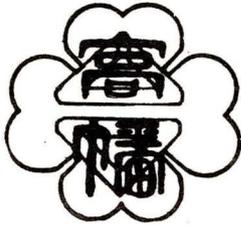
校地面積21391㎡という恵まれた校地の中に一周200mのトラック、バスケットコート二面、二の字形にならんだ校舎、周辺部に動物園、花だん、プール、体育館があり、おちついた空間を作っている。

家庭に作られた、児童・職員の労作による古材利用の遊具(だっこちゃん・滝合峠・ピョンピョン丸太・宇宙遊泳)や、固定施設(砂場・遊び山・シーソー・ジャングルジム・すべり台・ブランコ・登り棒・雲梯・鉄棒・回転シーソー・タイヤ群・ジャンピングタッチ等)は、本校を象徴するものであり、児童の体力向上には不可欠のものである。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。

8. その他(教職員の研究歴)

	中央研	研究員	開発委員	研究生	その他
1		鈴木敏郎 (46.特活)			
2		長谷川鉄夫 (47.体育)			都体力測定委 (48.体育)
3		石川成子 (52.家庭)			
4			萩原章子 (53.家庭)		



学 校 名 日野市立高幡台小学校
 所 在 地 日野市程久保 550
 電 話 0425-91-7011・7012
 順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
 5分 高幡台団地下車
 児 童 数 男440名 女405名 計845名

校長氏名 近内信輝 教頭氏名 古田耿介

1. 沿革の概要

- 昭46. 8. 7 校舎新築工事起工
- 昭47. 3. 10 校舎完成
- 4. 1 日野市立高幡台小学校として開校
鉄筋三階建校舎 普通教室12、特別教室4、特別室9、学級数12、児童数402名、教職員18名、市職員2名
- 5. 27 高幡台小学校PTA設立総会
- 6. 24 開校式
本日を開校記念日とする
- 8. 1 プール完成、プール開き挙行
- 昭48. 2. 24 校旗、校歌制定
- 3. 24 第一回卒業式
卒業生 1学級 33名
- 0. 6 体育館落成式、体育選手模範演技
- 昭49. 3. 25 第二回卒業式
卒業生 2学級 46名
- 4. 1 第一期増築工事完成
普通教室9、図書室1、職員室改造工事
- 昭50. 3. 25 第三回卒業式
卒業生 2学級 55名
- 昭51. 3. 25 第四回卒業式
卒業生 2学級 63名
- 昭52. 3. 25 第五回卒業式
卒業生 3学級 97名
- 昭53. 3. 25 第六回卒業式
卒業生 3学級 78名
- 4. 1 第二期工事完成

普通教室9、教材室3

- 昭54. 3. 24 第七回卒業式
卒業生 3学級 98名
- 昭55. 3. 25 第八回卒業式
卒業生 3学級 108名
- 昭56. 3. 25 第九回卒業式
卒業生 3学級 116名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
松 平 健太郎	昭47. 4. 1 ~ 50. 3. 31
手代木 和 夫	50. 4. 1 ~ 54. 3. 31
近 内 信 輝	54. 4. 1 ~ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区である。高幡台団地は5階～11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。住宅街の近くには田畑も残っていて、農耕にいそむ農家の人々もあり、静かなよい環境である。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- あたたかい心で 助け合うこども
- よく考え、自分からやりぬく子ども
- 働く子ども
- 明るく健康な子ども
- 「たすけあう子」
- 「かながえる子」
- 「はたらく子」
- 「たくましい子」

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

よく考え 助け合う態度を養うため特活を充実させていく。
本校の実態をふまえ、日常の児童活動の活発化をはかる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- 授業にゆとりを持たせ、基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせる。
- 指導法を工夫し、意欲的な学習態度を養う。

イ 道徳

- 廊下の歩行、集合の仕方など集団生活のきまりや、望ましい行動の習慣を身につけさせる。
- 他人の立場を認め、力を合わせてものごとをやりぬく態度を養う。

ウ 特別活動

- 運動会、音楽会等の学校行事や、学校生活の中に、児童の考えを生かし、より楽しい学校生活を築く。
- 児童の計画運営による行事（小運動会、夏休み作品展、六年生を送る会等）を通じて、児童活動の活発化を図る。
- 兄弟学級、お正月遊び会等を通して、児童のたてのつながりを深める。

(2) その他の活動

- 地区清掃活動により、地域児童の連帯意識を深め、かつ勤労と自主の精神を養う。

(3) 生活指導・進路指導

- 学校のきまりを日々の教育に結びつけ、日常生活に必要な、基本的な行動様式をしっかりと身につけさせる。
- 校舎内外の環境の美化に努め、情操豊かな児童を育てる。
- 学校の全教育活動を通して、自主的・自律的な態度を身につけさせる。

6. 本年度の研究主題

児童会活動及び学級会活動の活発化

7. 本校の特色

団地校であることから家庭の生活程度が平均している。児童の知能程度も比較的高い。反面閉鎖的で協力面に欠ける。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	研 究 生
1	勝俣 友子（46. 給食）	近内 信輝（37. 社会）
2	古田 耿介（50. 教育 経営）	



学 校 名 日野市立南平小学校
所 在 地 日野市南平4-18-1
電 話 0425-92-2021・2022
順 路 京王線南平駅より徒歩12分
児 童 数 男435名 女416名 計851名

校長氏名 松日楽 敬 治 教頭氏名 野 口 昭 平

1. 沿革の概要

- 昭48. 12. 17 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定。
- 昭49. 3. 25 仮設校舎完成、プレハブ教室11職員室1、校長・事務室1、教材室1、他に潤徳小新館に4教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
4. 1 日野市南平小学校開校
学級数15、児童数535名
教職員22名、市職員4名
4. 5 仮設校舎校地整理完了
5. 4 本校舎工事着工
総工費220,166万円
敷地面積26,535㎡ 鉄筋コンクリート四階建防音校舎
4,456㎡
5. 22 南平小学校PTA設立
11. 15 本校舎完成
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
11. 22 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章の図案のもととする。
校歌・校旗・校章の制定および発表会を挙げる。
当日を本校開校記念日として制定する。
11. 29 本校舎へ移転
11. 30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了

- 昭49. 12. 31 体育館完成
- 昭50. 4. 30 大・小プール完成
- 昭53. 3. 15 校舎3教室増築
- 昭54. 12. 21 体育倉庫(プレハブ)完成
- 昭56. 3. 27 校舎3教室・図書室増築

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
黒 沢 保 雄	昭49. 4. 1 ～ 55. 3. 31
松日楽 敬 治	昭55. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台(なんべいだい)みなみ丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中下(昔からの唯一の集落)京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成されている。比較的まとまった学区域であり、地区の把握がしやすい。

南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然林あり、田畑、果樹園等、自然条件にめぐまれている。西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と相まって、教育的環境としては、最高の条件を見備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法に基づき、地域の特性をふまえ、児童の個性、能力の伸長と自発性、創造性を重視し、調和と統一のある教育をめざして行う。

- 心身ともにたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- 最後までやりぬく子ども
- おもいやりのある仲よい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 学校経営へ教職員の積極的な参加を通して、学校や教師の創意工夫を生かし、行事、会議のむだを省き、日々の授業を充実させ、ゆとりある学校生活の実現と豊かな人間性の育成をめざす教育をすすめる。
- 学校、児童、地域の実態をふまえ、開かれた学校をめざし、児童、教師、父母の心の交流をはかり信頼を高め、より校風づくりにはげむ。
- 学習指導要領をふまえ、各教科、領域の基礎的・基本的事項を明らかにし、児童ひとりひとりが主体的にとりくむ指導法の改善をはかる。
- 体力の増進をはかるため、環境を整備し体育、特別活動、創意を生かした教育活動を通して、計画的に指導を行う。
- 行事を精選し、年間授業時数を確保し時間的、精神的なゆとりを持たせるため創意を生かした教育活動を計画的に行う。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 教科を精選し、児童が主体的にとりくむ学習指導法の改善を図る。
- 地域及び児童の実態をふまえた資料を作成し、指導過程の中で活用できるように指導計画の改善に努める。

(2) 道徳

- 学級・学年のわくをはずして交流の場を意図的に設定した諸活動の中で責任ある行動と共に、お互いを思いやること等道徳的実践の指導に役立てる。
- 道徳の時間では、指導計画にもとづき資料の精選をし、十分活用できるよう配慮し、指導法の改善に努める。

(3) 特別活動

- 集団の一員としての自覚をもたせ、協力し合って活動しようとする自主的・実践的な態度を身につけさせる。
- 学校生活のあらゆる場で、児童が積極的に活動し、楽しく参加できるよう指導計画の改善に努める。

(4) その他の活動

学校・児童・地域の実態をふまえ、学校教育目標を具現するために、学校や教師の創意工夫を生かした教育活動を行い、学校生活に喜びと充実感をもたせる。

- ① もみ種まきから田植、稲刈り、脱穀、収穫を祝う会、わらじ作りを通して生産の大切さ、勤労の喜びを体験させると共に、地域との連帯をはかる。
- ② マラソン、なわとび、リレー、球技大会等を通して、体力の増進をはかる。

- ③ たて割りにより全校遠足・遊び・清掃・給食を通して連帯感、協力、おもいやりの心を培う。
- ④ 1年生を迎える会、6年生を送る会、七夕集会等を通して、計画性、創造性、実践力、自発性を培う。

(5) 生活指導・進路指導

- ひとりひとりを大切に、互いに尊重し、助けあう生活態度を培う。
- 学校のきまりを守り、基本的な生活習慣を身につけ、充実した学校生活をさせる。
- 健康で安全な生活に心がけ、清潔で、活気ある学校生活をさせる。

6. 本年度の研究主題

児童が主体的にとりくむための学習指導法の研究

各教科の基礎的・基本的事項を明確にするとともに、児童が主体的に学習にとりくむための教材の吟味・精選をする。さらに本校の年間指導計画の見直し、昨年作成した社会科年間指導計画が指導過程の中に生かされるように改善に努める。これらのとりくみを研究の中心として、全員が授業研究の体制をとり、授業を通して実証的に研究をすすめる。

7. 本校の特色

- (1) 本校の児童は、素直で、礼儀正しく落ちついている。物事に熱心にとりくみ、しっかりできる。
- (2) 児童・父母ともに学校を信頼し、協力的である。
- (3) 父母の経済的、社会的地位が比較的安定している。
- (4) 学校生活の主人公は児童であるの認識のもとに、教職員が一致して教育活動にあたっている。
- (5) めぐまれた学校施設・設備、校庭の完備、自然条件等、教育的環境は、最高である。

8. その他

内訳 No	研究員	現代化	道徳助言研	調査委員
1	野口昭平 (40 道徳)	松日楽敬治 (49 理)	野口昭平 (42)	野口昭平 (50,51)
2	村上悦子 (45 音楽)		片岡千寿子 (55)	和田いさを (55)
3	藤田孝彦 (48 特活)			
4	越村清治 (48 社会)			

内訳 No	研究生
1	和田いさを (53)



学 校 名 日野市程久保小学校
所 在 地 日野市程久保504の1
電 話 0425-92-5014・5015
順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて5分
中程久保下車 徒歩3分
児 童 数 男331名 女305名 計636名

校長氏名 渋谷 義 一 教頭氏名 秋 永 悦 郎

1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の過大化を解消するためと、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久味地区に新設された学校である。

- 昭52. 2. 1 程久保小学校開設 潤徳小学校に開設準備室を設置
初代 渋谷義一校長就任
4. 1 日野市立程久保小学校開校
学級数18 児童数652
教職員26 市職員8
- 4.21 給食開始
- 6.28 プール開き
- 7.15 体育館竣工
- 10.20 落成式挙行、この日を開校記念日とする。校歌・校章発表会を開く。
- 1.19 第1回音楽会を行う。
- 昭53. 4. 4 学級増によるプレハブ教室設置（1教室）19学級
11. 3 第1回展覧会を行う。
- 昭54. 1.16 校内書初展を行う。
- 11.18 第1回学芸会を行う。
- 昭55. 1.18 体育倉庫竣工
- 11.11 飼育舎竣工

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～年 月
初代 渋谷 義 一	昭52. 2. 1～現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区域である。住宅は多摩動物公園線の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎も見られ遠足時には、子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接している。緑が多いわりに、子どもの遊び場が大へん少ない。

4. 教育目標

元気（丈夫で生き生きした子）
本気（一生けんめいと取り組む子）
根気（最後までやりぬく子）

本年度は本気に重点をおき、全教育活動をとおして「本気で取り組む児童」を育成していく。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各 教 科

- 主体的に学習にとりくむ児童を育てる。
- 教材研究を深め、授業をとおして指導法の改善をはかり、充実した授業が行えるようにする。
- 教材・教具の整備充実と活用をはかる。

(2) 道 徳

- 教育目標の元気・本気・根気を達成させるための道徳教育を推し進める。
- 人間性が豊かで、思いやりの心を持った児童の育成に努める。
- 教科・特別活動・学校行事等全領の中で、道徳性の内面化・態度化をはかっていく。

(3) 特別活動

- 児童会活動・学級会活動・クラブ活動などの集団活動をとおして、主体的な態度を養い、楽しい学校生活を計画・実践できるようにする。
- 学級指導の充実をはかり、実践的な態度を育てる。
- 学校行事に自覚して参加できる児童を育て、学校生活を安全にかつ明るくうるおいあるものにする。

6. 本年度の研究主題

ひとりひとりがいきいきとする学習指導 一発問の工夫を通して—

7. 本校の特色

- (1) 開校5年目を迎えた本校は、新興住宅地の学校である。児童の多くは家庭環境にもめぐまれており、いろいろな面でみたまわっている。そのため、明るくすなおで、のびのびしている反面、保護されて育った感じで、たくましさに欠けるところがあった。

そこで、朝の10分間体操をはじめ、学校生活のなかでの体力づくりに努め、ものごとに本気で取り組むよう指導を重ねてきた。現在では、体力も次第に増強してきており、儀式等で倒れる児童もいなくなった。

- (2) 父母は教育熱心であり、学校教育にも協力的である。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No	研 究 員	研 究 生
1	渋谷 義一(41.理)	渋谷 義一(42.理)
2	秋 永 悦 郎(45.国)	
3	上 野 森 良(49.国)	
4	川 上 卓 一(55.理)	



学 校 名 日野市立旭が丘小学校
所 在 地 日野市旭が丘5丁目21番地の1
電 話 0425-83-3733・3748
順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩25分
京王・都バス(石川入口)下車10分
児 童 数 男487名 女417名 計904名

校長氏名 小野寺 東 雄 教頭氏名 田 中 光 穂

1. 沿革の概要

- 昭51. 8. 18 起工式
市議会は、日野市立旭が丘小学校の設置を決定
- 昭52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令
3. 31 校舎、プール完成
4. 1 教頭、教諭等25名、市職員8名 計33名発令
4. 6 第1回入学式149名 4学級
全校18学級 707名
4. 27 教育目標決定
7. 20 校章制定
8. 15 体育館完成
10. 1 開校記念大運動会
10. 12 校旗完成
11. 11 開校記念展覧会
11. 21 校歌制定。開校式典
11. 22 第1回開校記念日
12. 3 校歌発表会
- 昭53. 3. 25 第1回卒業式110名
4. 1 教職員36名
4. 6 第2回入学式163名 4学級
全校20学級 758名
11. 10 第1回学芸会
- 昭54. 3. 24 第2回卒業式95名
4. 1 教職員38名
4. 6 第3回入学式156名 4学級
全校21学級 833名
- 昭55. 3. 25 第3回卒業式116名
4. 1 教職員40名
4. 7 第4回入学式193名 5学級
全校23級 916名

10. 13 体育館ボーダーライト工事

11. 20 第2回学芸会

昭56. 3. 25 第4回卒業式122名

4. 1 教職員44名

4. 6 第5回入学式145名 4学級
全校24学級 904名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~年 月
初代 小野寺 東 雄	昭52. 2. 1~現在

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部で八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二河岸段丘の二段にまたがっている。東西2km、南北1.5kmと広く、学校が西に偏在しているため、通学時間が30分以上かかる児童もいる。学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集団住宅が混在している。現在分譲住宅が続々と建設されている。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場は多いが、公害問題は少ない。学校の周辺には、畑や雑木林も多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、そのため学校教育への関心は深い。

4. 教育目標

- (1) よく考える子ども
- (2) なかよくする子ども
- (3) がんばりぬく子ども
- (4) からだをきたえる子ども

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科

- 45分の単位時間と指導技術の工夫、指導内容の精選により、学習活動にゆとりをもたせ、基礎的、基本的事項の徹底をはかる。
- 授業のあり方を研究し、児童一人一人が「よく見る」「よく聞く」「よく気づく」望ましい理解、態度、技能を身につけさせる。

(2) 道徳

- 教職員の協力態勢を土台に、学校の教育活動全体を通して特に道徳的实践力の向上に努める。
- 学習活動を多彩にし、児童の主體的な自覚をより促すよう工夫する。

(3) 特別活動

- 年間や学期ごとの指導方針、目標を立て、適切な指導によって進んでやろうとする意欲を盛りあげる。
- 活動内容を児童自らが立案し、実行する過程で、ねばり強くやりぬく実践力とよりよい人間関係を育てる。

(4) その他の活動

- 学年・学級の時間等により、児童一人一人に思いやりの心を育て、連帯感を強める。
- 「全校活動」の時間を設け、全校の交流活動などを行う。
- 各種活動の評価を適切に行い、指導の効果を高める。
- 開校5周年としての行事を通して、児童一人一人に学校の一員としての意識を高める。

(5) 生活指導・進路指導

- 「学校生活のきまり」の定着化をいっそう推進し、望ましい基本的生活習慣の確立を図る。
- 安全に対する関心を高め、自分の生命は自分で守る態度を育てる。
- 土曜日の職員会議等を活用し、共通理解を深めて、積極的に非行防止にあたる。
- 児童の個性、能力を伸長し、正しい職業感を養う。

6. 本年度の研究主題

昭和56年度 「子どもによく考えさせる授業のあり方」

7. 本校の特色

本年度は開校5周年目である。教育目標のうちの一つである「(4)からだをきたえる 子ども」を重点目標として全教育活動を展開していく。なお、恵まれた自然を生かした教育環境づくりを目ざして、いっそう総力を結集する。

- (1) 全体計画にもとづく授業研究の推進
- (2) 職員・児童・父母の協力による環境整備と美化の促進
- (3) 敷地内の自然林の保存と活用

8. その他(教職員の研究歴)

研 究 員		文部省・都委員
小野寺東雄(42.理)	中村 麗子(48.絵)	田中 光穂(31.42.文部省)
田中 光穂(37.国)	渡辺 健一(56.理)	田中 光穂(43.都)
奈良 悦子(44.家)	奈良 悦子(49.家)	現代化



学 校 名 日野市立平山台小学校
 所 在 地 日野市平山2-1-1
 電 話 0425-92-6381・6382
 順 路 京王線平山城址公園下車徒歩15分
 児 童 数 男386名 女368名 計754名
 (内わかくき学級26名)

校長氏名 小 川 格 教頭氏名 石 井 三 士

1. 沿革の概要

- 昭52. 3. 28 学校建設校舎予算市議会議決
 6. 3 学校建設準備委員会開催
 9. 3 校舎建設工事請負契約締結
 昭53. 1. 7 現在地に建設着工
 1. 26 プール建設工事請負契約締結
 3. 25 体育館建設工事請負契約締結
 4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山1,2,3,6丁目を平山台小学校の学区と定める。児童数男268 女282 計550名 17学級(心障2学級含)の規模で開校する。
 10. 24 校舎落成式 校章発表
 11. 22 開校記念展覧会 開校記念日
 昭54. 3. 9 開校記念校歌発表会
 4. 1 昭和54年度発足(20学級)
 昭55. 3. 20 校舎増築8教室完成
 4. 1 昭和55年度発足(22学級)
 8. 15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成
 昭56. 4. 1 昭和56年度発足(22学級)

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
初代 小 川 格	昭53.2～現 在

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きを開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、

立川も一望でき、巨大な鳥瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく児童が学習する上での生きた教材を得た学校である。

学区は、京王電鉄が造成・分譲した平山1,2,3丁目に加えて、平山6丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に心している。故に静かでおちつきのある雰囲気が維持されている。

4. 教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法の示す国民の育成につとめることを目指し、次のように教育目標を定める。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自ら考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子
- 力を合わせて やりぬく子
- 心豊かな やさしい子
- 明るく たくましい子

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特活の指導の重点

ア 各教科

教科の授業を通して主体性のある児童の育成につとめる。特に児童1人ひとりが課題をもって授業に取り組み、自分の力で課題を解決したり完成した喜びがもてる授業をつくりあげる。また、基礎的・基本的事項の定着をはかるため、教材性の吟味、指

導内容の検討と重点化をはかる。教材教具の活用を工夫し児童にわかる授業を目ざすと同時に児童の情報処理能力、資料の活用を高めていく。さらに、児童相互が協力し合って学習をすすめることができるように授業を改善する。

イ 道徳

全教育活動を通して道徳的心情と実践力を育てる。そのため、教科、特別活動等との関連をわかり具現する。特に、児童の実態、今日的課題の上に立って次のことを重点とする。

- ① 人や動物の生命を大切にし、やさしい思いやりのある心を育てる。
- ② 望ましい行動様式を身につけさせ、節度や協調性のある生活ができるよう指導する。
- ③ 道徳の授業を充実し、適切な判断や行動のとれる児童の育成を図る。

ウ 特別活動

児童の主体性を重んじ、創意を生かして活動できる学習の機会とする。特に、児童の意欲的な活動を盛りあげ、継続と蓄積による成果を自覚させる。

児童が協力して取り組む過程を大切にし、児童自身が物事をよく見つめる、見極めることができるような指導を重視する。

エ 生活指導

- 日常の学校生活を通して健康安全の指導を徹底する。
- 常に目標を持った生活設計が児童自身に図れるよう留意する。
- 知・徳・体の調知のとれた人間性豊かな児童を育成するため、心身の発達段階に応じた指導をする。
- 児童ひとりひとりの特徴や傾向をよく理解把握し、厳しさと温かさのある指導をすすめる。
- 家庭や地域社会及び関係諸機関との連携を密にして協力体制を整える。
- 人権・人命尊重の精神を養い健康で安全に生活できる態度を身につける教育を推進する。

6. 本年度の研究主題

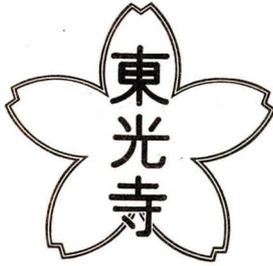
「主体的に学習できる児童の育成を目ざした授業のくふう」

7. 本校の特色

市内全域がほぼ見渡せる所にある開校3年目の学校、自然環境に恵まれた学校（教材化に活用）。心障学級設置校で心障児と健丈児との交流をすすめている。地域の要請に応える教育力の提供について具体化をはかろうとしている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 /No	中央研	研究員	開発委員	研究生
1	小川 格 (48)	石井三士 (44.国語)		小川 格 (25.理科)
2		信夫清彦 (54.体育)		
3		藤井泰蔵 (55.体育)		
4		藤井 清 (理科)		



学 校 名 日 野 市 立 東 光 寺 小 学 校
所 在 地 日 野 市 新 町 3 丁 目 2 4 番 地 1 号
電 話 0 4 2 5 - 8 4 - 6 2 0 0 ・ 6 2 0 1
順 路 中 央 線 日 野 駅 下 車 徒 歩 1 0 分
児 童 数 男 2 9 7 名 女 2 7 9 名 計 5 7 6 名

校長氏名 高 田 智 教頭氏名 清 水 七 郎

1. 沿革の概要

- 昭 52. 9. 30 学校用地買収予算市議会議決
昭 53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決
6. 2 学校開設準備委員会開催
8. 21 校舎建設工事着工～54. 5. 31
昭 54. 3. 10 体育館建設工事着工
～54. 10. 31
3. 14 プール建設工事着工
～54. 10. 31
4. 1 日野市立東光寺小学校として開校。日野第三小学校の学区から、新町3丁目と栄町1, 2, 3, 4, 5丁目を東光寺小学校の学区と定める。児童数545名(男287名、女258名)15学級の規模で開校する。
4. 30 教育目標決定
7. 18 校樹決定「さくら」
11. 20 校章・校旗・校歌制定
校舎・体育館・プール落成記念式典、校章・校旗披露・校歌発表会
昭 55. 3. 25 第1回卒業式挙行
卒業生88名
4. 1 昭和55年度発足 16学級
4. 7 第2回入学式挙行
入学生109名
昭 56. 3. 25 第2回卒業式挙行
卒業生79名
4. 6 第3回入学式挙行
入学生106名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～年 月
初代 高 田 智	昭 54. 2. 1～現 在

3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区の一部は多摩川と八王子市に接している。学区は新町3丁目、栄町1, 2, 3, 4, 5丁目、東西1.8km南北0.8kmと東西に長く、学校は学区の中央、南側に位置している。通学時間は遠い児童で15分である。

学区には、天正16年僧永海が、旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地には農家が点在していたが、都市化したがつて兼業農家がふえ、まわりには、宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林があり、正門近くには田畑、果樹園等自然条件にめぐまれている。施設、設備、校庭が完備され、教育的環境は優れている。父母の学校によせる関心も高い。

4. 教育目標

憲法及び教育基本法の精神に基づき、自ら考え正しく判断できる児童の育成をめざし、次のように教育目標を定める。

- 明るい子ども
(個性を伸ばし、礼儀正しい態度を育てる。思いやりの心を育て、協力する態度を育てる。)

- 考える子ども
(自ら考え、正しく判断できる能力を伸ばす。進んで学習し、自分の言行を反省する。)
- 強い子ども
(しょうぶな体にきたえる。責任を重んじ根気強く働く態度を育てる。)

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- ひとりひとりの能力に応じた指導法をくふうし、基礎的な学力の向上をはかる。
- 自主的な学習態度を育てる。

イ 道徳

- 自分を反省するとともに、他人の立場を重んじ、実践する意欲を高める。
- 物を大切にす生活態度や習慣を身につけさせる。

ウ 特別活動

- 自発的な活動を促し、集団の一員としての自覚と協力的な態度を育てる。
- 学校行事に積極的に参加させ発達段階に応じて、心身の調和のとれた児童を育成する。

(2) その他の活動

- 学校生活に変化を与え、ひとりひとりの児童の個性を伸ばし、学校生活に喜びと充実感をもたせる指導を工夫する。

(3) 生活指導・進路指導

- 基本的な生活習慣、特に規則正しい生活態度を養う。
- 安全指導の徹底をはかる。
- ひとりひとりの個性能力に応じ、課題意識をもって自己を伸長する児童の育成につとめる。

6. 本年度の研究主題

「自主的な学習態度を育てる指導法の研究」

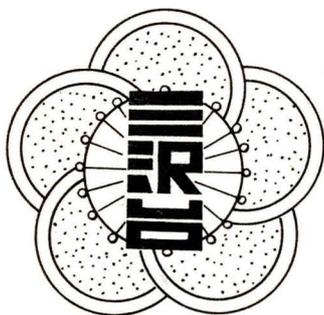
7. 本校の特色

開校3年目を迎え、全職員が一致協力して、次のような学校づくりをめざし、努力している。

- 指導の充実した学校
- 美しく整った学校
- 父母、地域社会の信頼にこたえる学校

8. その他(教職員の研究歴)

内訳	中央研	研究生	研究員	現代化委員	開発委員
高田 智		43年・算数	37年・算数		
清水 七郎	50年・国語特活		47年・教育方法	50年・経営	
江口 耕一			53年・特活		
上山美智子			43年・保健		



学 校 名 日野市立三沢台小学校
所 在 地 東京都日野市百草 896-1
電 話 0425-93-2351~2
順 路 京王線百草園駅下車 徒歩 15 分
児 童 数 男 329 名 女 353 名 計 682 名

校長氏名 深 尾 眞 教頭氏名 和 田 国 平

1. 沿革の概要

昭 55. 4. 1 開校

日野第八小学校より分離する。
18 学級（各学年・3 学級）で
発足する。

- 4. 4 市長より校舎引き渡しを受く。
- 4. 7 第一回 始業式 入学式
- 9. 1 校庭使用可（芝生、アンツーカーの運動場）。

9. 10 市主催による落成式。

昭 56. 2. 10 校歌・校章発表会。開校記念日とする。

3. 25 第一回 卒業式。

昭 56. 4. 6 第二回 始業式 入学式（18 学級）。

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
初代 深 尾 眞	昭 55. 2. ～現 在

3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂きを開発した住宅街（西武・日本信販）の中心にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれている上、静かな住環境でおちついている。

4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基づき、地域・児童の実態をふまえ、調和のとれた人間形成をめざして行う。

- からだをきたえる子
- 最後までやりぬく子
- よく考え行動する子
- みんなと仲よくする子

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- 一単位時間内での指導の効率化をねらい、基礎・基本事項を確実に身につけさせ、楽しい授業・ゆとりのある授業の展開を通して、児童の学習意欲を喚起する。
- 教材・教具の効果的な活用をはかり、学習効果の向上につとめる。
- 指導計画の改善、指導法の工夫を重ね、児童の発想を豊かにする授業を推進する。

イ 道徳

教育活動全体を通して、道徳的心情を豊かにし、実践力を育てる。そのために、教科・特活等の横の連りを深めた指導を展開する。

- 広い心をもち互いに助けあい実践する子を育てる。
- 望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ 特別活動

児童の主体的な活動を重んじ、創意ある活動を助長する場の設定に心がける。また、

児童相互の交流を深め、共に協同して働き、よい校風づくりに励む態度と実践力を育成する。

(2) その他の活動

学校づくり2年めにあたり、教育活動に、いっそうの創意と工夫を生かし、児童相互の連帯意識を高める。

- 遊びの指導を通し、児童相互、児童・教師の交流を深める。
- 学年を越えた児童のふれ合いの活動を盛んにし、学校と地域のつながりを深める。

(3) 生活指導

- 児童ひとりひとりを正しく理解し、個別指導の徹底をはかる。
- 集団活動を通して、児童の各々が自己の役割を果たし、自己の長所を知り、より高く向上しようとする指導を推進する。
- 集団としての規律を理解させ、基本的生活習慣の徹底をはかる。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導・非行化防止の手だてに万全を期す。
- 各教科・道徳との関連を密にして、職業に対する正しい理解と判断を育て、働くことの大切さを熟知させる。

6. 本年度の研究主題

「よくわかる授業」をするための手だてを考える。

—教材教具の効果的な利用・発問のくふう—

7. 本校の特色

開校2年め、子どもたちにとって「心のふるさと」となるような学校づくりをめざす。全教職員の創意を生かし、分業と協業、子どもと共に遊び、働き、学ぶ教職員の後ろ姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員研究歴）

中 央 研	研 究 生
内 藤 康(56)	内 藤 康(49)



学 校 名 日野市立日野第一中学校
所 在 地 日野市日野2614
電 話 0425-81-0009 (代)
順 路 国電 日野駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男437名 女382名 計819名

校長氏名 松 延 耕 作 教頭氏名 安 谷 功

1. 沿革の概要

- 昭22. 4.30 公立中学校として設置許可、日野中学校と称する。
- 昭24. 4. 1 校歌制定。
- 昭29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称。
- 昭32. 3.22 校旗制定。
- 昭37. 9.17 新校舎(鉄筋防音)落成。
- 昭38.11. 3 日野市制施行。市立日野第一中学校となる。
- 昭39. 5. 1 特別教室完成。
- 昭41. 7. 1 体育館落成。
- 昭42.11. 4 20周年記念式典挙行。
- 昭48. 3.10 校舎増築(普2、特別2)完成
東側特別教室への渡り廊下完成
- 昭51. 3. 9 校舎増築(普3、教材室1、生徒相談室2)完成
- 昭52.11. 4 30周年記念、校歌刻字の記念碑建立(故二代目校長飯塚節三氏寄贈)記念誌発行。
- 昭55. 4. 1 大坂上中の新設に伴い27(2)学級より19学級に縮小。
- 昭55. 8.31 プレハブ4教室解体、第2音楽室改修。普通教室ガラスブロックをアルミサッシに取替え。
- 昭56. 3.20 第34回卒業式挙行。
(卒業生241名 累計9361名)

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
初代 町田勘之助	昭22. 4 ~ 25. 9
2代 飯塚 節三	昭25.10 ~ 37. 3
3代 大沢 彰	昭37. 4 ~ 40. 3
4代 大沢 量作	昭40. 4 ~ 45. 3
5代 安部 達郎	昭45. 4 ~ 49. 3
6代 東 恭朝	昭49. 4 ~ 53. 3
7代 松延 耕作	昭53. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。近年、郊外の住宅、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

4. 教育目標

- 1 よく考え やりぬく人
- 2 協力し 全体につくす人
- 3 心豊かで 思いやりのある人
- 4 進んで心身をきたえる人

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

学習意欲を高め、基礎学力の伸長を図る。

- 発表の場や表現の機会を多くする。
- 学習の計画を立てさせ、予習、復習の習慣をつける。
- よく考える態度を養い、学力の伸長を図る。指導内容の精選、指導方法の改善に努める。

イ. 道徳

実践活動を通して道徳的心情を高める。

- 一人一人を尊重する態度を養う。
- きまりを守り、行動する態度を養う。
- 感謝の気持ちを育てる。

ウ. 特別活動

教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを大切に指導する。

- 生徒自身に深く考えさせ、自主的実践的な活動を伸ばす。
- 集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め協力する態度を育てる。

(2) その他の活動

ゆとりあるしかも充実した学校生活の実現をめざして。

- 生徒活動の充実を図る。
- 個別指導を実施し基礎学力の充実に努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア．生活指導

教師の共通理解を深め、全員一致して指導にあたる。

- 基本的生活習慣を身につけさせる。
- 教育相談を推進する。

イ．進路指導

個々の生徒の能力、適性の把握に努め自ら進んで進路を選択する態度と能力を育てる。

6. 本年度の研究主題

学習意欲を高めるための授業研究。

7. 本校の特色

教育目標の具現化の一つとして、次の2点に特に意を用いている。

- (1) 基礎学力の向上をめざす指導法の工夫を通して、生徒の学習意欲を高め、よく考え、やりぬく態度を養うため、他校の参観や、ゆとりの時間の活用等、校内での授業研究を基に、資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室、廊下などの掲示指導に意を用い、また校舎内外の美化のために、清掃に意を用い実施している。登下校時刻の厳守には教師、生徒会が一体となつてつとめている。

8. その他(教職員の研究歴)

	研 究 員	研 究 生	現代化及び開発委員等
1	松延 耕作(36社)	松延 耕作(26社)	保阪 暁(49技)
2	安谷 功(50特活)		柳沢 美澄(56英)
3	長谷川忠男(43数)		島倉 昭雄(55道德助言)
4	島倉 昭雄(46英)		
5	村田 志信(47音)		
6	辰己 恵子(52給食)		
7	岸 とよみ(52英)		
8	小林紀代子(54国)		
9	柳沢 美澄(55英)		
10	福島 良樹(55理)		



学 校 名 日野市立日野第二中学校
所 在 地 日野市多摩平4丁目5の2
電 話 0425-81-0056・0262
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男417名 女389名 計806名

校長氏名 渡 辺 吉 彦

教頭氏名 奥 村 節 生

1. 沿革の概要

昭29年度 設立認可、開校式、入学式(生徒200名)
第二期工事八教室増築落成
昭31年度 第三期工事竣工落成
昭32年度 第一回卒業式(卒業生204名)
昭33年度 校旗、校歌制定
昭34年度 産業教育研究校に指定される。
昭35年度 特別教室(工作、調理、理科)竣工落成
昭36年度 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行研究発表会
昭37年度 プール竣工落成
昭38年度 保健体育研究発表会
昭39年度 普通教室3教室竣工、創立10周年記念式典挙行
昭40年度 体育館竣工
昭41年度 防音校舎第一期工事完成(6教室)
昭42年度 防音校舎第二期工事完成(18教室)、プール用更衣室工事完成
昭43年度 南校舎前、境栽花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭44年度 プール専用便所一棟完成
プレハブ一棟
昭45年度 プレハブ一棟
昭46年度 プレハブ一棟
昭47年度 プレハブ二棟
昭48年度 四中新設のため34学級より25学級に縮小

創立20周年記念式典挙行
昭49年度 南校舎3階塗装。技術科教室及同準備室改造整備。調理室床塗装。体育館屋根修理、外装、中庭、池整備
昭50年度 南校舎6教室増設、南校舎2階塗装
昭51年度 理科室、家庭科調理室、机、床整備
昭52年度 体育館照明工事、暗幕完成
校舎電気配線整備
昭55年度 大坂上中新設のため26学級より20学級に縮小

2. 歴代校長

氏 名	年月 ~年月
初代 橋本 貫一	昭29. 3.31 ~ 30. 9.30
二代 増山 恒	昭30.10. 1 ~ 41. 3.31
三代 飯田 栄一	昭41. 4. 1 ~ 46. 3.31
四代 河村俊一郎	昭46. 4. 1 ~ 48. 3.31
五代 飯田 卯吉	昭48. 4. 1 ~ 51. 3.31
六代 小林政之助	昭51. 4. 1 ~ 55. 3.31
七代 渡辺 吉彦	昭55. 4. 1 ~ 現 在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき、東南部になお農業地域を残し、本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位

置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

5. 本年度指導の重点

- 各教科
 - ・ 自ら学びとる学習の態度を育成し、基礎学力の充実をはかる。
- 生活指導
 - ・ 基本的生活習慣の確立をはかり、相互理解に努める。
- 進路指導
 - ・ 系統的指導計画の実践を通じて自己を理解し、将来の進路を選択する能力を育成する。

6. 本年度の研究主題

「各教科の到達度評価の研究」

- (1) 学習指導要領の改訂にともない、生徒ひとりひとりの能力・適性の発見伸長をめざす評価を工夫する。
- (2) 生徒の学習意欲を助長するための評価法を研究する。
- (3) 生徒指導要領の観点別評価のあり方や望ましい通知票の様式を検討する。

7. 本校の特色

3,000世帯を収容する多摩平団地のほぼ中央に位置する。東にけやきの大木、北に緑の中央公園に囲まれ、自然環境は良好。海拔105m。公害を知らない学校。51年度は6教室の校舎増築も完成した。広い校庭に恵まれ、体育系のクラブ活動は活発である。都の愛鳥モデル校に指定され、情操教育の一環として、生徒の手で野鳥の飼育をしている。青桐祭(運動会、文化祭)も5年目を迎え定着してきた。

生徒数806名、20学級。出身小学校は、二小、三小、五小、六小その他である。

進路は殆ど全員が進学である。

8. その他(教職員の研究歴)

(1) 教職員の研究歴

	中央研	研究員	現代化	開発委	その他
1		渡辺 吉彦(38道徳)			
2		奥村 節生(39特活)			
3		小高 辰雄(36理科)	小高 辰雄(38理科)		小高 辰雄
4		内田耕一郎(41特活)	内田耕一郎(51数学)		54.55 (道徳助言研)
5		広瀬 昭(52英語)			
6		永谷 豊(45教育方法)			
7		永谷 豊(52特活)			
8		伊藤 務(54社会)			
9		中根 勉(56教育課題)			
10		安原 美代(56英語)			



学 校 名 日野市立七生中学校
 所 在 地 日野市南平6-7-1
 電 話 0425-91-0174・0175
 順 路 南平駅(京王線) 下車徒歩7分
 豊田駅(国電) 下車徒歩15分
 生 徒 数 男358(4) 女292(2) 計650(6)
 ()数字は訪問学級の生徒数

校長氏名 山 本 保 教頭氏名 川 崎 昭 三

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置。
 5. 15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行2部授業で発足。
 昭23. 2. 15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行。
 9. 4 新校舎完成、当日より授業開始
 昭32. 12. 1 P T A 結成第1回総会を挙行創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行。
 昭36. 7. 15 プール新設工事着工(東京都費による)
 昭37. 7. 31 プール開きを挙行。
 昭41. 7. 1 体育館落成
 1. 31 鉄筋コンクリート防音校舎改築はじまり現在にいたる。
 昭45. 3. 31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成する。
 4. 1 七生中学校三三分校設置
 9. 30 日野第三中学校開校につき七生中学校三三分校廃止
 昭46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成
 昭46. 5. 27 防音校舎落成記念式典挙行
 昭46. 8. 24 プール浄化装置、更衣室完成
 昭47. 3. 20 観察用水槽完成
 5. 22 訪問学級開級式
 7. 10 自然観察園完成
 昭50. 5. 22 南校舎西側増築工事完成
 訪問学級教室完成

昭52. 11. 3 創立30周年を祝う会挙行
 昭54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月～年 月
飯 塚 節 三	昭22. 4～昭25. 9
増 山 恒	昭25. 10～昭30. 10
飯 島 一 吉	昭30. 10～昭37. 3
木 村 功	昭37. 4～昭40. 3
芳 西 幸 三	昭40. 4～昭44. 3
羽 崎 一 男	昭44. 4～昭47. 3
高 橋 太 一	昭47. 4～昭51. 3
吉 岡 孝 二 郎	昭51. 4～昭55. 3
山 本 保	昭55. 4～昭 現 在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩7分、中央線豊田駅より南へ20分、浅川にそう静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に都市化が進みつつある。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区近くには、高幡不動、また多摩動物公園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

教育基本法と学校教育法の定めるところにもとづき、自主、敬愛、勤勉、責任、健康の五つを教育目標とする。

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ① 人権を尊重し、実践活動をとおして教育目標の達成実現に努力する。
- ② 家庭と緊密な連絡のもとに生徒の生活環境の実態把握につとめ、生徒ひとりひとりの個性をより広く理解して十分な教育効果を高める。
- ③ 年間授業時数を確保し、更に教材研究、授業研究をすすめる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 基礎的、基本的事項の指導の徹底をはかる。
- 自ら進んで学ぶ態度を養う。
- 指導法の創意工夫により、個に応じた指導をすすめる。

イ. 道徳

- 健康で明るく思いやりの心を持ち、互に協力する態度を養う。
- 物事を正しく理解・判断し、建設的に実践していく態度を養う。
- 公共物を愛護し、清潔・整頓に心掛け、奉仕活動をとおして、勤勉な態度を養う。
- 謙虚な態度を養い、他人に感謝する心や崇高なものへの畏敬の念を育てる。

ウ. 特別活動

- 生徒の自主活動をとおして、規律正しい学校生活を築き、心身共に調和のとれた自主的な生活態度を育成する。

(2) その他の活動

- 集団生活をとおして、互に協力する態度を育成する。
- 生徒理解を深める場をつくり、個性の伸長を助けるとともに、学習意欲の向上をはかる。
(学年集会、学校行事への取り組み、クラブ活動、委員会活動、奉仕活動、教育相談等)

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 学校の教育目標を身につけた中学生らしい生活態度を養う。
- 健全な生徒の育成を目指し、非行化防止に努める。

イ. 進路指導

- 教師間の共通理解のもとに、生徒とのふれあいの場を多くし、生徒の能力、適性についての自己理解をはかる。
- 学校生活への適応と自己実現をはかり、進路選択の能力を養う。
- 生徒の能力、適性を知るための検査、調査の活用をはかる。

6. 本年度の研究主題

新教育課程に基づく教科の研究

7. 本校の特色

本校は浅川と四季それぞれ変化を見せる多摩丘陵にはさまれ、自然環境には恵まれた位置にある。昭和35年頃までは純農村であったが、現在は農業経営の子弟は2%、ほとんどがサラリーマンの

子弟で、急速に生徒数も激増しつつある。

生徒は明かるく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も、伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。

8. その他(教職員の研究歴)

	中央研	研究員	開発委員	現代化委員
1		山本 保(38・学校行事)	御子柴昭治(54・訪)	天野 敏明(53・音)
2		川崎 昭三(40・理科)		
3		天野 敏明(41・音楽)		
4		白田 重考(数学)		
5		高野 除一(54・美術)		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 三 中 学 校
 所 在 地 日 野 市 程 久 保 6 5 0 番 地
 電 話 0 4 2 5 - 9 1 - 2 2 2 8 (代)
 順 路 京 王 線 高 幡 不 動 駅 下 車 百 草 団 地 行 バ ス で
 高 幡 台 団 地 下 車 徒 歩 5 分
 生 徒 数 男 5 7 0 名 女 5 7 4 名 計 1, 1 4 4 名

校長氏名 長 岡 宗 次

教頭氏名 市 塚 正 史

1. 沿革の概要

- 昭 45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中分校として、七生中学校内で授業開始。生徒数 26 名。教職員数 12 名
9. 9 橋本敏一 初代校長に着任
10. 1 日野市立日野第三中学校開校七生中学校内で授業。生徒数 44 名 教職員数 14 名。百草、高幡の両団地を学区にする。
- 昭 46. 3. 27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区域変更、程久保地区の全部、三沢地区上、中を加える。新校舎に移転
7. 1 学区域変更、西部百草園団地を加える。
10. 2 開校式を挙 10 月 2 日を開校記念日とする。校章、校歌を発表。
- 昭 48. 1. 31 体育館工事竣工
4. 1 松延耕作 二代校長に着任
- 昭 50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭 53. 4. 1 田中弘明 三代校長に着任
- 昭 54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭 56. 3. 28 プレハブ 3 教室竣工
4. 1 長岡宗次 四代校長に着任

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
初代 橋本 敏一	昭 45. 9 ~ 48. 3
二代 松延 耕作	昭 48. 4 ~ 53. 3
三代 田中 弘明	昭 53. 4 ~ 56. 3
四代 長岡 宗次	昭 56. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯に位置し、学区は日本住宅公団の高幡、百草の両団地と民間分譲地の三井、電建、西武、日本信販の各団地、更に在来の程久保、三沢の両地区を加えた新興住宅地である。

学校の屋上から眼下に浅川の流れ、はるかに立川、昭島、国立方面を一望することができる。学区内には都立多摩動物公園、明星大学があり、付近には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学などがあって、文教地区を形成している。

4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人となる。

- ① 基礎学力を充実し、文化を創造する人となろう。
- ② 豊かな心を養い、力を合せて進もう。
- ③ 若い人らしい気力、体力を養おう。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

教材を精選するとともに、ゆとりある学習をとoshi、自主的学習を促進し、学習の効率化をはかる。

イ. 道徳

他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに、責任ある行動ができるように指導内容をくふうする。

ウ. 特別活動

- ① 小集団を基礎に、個人の自発性をうながし、学級集団の質を高める。
- ② 学級・学年の活動を母体として生徒会活動の充実をはかる。

(2) その他の活動

教育目標の具現化をめざして、生徒ひとりひとりの指導にあたるとともに、国際社会の一員として思いやりの精神を養う。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織を通しての自律ある生活態度を身につける。

イ. 進路指導

教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的、個別的指導の徹底をめざす。

6. 本年度の研究課題

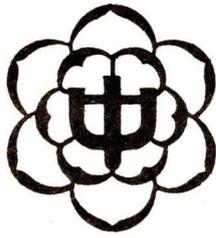
- 教育目標の具現化を軸とし、学年学級経営の充実をはかるための指導法の研究。
- 基礎的事項の指導を軸に、個人および集団の自主性を高めるための指導法の研究。

7. 本校の特色

- ・本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができる自然環境に恵まれている。
- ・開校11年目で、市内で最大の学級数(27)、学区内の小学校は、潤徳小、高幡台小、百草台小、程久保小、三沢台小の5校ある。
- ・開校以来、「自ら判断し、責任をもって実行する人となる」の教育目標の具現をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成につとめている。
- ・団地、分譲地を主体とした地域で保護者の約50%が技術的、管理的な職業に従事し、子弟の教育に寄せる関心は大変高い。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	現 代 化 委 員	
1	市塚 正史（44数学，47方法）	大塚 長栄（55国語）	市塚 正史 （52短海外）
2	大塚 長栄（50国語，51国語）	綿引 正己（51英語）	
3	綿引 正己（44方法）	五十嵐公恵（49国語）	富山 謙一 （55研究生） （56道徳助言）
4	小林桂三郎（49国語）	新井 幹（49音楽）	
5	加島 俊博（45技術）		
6	富山 謙一（52社会）		
7	東郷 隆盛（46国語）		
8	新井 幹（50音楽）		
9	福田 慶因（42英語）		



学 校 名 日野市立日野第四中学校
 所 在 地 日野市旭が丘 2-42
 電 話 0425-83-3905・3906
 順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
 バス(長房団地行)都立工科短大下車5分
 生 徒 数 男407名 女391名 計798名

校長氏名 花牟礼 哲

教頭氏名 古 屋 登 吾

1. 沿革の概要

- 昭47. 8.21 四中校舎起工式(工事費1.9億円。施工小田急建設)
- 昭48. 1.18 屋内体育館着工(工費約4千6百万円。施工小田急建設)
- 4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教員24名発令。開校
- 5.13 プール着工(工費約2,700万円)
- 7. 2 屋内体育館完成使用開始
- 7.18 本校シンボル「泰山木」決定
- 8. 7 プール完成
- 10.13 校歌作詞完成
- 10.16 校章決定
教育目標設定
- 11.10 校歌作曲完成(寺原伸夫)
- 11.16 校旗完成
- 11.17 落成式挙行
- 11.22 第一回開校記念日
- 昭49. 2. 2 標準服制定
- 5.30 保健室冷房装置取付
- 7. 1 増築工事開始(校舎3スパン、体育倉庫、校庭砂場、物置き、機械室)工費約1.6億円
施工 小田急建設
- 7. 3 保健室 空気清浄装置取付
- 9. 6 駐車場舗装
- 10.19 玄関前コンクリート舗装
- 昭50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
- 3.18 増築完成 学校へ引き渡し
- 4. 7 新校舎使用開始
- 4.26 テニスコート学校へ引渡し

校庭の校舎側U字溝設置

- 昭51. 1.16 図書館開館
- 12.22 玄関前アスファルト舗装
- 昭52. 4. 1 二代校長 山口幸雄発令
- 9.13 第三期工事開始(東端3スパン美術室を理科室に改造)工費9,500万円 施工小田急建設 年度末完成
- 昭53. 3.28 校庭防球フェンス設置
- 昭54. 5.15 校庭東側防球フェンス設置
- 昭55. 1. 8 仮称第八中学校準備委員会発足
- 6.26 校庭南側防球フェンス工事
- 昭56. 4. 1 三代校長 花牟礼 哲発令

2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
初代 河村俊一郎	昭48.4.1~52.3.31
二代 山口 幸雄	昭52.4.1~56.3.31
三代 花牟礼 哲	昭56.4.1~現在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的には北半の洪積台地(日野台)と南半の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2~3段の段丘状になっており、その境界は高低差10~20mの急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく、昭和12年、小西六写真工業(株)(六桜社)、昭和18年富士電機製造(株)の進出まではほとんど見るべきものはなかった。

しかし戦後はここも都市化の波が押しよせ、

昭和33年多摩平団地入居をきっかけに人口は急増をはじめた。

平山工業団地、国鉄豊田電車区、多数の住宅、アパートなど畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年間でいちじるしく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

平和で民主的な国家、社会の形成者として世界にひらかれた日本人の育成をめざし、つぎの目標を定めます。

1. 進んで学習し、向上する人
1. 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
1. 進んで心身を鍛え、やりぬく人

学校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 教育内容 基本事項の系統化を図ると共に、生徒の思考過程をたいせつにするよう教育内容を配列する。
- (2) 指導方法 興味や関心を重んじ、積極的に学習するよう指導する。
- (3) 時数配当 ゆとりある、しかも充実した学校生活をめざし、標準時数を確保するとともに、一単位時間を50分とする。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科

- ア. 自ら進んで学びとる学習態度を育成するために、生徒の活動を生かす指導につとめる。
- イ. 基礎学力の充実を図るために、教材の精選・指導につとめる。

(2) 道徳

- ア. 基本的行動様式、特に整理整頓、時と場所に応じたふるまいを身につけさせる。
- イ. 異なる考えや立場も尊重する態度を養う。
- ウ. よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

(3) 特別活動

- ア. 教師と生徒、生徒相互の心のふれあいを深める。
- イ. 自主的に判断し、自発的に行動し、協力する態度と習慣を身につけさせる。

(4) その他の活動

- ア. 生徒の自主的活動、学級指導、行事を可能な限り重視し、生徒一人ひとりの生活経験を豊かにし、進んで物事を処理して行くことができる人材の育成をめざして努力する。
- イ. 生徒と教師のふれ合いを重視し、生徒一人ひとりの悩みの解決、基礎学力の充実をはかり、充実した中学校生活を送り得るよう努力する。

(5) 生活指導

- ア. 基本的生活習慣を身につけ自主的活動を活発にさせる。
- イ. 勤労意欲を向上させ、教育環境の整備・美化に努めさせる。
- ウ. 心身の健康、安全に対する意識を高め、事故防止に努めさせる。
- エ. 集団生活の意義を自覚し、積極的に奉仕活動に参加する態度を養う。

(6) 進路指導

系統的な指導に努め、自己理解、情報の分析を通して、将来の進路を選択する態度と能力を育成する。

6. 本年度の研究主題

すゝんで学習し、行動する生徒を育てる指導法

7. 本校の特色

(1) 教育活動

各領域の調和に心掛けつゝ、校風を発展させる意気に燃えている。

ア. 授業 校内の研究を深め、1時間1時間をたいせつにする。授業打ち切りをさげ、まじめな学習態度を育てる。

イ. 特別活動 学級（毎火曜）、生徒会（毎月曜）、クラブ（毎木曜）、学校行事（適時）の調和をめざし、時間を厳守して活動し、自発、自律心を育てると共に感動する体験を多くするように努める。

他に、部活動として自主的活動を時間外に設定し、希望職員により指導する。

(2) 授業研究推進

市の学校教育の指導目標にのっとり授業研究の推進につとめる。

(3) 父母との連携

学校通信（学校のようす、生徒の創作）を毎週2～3回全家庭に配布し、学年、学級通信と合せて共通理解、共通指導につとめる。

(4) 美化緑化の推進

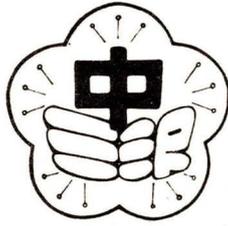
校樹、泰山木の樹を育て、緑多く美しい学園の環境整備につとめる。

(5) 勤労体験教育の推進

学校行事を通して特に、全校清掃の日々の実践から、気付き、考え、実行する力を育てる。

8. その他（教職員の研究歴）

	氏名	中央研 (文部省)	研究員	開発委員 (現代化)	研究生	海外派遣 (短)	現代化
1	花牟礼 哲		44年 特活			49年(米)	
2	古屋 登吾		44年 保体		45年 文部省保健	48年(北欧)	
3	西川 利行		35年 英		30年 英		48年 経営
4	丸山 尚夫		49年 進路				52年 数
5	西村美紗子		44年 音				
6	田中 栄一		45年 国				
7	吉見 光雄		50年 数	55年 数			
8	樋口 恢武		53年 社		54年 社	55年(米)	
9	鈴木 良身		54年教課題				
10	富士 堯		41年 特活		46年 理		



学 校 名 日野市立三沢中学校
所 在 地 日野市三沢25番地
電 話 0425-92-5017・5018
順 路 京王線百草園駅より西へ徒歩12分
生 徒 数 男350名 女296名 計646名

校長氏名 古川 豊 教頭氏名 小林 節夫

1. 沿革の概要

- 昭51. 9.18 仮称5中校舎起工式
10.23 プール着工
12.23 屋内体育館着工
- 昭52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令
4. 1 日野市立三沢中学校開校教頭
以下教職員22名発令
4. 6 始業式(2年156名、3年
147名)
4. 7 第1回入学式(1年188名、
全校生徒491名)
5.20 機械警備開始
9.16 第一回開校記念日
10.17 落成式挙行
12.10 校歌・校章発表会
(校歌・校章・校旗制定)
- 昭53. 1.15 校庭スポーツ開放開始
3.22 第一回卒業式
(男80名、女66名)
4. 7 第二回入学式(男109名、
女85名)
- 昭54. 3.19 第二回卒業式
(男75名、女88名)
4. 7 第三回入学式
(男111名、女91名)
- 昭55. 3.18 第三回卒業式
(男93名、女91名)
4. 8 第四回入学式
(男107名、女105名)
- 昭56. 3.20 第四回卒業式
(男105名、女86名)

2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
初代 古川 豊	昭52.2.1 ~ 現在

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名所がある。

京王線踏切と交通量の多い川崎街道をかかえているので、交通安全指導には力を入れている。

4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、平和で民主的な人間に育成することをめざして、次の目標を定める。

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

教育目標を達成するための基本方針

- ① 授業を大切にし、教材研究ならびに授業研究にとりくむ。
- ② 生徒と接する機会を多くもち、生徒理解を深める。
- ③ りっぱな校風を築き、教育環境を整え、職員は和をもってこれにあたる。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- 基礎学力の充実のために、教材を精選し、系統化して学習の効率化をはかる。

(2) 道徳

- ひとりひとりの人権を尊重する人間に育てる。
- きまりを守り、集団や社会の一員として自覚し、行動する態度を伸ばす。

(3) 特別活動

- 自主性を育て、堅実な思考力と豊かな文化的創造性を育成するために、教師と生徒が一体となって発表の場や機会を作る。
- その他の活動
 - ・ 学力補充、教育相談を精力的にすすめる。
 - ・ 生徒の自主性と仲間との協力や規律ある集団生活の習慣を養うため、クラブ活動を盛んに行う。

(4) 生活指導

りっぱな校風と伝統を築き上げるため

- 規律ある集団づくりを進める。
- 積極的に環境づくりにとりくむ。

(5) 進路指導

- 自己理解を深め、進路選択の能力を養うよう各学年に応じた系統的指導を実践する。

6. 本年度の研究主題

基礎学力を高めるための指導法の研究

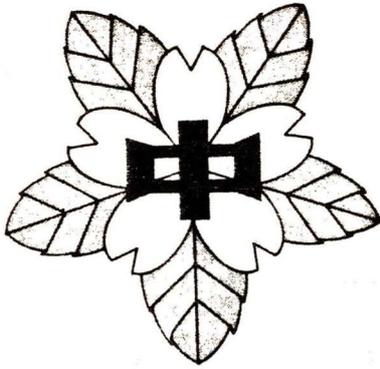
7. 本校の特色

昭和52年4月1日開校で、本年は5年目にあたる。

近代的な設備の整った校舎であり、自然環境に恵まれた位置にある。教職員も新しい校風をつくるため意欲的にこれにあたっている。生徒は明るく素直であり、父母も学校への期待が大きく、教育に熱心で協力的である。

8. その他（教職員の研究歴）

	中央研	研究員	開発委員	研究生
1		乙黒 静子（41）		
2		橋本 貴幸（46）		
3		田熊 裕（49）		



学 校 名 日野市立大坂上中学校
 所 在 地 日野市日野6466-2
 電 話 0425-83-9755~6
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
 生 徒 数 男385(20) 女381(5) 計766(25)
 ()内 心障学級生徒数

校長氏名 長谷川 辰 美

教頭氏名 立 川 泰 司

1. 沿革の概要

- 昭54. 1.19 学校開設準備委員会開催
 3.30 学校建設校舎予算市議会議決
 7. 2 校舎建設工事着工
 9.29 体育館建設工事着工
 11.24 プール建設工事着工
 昭55. 2. 1 初代校長 長谷川辰美着任
 (日野第二中学校内にて開設事務をとる)
 4. 1 日野市立大坂上中学校開校
 教頭以下教職員37名発令
 4. 7 始業式(2年214名 3年235名 心障15名)
 4. 8 第一回入学式(1年171名 心障2名 計173名)
 5.15 校舎・校庭工事完成
 6. 6 体育館工事完成
 6.28 プール工事完成
 7.12 落成式挙行
 8.11 生徒標準服・校章・校旗制定
 11. 1 体育館緞帳、暗幕工事完成
 11. 8 校歌制定
 ” 校章、校旗、校歌発表会挙行
 昭56. 3. 9 第一回卒業式
 男子130名 女子114名
 (内心障8名)

2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
初代 長谷川辰美	昭55.2.1 ~ 現 在

3. 地域の環境

日野の発祥の地として知られている。関東ローマ層の日野台地にあり、昭和11年日野工場地帯の中に設立された神鋼電気(株)のあと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車(株)をはじめ中小工場も多く、また実践女子大学、日野台高校と隣接しており、教育環境もよい。

近年、特に住宅化が進んでいる学区であり、学区内に市役所もあり、朝の多摩川、夕の富士の眺めは、教育環境を特に引立てる。

4. 教育目標

1. よく考え、進んで学ぼう。(知性)
2. 思いやりの心をもち
他へつくそう。(敬愛)
3. 心身を鍛え、全力でやりぬこう。
(健全)

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア. 各教科

思考力や正しい判断力を身につけさせるために

- ・基礎学力の充実をはかる
- ・生徒自ら学び考える態度を育てる

イ. 道 徳

正しい判断力と思いやりの心を育てる

ウ. 特別活動

主体的な実践活動を通じて
社会性の育成につとめる。

(2) その他の活動

- ・生徒会、各種委員会の活動の場とし、充実したゆとりのある活動を推進する。
- ・学年活動の時間にあて、教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係を育てるようにつとめる。

(3) 生活指導・進路指導

ア．生活指導

- ・学級の小集団を基盤として学級学年、全校集団の質を高める活動を推進する。
(生徒の組織的活動)
- ・生徒に責任の所在をわからせ、自分で解決していく力をつけさせる。
(生徒指導の内容)
- ・研修を深め、情報交換を活発にし、同一姿勢で指導にあたる。
(教師集団の基本姿勢)

イ．進路指導

- ・個々の能力、適性を把握し、進んで将来の進路を選択する能力を育てる。

6. 本年度の研究主題

- (1) 基礎学力の定着をはかるための指導
- (2) 生活指導の充実

7. 本校の特色

本校は各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校第二年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢30年程度の桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢100年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は最適である。

日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

一中、二中を母体校として独立し、各校の長所を生かし、本校の土台、基礎固めに全校教職員が力を結集して指導にあっている。

また、心障学級設置校として課せられた教育内容も多い。

しかし、教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、次第におちついた雰囲気のある学校となり、毎日おそくまで子ども達の活動する姿があり、声も聞こえる学校となった。

8. その他(教職員の研究歴)

	研究員	研究員	開発委員	研究生
1	村上敏雄 (47 音楽)	野沢昭兆 (53 国語)	逸見敏 (47.53 美術)	野沢昭兆 (49 国語)
2	松浦不及 (39 学校行事)	武藤光哉 (42 社会)	小林喜司 (40.42 理科)	村上敏雄 (51 音楽)
3	加藤常光 (49 特活)	六本木茂 (45 社会)	野沢昭兆 (51 国語)	
4	宮田和子 (37 学活)	松浦不及 (42 数学)		
5	小林喜司 (54 教育課程)	小林喜司 (47 理科)		

学 校 名 日 野 市 立 平 山 中 学 校
 所 在 地 日 野 市 平 山 4 丁 目 2 1 番 地 の 2
 電 話 0425-93-3015・3016
 順 路 国電豊田駅下車 徒歩18分
 京王線南平駅・平山城址公園駅下車徒歩8分
 生 徒 数 男子385名 女子387名 計772名

校長氏名 河 野 寿 忠

教頭氏名 乙 戸 良 助

1. 沿革の概要

- 昭55. 1.19 学校開設準備委員会開催
 3.28 学校建設、校舎予算市議会で議決
 6.14 校舎建設工事着工(大成建設工費865百万円)
 8.25 給食室建設工事着工(大成建設、工費68.67百万円)
 12.15 プール建設工事着工(増倉建設、工費45.5百万円)
 12.26 体育館建設工事着工(中島建設、工費111.5百万円)
 2. 1 学校開設初代校長河野寿忠着任
 昭56. 3.26 市長より学校長へ校舎引き渡し、校舎使用開始。備品消耗品搬入。
 3.28 電話設置
 4. 1 開校。乙戸教頭以下教諭29、主査1、市職員11名着任。
 4. 6 第1学期始業式举行(2年生263名・3年生233名)
 4. 7 第1回入学式举行(1年生276名が入学)

2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
初代 河野 寿忠	昭56.2.1~ 現在

3. 地域の環境

多摩丘陵北麓にひらけた低地に学校がある。

校舎南側にある校庭の目先きを京王線が走り、校舎北側は、堤防道路をへだてて浅川の河川敷につながっている。緑豊かで自然環境には恵まれている。学区域は、東西の最長部分が約2.3Km、南北が約1.5Kmにわたり、学校は学区域の最も北東部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴ない、ベッドタウンのたたずまいを濃くし、人口の急増が見られた地域である。父母の教育への関心度は極めて高い。学区内の道路は一般に道巾がせまく、その上交通量のはげしい、信号機のない所を横断して、登下校する生徒も多く、安全通学に苦慮している。

4. 教育目標

- 考え、工夫する人。
(主体性のある人間の育成)
- 協力し、進んで働く人。
(社会性のある人間の育成)
- 自然や人々を、大切にする人。
(人間性豊かな人間の育成)
- 心身を鍛え、やりぬく人。
(健康な人間の育成)

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

自ら学びとる学習態度を育てる。
 反復を重ね、学力の向上をはかる。
 教育内容、指導法の改善工夫により、一人一人の生徒の伸長をはかる。

(2) 道 徳

人権尊重の精神を養い、自他を尊重する

態度を育てる。

人間の生き方について深く考え、健全な生活を築かせる。

(3) 特別活動

集団の一員としての自覚を高め、協力し合って明るく楽しい学校生活を築かせる。

自発的活動を助長し、向上への意欲を育てる。

(4) 生活指導

望ましい習慣や生活態度を育てる日常の指導を徹底する。

指導体制を整え、全職員が一致して指導にあたる。

一人一人の生徒との心の交流を深めるとともに、集団活動による相互規制により問題行動の予防に努める。

(5) 進路指導

各学年、各生徒に応じた計画的で系統的な指導を実施する。

自己の特性を知り、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。

(6) その他の活動

学校行事及び学年の諸計画を、自主的に取り組むよう指導を推進する。また、生徒会活動をもり上げ、学校生活の向上をはかる。

学級生活の向上を図る活動をもり上げる。

個人的な悩みや不安を解消し、意欲を高めるため、個人面接、進路相談をすすめる。更に、教科学習の質問教室、学力補充指導の実施に努める。

6. 本年度の研究主題

新設校の基礎づくりを目指して、「意欲的、自主的学習態度を育成する。」

7. 本校の特色

日野市立第四中学校と日野市立七生中学校を母体校として、昭和56年4月1日に開校した新設校である。新しい時代にふさわしく、近代的な設備の整った学校である。

本年度は、本校の歴史の土台を築く初年度にあたるので、教職員も生徒も新しい校風を生み出すために努力している。

父母の新設校に寄せる期待も大きく、教育熱心である。地域父母の期待に応えるためにも、「勉強しようとする意欲に満ちた生徒がいて」「生徒のために力一杯やろうとする先生がいる」学校を目指して、事に当たっている。

また、本校は日野市内中学校では最初の完全給食の実施校でもある。

8. 教職員の研究歴

	氏名	中央研	研究員	道徳助言研	現代化	研究生
校長	河野 寿忠	53	41・理			
教頭	乙戸 良助			45		35・教育学
教諭	三富 恒男		48・理		49・理	
〃	阿部 晃一		43・美			
〃	山川 照子		49・数			
〃	高崎 雅子		43・国			
〃	上原 純子				52・国	
〃	三浦 義次		46・技			

